

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	食生活改善推進員育成事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020103
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	藤森ルリ子	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり									
				施策 05 第5節 健康づくりの推進									
				細施策 01 食育の促進と食の啓発									
				事務事業 01 地区組織育成事業									
	予算事業名	食生活改善推進事業			会計コード	002	款	08	項	03	目	03	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	・組織の育成・指導 ・会員の資質向上のための研修会を開催（健康・病態講座、料理実習）												
現状と背景 （どうして）	市民の生活習慣病有病率の増加により、栄養・食生活の改善が必要。健康意識を高め、自分・家族・地域の健康づくりを推進する必要がある。												
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	受益者 食生活改善推進員及び市民											
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	同上											
手段・方法 （ ど う や っ て ）	自分・家族の健康を考え、地域における健康づくり推進のため、健康な茅野市づくりの担い手として活躍できるリーダーを養成する。 研修会を開催し、会員の資質向上を図り、健康意識を高め、食に関心を持ってもらうことで健康づくりをより推進する。 毎月の研修会を通して、食の正しい知識、情報を食生活改善推進員へ伝えていく。 食育ボランティア団体として、自ら食育活動ができるようにサポートしていく。 おいしく楽しく健康講座を開催し、食生活改善推進員を増やす。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
		研修会の開催（食改）	研修会開催数	回	研修会実施回数	14							
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
		食生活に関心を持ち、健康意識を高める	研修会参加者数	人	研修会参加者数	460							

実施状況	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算又は決算額）	平成29年度事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	441,455	507,016	457,838
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円	87,754	153,615	79,000	69,000	
	地方債	円					
	その他特定財源	円	272,232	260,195	341,060	291,710	397,000
	一般財源	円	81,469	93,206	37,778	25,237	130,000
職員数	正規職員	人	0.40	0.40	0.40	0.40	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
合計	人	0.40	0.40	0.40	0.40		
状況	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
状況	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
	受益者負担額	円					
状況	市民一人当たりのコスト	円	8.00	9.00	8.00	7.00	10.00
	活動指標	研修会開催数	目標	14	14	14	14
実績			15	16	14	15	
達成率			107.14	114.29	100.00	107.14	—
—		目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—
成果指標	研修会参加者数	目標	460	460	460	460	460
		実績	420	445	423	413	442
		達成率	91.30	96.74	91.96	89.78	96.09
	—	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		達成率	—	—	—	—	—
備考							

事務事業名	食生活改善推進員育成事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020103
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	藤森ルリ子	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。	参加者24名。第1回講座を実施した。	全員が所定の時間を終了できるよう支援していく必要がある。
第2期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。	月1回の学習会の開催、健康づくりのつどい、長野県食生活改善推進大会の参加をサポートした。	食育活動を実践できるように学習会の内容を検討して行く必要がある。
第3期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。	月1回の学習会の開催、健康づくりのつどい、地区料理講習会がスムーズに行えるようサポートした。高校生への食育活動の実施。(東海高校8クラス、茅野高校1クラス)	参加者の高齢化。食育活動を行っていく参加者の能力向上ができるよう、支援していく必要がある。
第4期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。	各教室の開催内容を企画し実施した。来年度の講座の持ち方を検討している。	参加者の高齢化。食育活動を行っていく参加者の能力向上ができるよう、支援していく必要がある。

事中評価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 食育活動を行っていく参加者の能力の向上。	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td></td> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	②	⑤	⑦		現状維持	③	⑥	⑨		縮小	④	⑧	⑩		休廃止	①		
成果の方向性	拡充	②	⑤	⑦																	
	現状維持	③	⑥	⑨																	
	縮小	④	⑧	⑩																	
	休廃止	①																			
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 参加者が関心を持って参加しやすく、能力向上ができるような教室の企画をする。	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																				

評価年度	当年度
------	-----

評価観点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定				
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定					
	チェック					4			レ		3						4	B		
課題	研修会を通して、地域の食と健康のリーダーの育成が課題。まずは、自分、家族から地域へ食を通しての健康づくりや食育活動を行っていくこと。															記号の定義 A: 計画どおり事業を進める B: 事業の進捗の向上に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体 D: 事業の統合、休・廃止の検討 前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号				
総合評価	細施策評価前 生活習慣病予防のための食生活は重要であるので、それを自分、家族はもちろんのこと、地域へ広めていくため継続が必要である。また、元気もりもり食育プランの推進のための食育ボランティア団体として、活躍できるような会に育成していきたい。										細施策評価後 生活習慣病予防のための食生活は重要であるので、それを自分、家族はもちろんのこと、地域へ広めていくため継続が必要である。また、元気もりもり食育プランの推進のための食育ボランティア団体として、活躍できるような会に育成していきたい。									
改革・改善の方向性	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止
改革・改善策		②	⑤	レ	⑦					レ
		③	⑥		⑨					
		④	⑧		⑩					
		①								
	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				
	地区料理講習会や高校生の食育活動が継続できるようにサポート方法を検討する。研修会を通して、食の正しい知識、情報を食生活改善推進員に伝えていく。									

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	保育所運営費事業（保育園における食育推進事業）	事業期間	平成 21 ~ 年度	整理番号	06020201
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	作成担当者名	浜 ま ゆ み
				連絡先	624

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 01 第1節 周産・乳幼児期：みんなと遊び、人間としての生活や心の基本を身につける 細施策 03 子どもたちが様々な遊びや体験を通して心と体を育てられるよう応援します 事務事業 02 食育推進事業		
	予算事業名			会計コード 001 款 03 項 02 目 02 事業 02		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）			子どもたちが、生涯にわたって健康で質の高い生活を送る基本としての「食を営む力」の基礎を培うことを目指して策定した、「茅野市食育推進計画」（元気もりもり食育プラン）の3つの柱（「地域の食文化を大切に守り、伝えます」「望ましい食生活で健康長寿を目指します」「食でコミュニケーションアップを図ります」）及び各園の食育推進計画を推進する。 給食調理業務は、平成14年度から茅野市総合サービスへ委託し、給食調理業務全般、給食材料の発注・検収、衛生管理		
	現状と背景 （どうして）			核家族化や氾濫する食品により、「食」に対する価値観の多様化により、食習慣の乱れ（朝食欠食）などが指摘されている。こうした中、子どもたちが日常生活の中で、身近に自分たちが食べるものについて「知る」機会を作ったり、どのように調理されるか「見る」匂いを「嗅ぐ」「触る」等「食」への関心を育み、子どもたちが自分自身で健康に生活できるように		
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	受益者	保育園の園児、保護者			
	対象 （ 直 接 動 き か け る ）	対象	同上			
手段・方法 （ ど う や っ て ）	意図		「お腹がすくリズムもてる子ども」「食べたいもの、好きなものが増える子ども」「一緒に食べたい人がいる子ども」「食事作り、準備に関わる子ども」「食べ物を話題にする子ども」を目指す。			
			「茅野市食育推進計画」（元気もりもり食育プラン）及び各園の食育推進計画を下記を中心に推進する。 ・食育より等で家庭への情報提供 ・食育オリジナルキャラクター「3人の栄養マン」でバランスよく食べること（イラスト、パペットの利用等）を学び、食生活の実践に結びつこう推進する。 ・給食での茅野産利用の増加、園の栽培活動、調理等の体験活動の継続 ・保護者向けに食育を行う機会を設ける。			
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		栄養士による園児への食育	保育園での実施回数	回	実施回数 18保育園×10回	180
		保護者への食育	保護者への実施回数	回	実施回数（18保育園、やまびこ園）	23
	成果指標	保護者が食生活に関心があり、意識を高めているか	保護者の3人の栄養マンの認知度	%	食生活アンケート「知っている保護者（家庭）数÷全保護者（家庭）数×100」	100
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		朝食を毎日食べる園児の割合を増やす	朝食を毎日食べる割合	%	食生活アンケート「毎日食べる割合」	100

実施状況	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算又は決算額）	平成29年度事業計画（予算）	
			事業費等(a)	円	44,100	29,160	29,160	28,512
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	44,100	29,160	29,160	28,512	38,000	
	職員数	人	1.39	1.77	1.65	1.65		
活動指標	保育園での実施回数	対象（者）数						
		延利用（者）数(b)						
		単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	保護者への実施回数	市民一人当たりのコスト	円	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		目標	回	180	180	180	180	180
		実績	回	180	180	180	175	180
	保護者の3人の栄養マンの認知度	達成率	%	100.00	100.00	100.00	97.22	100.00
		目標	回	23	23	23	23	23
		実績	回	15	19	25	22	23
	朝食を毎日食べる割合	達成率	%	65.22	82.61	108.70	95.65	100.00
目標		%	100	100	100	100	100	
実績		%	70	78	79	76	80	
成果指標	達成率	%	70.00	78.00	79.00	76.00	80.00	
	目標	%	100	100	100	100	100	
	実績	%	94	96	97	94	95	
備考	目標	%	-	-	-	-	-	
	実績	%	-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	-	
事務事業15給食調理業務を含む								

事務事業名	保育所運営費事業（保育園における食育推進事業）	事業期間	平成 21 ~	年度	整理番号	0602021	
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	作成担当者名	浜 ま ゆ み	連絡先	624

期	目 標	実 績	課 題
第1期	栄養マンの出席シールの作成、活用 食生活アンケートの実施 保護者への支援 ホームページでの食育掲載 職員間の共通認識	栄養マンの出席シール作成、園配布 食生活アンケートの配布、回収依頼 家庭教育学級での保護者への講話 ホームページでの保育園のレシピを増やした 保育園食育の共通項目の確認	食生活アンケートの集計
第2期	食生活アンケートの集計 離乳食についての共通認識 塩分計の活用	食生活アンケートの集計 離乳食について保育士向け研修会の実施 給食日誌に汁ものの塩分を記録することにした。	食生活アンケートの結果の周知 保護者への支援
第3期	食生活アンケートの結果の周知(各園、保護者) 一日入園説明会での食育講話の実施 食育エプロンによるPR	食生活アンケート結果を食育だよりに連続掲載 一日入園説明会を行った。 調理員の関わる日の資料(旬の食材)は園ごと活用し やすいように保存ファイルを作成 食育エプロンが保育士にも配布になり、着用開始。	食生活アンケート結果の活用 保護者への支援
第4期	一日入園説明会での食育講話の実践 給食管理(衛生管理マニュアル、アレルギーマニュアル)の見直し	一日入園説明会や家庭教育学級の実施で、公立は全園で、保護者に話すことができた。 朝食のお話で媒体を追加し、年長児に話をした。 アレルギーマニュアル、衛生管理マニュアルを見直し、作成し、安全安心な給食の提供を行った。	保護者への支援 職員間の共通認識

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 食生活の実態把握は、健康で過ごすために子ども自身が将来にわたって、また保護者が実践ができるように活かしたい。給食はその見本になるように提供したい。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性 ①
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 保護者への働きかけを増やす。茅野市の食育キャラクターであるオリジナルの栄養マンの活用を増やす。現在、インパクトのあるパペットは課に1セットしかないが、栄養士2人がいつでもあらゆる場面で利用するためには2セット必要である。	② ⑤ ⑦ ⑨ ⑩ ③ ⑥ ④ ⑧ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 年 度	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定		
チェック					4					レ	3					4	B

課題	家庭への食育はどのように働きかけがよいか、どのような内容にすると実践に結びつか、関心が高まるかが課題である。 今年度は、朝食を食べる園児の割合や栄養マンの認知度が減少してしまった。呼びかけ方や保育士、調理員等、様々な職員間との連携のとりかたが課題である。 パペットは、現在、課に1セットしかなく、使用日が限られていることは課題である。(学校教育課では、取り組みに必要な小学校9校全部に配置されている。)	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要	
前年度総合評価判定	B	前年度評価シート整理番号	06020201

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・栄養士から保護者への働きかけができる機会が増え、特に公立は全園で実施でき、朝食についてお話ができるようになったが、実践に結びつくような内容で話すことが必要であった。 ・3人の栄養マンのパペットの活用は、園児の関心が大きく、また、保護者の目に留まる機会により、食育への関心を高め、望ましい食生活を送るための手立てに必要である。しかし、パペットは1セットしかないため、栄養士2人では使用回数を増やすことはできなかった。	・栄養士から保護者への働きかけができる機会が増え、特に公立は全園で実施でき、朝食についてお話ができるようになったが、実践に結びつくような内容で話すことが必要であった。 ・3人の栄養マンのパペットの活用は、園児の関心が大きく、また、保護者の目に留まる機会により、食育への関心を高め、望ましい食生活を送るための手立てに必要である。しかし、パペットは1セットしかないため、栄養士2人では使用回数を増やすことはできなかった。								
	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・望ましい食生活の習慣化のために3人の栄養マンの活用は、視覚的に親しみやすい啓発のひとつであり、パペットを活用することは、身近で目にとまる方法として意識が向くため、幅広く活用できる場を検討したい。パペットは印象に残るので、最低でも栄養士複数で活用できるようにしていくことで、朝食を毎日食べる割合の増加に努めたい。 ・園児、家庭で食育の意識を高める方法として、3人の栄養マンの出席シールの利用は、食育の日のPRのひとつになっている。 ・家庭で食育が進むよう、職員間の連携を図ることで、成果に結び付けたい。	・望ましい食生活の習慣化のために3人の栄養マンの活用は、視覚的に親しみやすい啓発のひとつであり、パペットを活用することは、身近で目にとまる方法として意識が向くため、幅広く活用できる場を検討したい。パペットは印象に残るので、最低でも栄養士複数で活用できるようにしていくことで、朝食を毎日食べる割合の増加に努めたい。 ・園児、家庭で食育の意識を高める方法として、3人の栄養マンの出席シールの利用は、食育の日のPRのひとつになっている。 ・家庭で食育が進むよう、職員間の連携を図ることで、成果に結び付けたい。								
今後の方向性	成果 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止 ①	② ⑤ ⑦ ⑨ ⑩ ③ ⑥ ④ ⑧	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	成果 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止	レ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	幼児教育課長	五味留美子
---------	------------	---------	--------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	食育推進事業	事業期間	平成 22 ~ 29 年度	整理番号	06030103
担当部署	教育委員会事務局	学校教育課	教育総務係	作成担当者名	泉山 百合絵
				連絡先	603

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む		
			施策 02 第2節 児童・思春期：みんなと学び、豊かな人生を送るための基本を身につける			
			細施策 04 確かな学力が習得され、安心して教育が受けられる学校づくりをします			
			事務事業 04 食育推進事業			
	予算事業名	一般事業費		会計コード 001 款 10 項 01 目 02 事業 02		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	食育推進事業を進めて、心身ともに健康な生徒、児童を育てる。				
	現状と背景 （どうして）	食は、成長期の児童、生徒には必要なことであり、感心を抱かせるようにするとともに保護者にも大いに感心を持たせる。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	児童、生徒および保護者			
		対象 （直接働きかける）	食の大切さを働きかける。			
		意図	教育としての食育を進めることで、食に関する感心を深める。			
	手段・方法 （どうやって）	平成22年度に茅野市食育推進計画が策定されました。その計画に基づき新たに食育推進事業を強力に推進する。今まで進めてきた教育としての地産地消は大きな成果を上げている。今後も新しい推進計画に沿ってより進めたい。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		児童・生徒の地域食材活用	地域食材活用料理給食日	回	給食提供日数	13
		手づくり弁当給食の実施	手づくり弁当	回	実施日数	13
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		地場産食材の認知度の向上（セロリー認知人数）	地場産理解率	%	地場産認知生徒・児童/全生徒・児童数	100
		子ども自ら弁当作り	手づくり弁当	回	制作日数	13

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	360,000	361,901	343,205	289,594	318,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	360,000	361,901	343,205	289,594	318,000	
職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	6.00	6.00	6.00	5.00	87.00	
D （ ）	活動指標	地域食材活用料理給食日	目標	回	13	13	13
			実績	回	13	13	13
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	手づくり弁当	目標	回	13	13	13	
		実績	回	13	14	13	
		達成率	%	100.00	107.69	115.38	100.00
—	目標	—	—	—	—		
	実績	—	—	—	—		
	達成率	%	—	—	—		
O （ ）	成果指標	地場産理解率	目標	%	100	100	100
			実績	%	—	89	84
		達成率	%	—	89.00	84.00	92.00
	手づくり弁当	目標	回	13	13	13	
		実績	回	12	12	12	
		達成率	%	92.31	92.31	92.31	

関連する市民プラン01050102食育推進計画の策定、推進 この計画に従い、新たに進める。
市民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号 03010302

事務事業名	食育推進事業	事業期間	平成 22 ~ 29 年度	整理番号	06030103
担当部署	教育委員会事務局	学校教育課	教育総務係	作成担当者名	泉山 百合絵
				連絡先	603

期	目 標	実 績	課 題
第1期	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生へ食育ナフキン配布し食育指導に活用 ・月々の旬の野菜を取り入れた給食の実施と啓発 ・郷土料理、セルリーの日の実施 ・各学校で手作り弁当の日実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生へ食育ナフキン配布・給食時に食育指導 ・月毎に旬の野菜を決め、掲示資料を作成し給食へ取り入れた・セルリーの日を実施 ・各学校で手作り弁当の実施(学習カード活用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育ナフキンを活用した食育指導を検討する ・旬の野菜を伝えていくための資料を検討する
第2期	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産野菜の積極的な取り入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で地場産野菜の積極的な取り入れ ・旬の野菜掲示資料等を作成、児童生徒へ知らせる ・健康展にて学校の食育紹介 ・ビーナチャンネルでおやつについて放送 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーナチャンネルで地場産団体の紹介を検討する ・学校の食育のホームページを検討する
第3期	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で手作り弁当の日実施 ・地場産野菜の取り入れ、交流等 ・セルリーの日実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で手作り弁当の日実施(学習カード活用) ・各学校で地場産野菜を取り入れ、生産者との交流給食等を実施 ・ビーナチャンネルで地場産団体、セルリーの日紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・手作り弁当の日アンケートを集計し、成果、課題を検討する
第4期	<ul style="list-style-type: none"> ・食育だより発行(調査研究結果を家庭に伝える) ・地場産連絡会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育だよりを発行し、睡眠・朝食・野菜の摂取量に関する調査結果とレシピ紹介(2月) ・地場産連絡会で実績報告・情報交換を行う(2月) ・学校の食育のホームページ開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産団体の高齢化、後継者不足 ・食育だよりをさらに興味を持ってもらえるような紙面作成

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 ・学校の食育のホームページ開設に向け準備を進める。	今 成 拡 充 後 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) ・地場産団体の高齢化、後継者不足の対策として、協力していただける方を募集していく。(チラシ、広報等)	① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	学校給食に、行事食および伝統食などを取り入れて、児童・生徒に食育の大切さを周知していく。給食地場産連絡会の協力をいただき、市内全小中学校に新鮮で安全でおいしい食材を給食に利用していく。															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	06030108															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	食育推進計画を確実に推進するために、平成23年度から専属の栄養士を学校教育課に配属した。今までの学校給食栄養士との兼務では対応できない部分が改善された。児童・生徒を通じて、保護者まで食育の大切さを周知したい。	食育推進計画を確実に推進するために、平成23年度から専属の栄養士を学校教育課に配属した。今までの学校給食栄養士との兼務では対応できない部分が改善された。児童・生徒を通じて、保護者まで食育の大切さを周知したい。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	児童、生徒および保護者への食育の大切さを周知するために、栄養マンのパペット活用で授業および講演会活動をした。また、給食時の正しい配膳を示した給食用ナフキンの活用より、さらに食育を進める。	児童、生徒および保護者への食育の大切さを周知するために、栄養マンのパペット活用で授業および講演会活動をした。また、給食時の正しい配膳を示した給食用ナフキンの活用より、さらに食育を進める。								
給食時に出てくる料理を取り上げたり、地産の食材を取り上げるメニューを工夫するなど、今後も食育を意識した学習を進める。	給食時に出てくる料理を取り上げたり、地産の食材を取り上げるメニューを工夫するなど、今後も食育を意識した学習を進める。									

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	学校教育課長	有 賀 淳 一
---------	------------	---------	--------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	離乳食教室事業	事業期間	平成 28 年度	整理番号	03020104
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	神澤活枝	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	01	食育の促進と食の啓発
				事務事業	03	健康づくり事業
	予算事業名	離乳食教室事業			会計コード	002 款 08 項 03 目 02 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	もぐもぐ離乳食教室：6～8か月の赤ちゃんと保護者対象とし、年12回健康管理センターで実施する。 ぱくぱく離乳食教室：11か月～1歳2か月の赤ちゃんと保護者対象とし、年6回健康管理センターで実施する。				
	現状と背景 （どうして）	生活様式の多様化、様々な情報が氾濫する中、子どもの頃からの生活リズムの乱れが目立つ。生活リズムは大人の生活、食事が関係していて、生活習慣病有病率の増加にもつながっている。食環境が多様化した中で、健康を維持・増進する為に望ましい食品を選択する力、望ましい食生活を送る力をつける等健康意識を高め、実践していく必要がある。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	離乳食についての正しい知識を習得し、健康意識を高め、子どもや家族の健康増進のため望ましい食生活を実践する。			
	手段・方法 （どうやって）	4か月健診・10か月健診及び広報で募集、各離乳食教室で次回のご案内、募集をする。 離乳食の話、調理説明、調理実習、試食、個別相談				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		教室開催による食生活及び離乳食の理解の向上	教室実施回数	回	教室実施回数	18
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活及び離乳食への理解・興味を持って実践につなげてもらう	教室参加者数	人	教室参加者数	360

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	141,370	146,022	116,038	207,008	258,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円			22,000	56,000	
地方債	円					
その他特定財源	円	103,447	107,511	86,442	151,008	194,000
一般財源	円	37,923	38,511	7,596		64,000
職員数	人					
正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	3.00	3.00	2.00	4.00	5.00
D （ ）	活動指標	教室実施回数	目標	実績	達成率	
			回	回	%	
		18	18	100.00		
		18	18	100.00		
O （ ）	成果指標	教室参加者数	目標	実績	達成率	
			人	人	%	
		360	340	94.44		
		360	300	83.33		
備考						

事務事業名	離乳食教室事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020104
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	神澤活枝	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。新規に開催するばくばく離乳食教室の内容を検討する。	ばくばく離乳食教室を新規に開催した。4か月健診、10か月健診で離乳食教室のPRをした。	アンケート内容を参考に試食内容など検討する必要がある。
第2期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。	ばくばく離乳食教室の試食を調整しながら実施した。もぐもぐ離乳食教室は毎月実施のために1回の参加人数は減少した。	参加者が講話や資料から離乳食の理解が深まるようにさらに検討が必要である。
第3期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。	4か月健診、10か月健診で離乳食教室のPRをした。参加者の満足度は高く、仲間づくりにも役立っている。	参加者が講話や資料から離乳食の理解が深まるようにさらに検討が必要である。
第4期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。来年度の計画をする。	4か月健診、10か月健診で離乳食教室のPRをした。参加者の満足度は高く、仲間づくりにも役立っている。	参加者が講話や資料から離乳食の理解が深まるようにさらに検討が必要である。

事 中 評 価																		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 もぐもぐ離乳食教室は毎月実施のために1回の参加人数は減少した。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今 後 の 方 向 性</td> <td>成 果 的 拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①		
今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦													
	現 状 維 持		③	⑥	⑨													
	縮 小		④	⑧	⑩													
	休 廃 止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コ ス ト 投 入 の 方 向 性</td> </tr> </table>		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大		コ ス ト 投 入 の 方 向 性													
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大																	
	コ ス ト 投 入 の 方 向 性																	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	参加者の多様な疑問に答えたいかのように、スタッフの力量をつけていくこと。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020104															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	もぐもぐ離乳食教室は毎月開催になり1回の参加人数は減少した。ばくばくは手づかみ食べをしながら試食と相談ができるようにし、多くの人に参加してもらえた。参加者の満足度は高く、仲間づくりにも役立っている。参加者が講話や資料や媒体からより理解が深まるよう、さらに内容の検討が必要である。						もぐもぐ離乳食教室は毎月開催になり1回の参加人数は減少した。ばくばくは手づかみ食べをしながら試食と相談ができるようにし、多くの人に参加してもらえた。参加者の満足度は高く、仲間づくりにも役立っている。参加者が講話や資料や媒体からより理解が深まるよう、さらに内容の検討が必要である。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦	成 果 的 拡 充			
方 向 性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改 革 ・ 改 善 策	乳幼児健診と合わせて、いつでも相談できる体制の教室の構成にしたので、アンケートなどで参加者の意見を聞きながら検討していく。					乳幼児健診と合わせて、いつでも相談できる体制の教室の構成にしたので、アンケートなどで参加者の意見を聞きながら検討していく。				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名		食育事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020105			
担当部署		健康福祉部		保健課	健康推進係	作成担当者名	神澤活枝		連絡先	326			
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
			施策	05	第5節 健康づくりの推進								
			細施策	01	食育の促進と食の啓発								
			事務事業	03	健康づくり事業								
予 算 事 業 名	食育事業			会計コード	002	款	08	項	03	目	03	事業	01
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	親子料理教室：茅野市内の小学生親子を対象とし、夏休みを利用して年3回実施する。 男性料理教室：茅野市内の成人男性を対象とし、年3回実施する。 子育てママの料理教室：子育て中の母を対象とし、同じテーマで2回ずつ年4回実施。 子育て中でも参加しやすいように託児つきで行う。												
現状と背景 (どうして)	生活様式が多様化、情報が氾濫する中、生活リズム・食生活の乱れが目立つ。生活リズム、食事の偏りによる生活習慣病有病率の増加にもつながっている。このような中で、様々なライフステージにおいて健康を維持・増進するために、望ましい食生活を送る力をつける等、健康意識を高め実践していく必要がある。												
目 的	受 益 者 (誰のために)	市民											
	対 象 (直接働きかける)	同上											
	意 図 (どんな状態にしたいか)	食に対する正しい知識を習得し、健康意識を高め、自分や家族の健康増進のために望ましい食生活を実践する。											
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	・親子料理教室：学校を通しチラシの配布、食育の話、調理実習、試食 ・男性料理教室、子育てママの料理教室：テーマを設けて企画し広報で募集、健康に関する話、調理実習、試食												
N 評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		食生活改善の重要性の理解度の向上	教室実施回数	回	教室実施回数					10			
	成果指標	成 果 ・ 効 果 は 何 ？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		食生活に興味、関心を持ってもらう	教室参加者数	人	教室参加者数					200			

項 目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)		
		事業費等(a)	円	412,427	397,206	385,111	371,108	423,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円			24,000	35,000		
	地方債	円						
	その他特定財源	円	301,791	292,446	286,883	280,495	340,000	
職 員 数	一般財源	円	110,636	104,760	74,228	55,613	83,000	
	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
合 計	人	0.30	0.30	0.30	0.30			
対 象 (者) 数								
延 利 用 (者) 数 (b)								
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受 益 者 負 担 額	円							
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	円	7.00	7.00	7.00	7.00	8.00		
D 活 動 指 標	教室実施回数	目標	回	17	17	17	10	10
		実績	回	17	17	17	10	10
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	目標	-					
		実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	-	
O 成 果 指 標	教室参加者数	目標	人	420	420	420	200	200
		実績	人	399	365	367	199	199
	達成率	%	95.00	86.90	87.38	99.50	99.50	
	-	目標	-					
実績		-						
達成率	%	-	-	-	-	-		
備 考	H28年度から、親子料理教室(年4回→年3回)、料理講座(年6回→年0回)へ変更							

事務事業名	食育事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020105
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	神澤活枝	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	各料理教室の開催内容を企画する。 魅力ある料理教室の企画をしていく。	親子料理教室を企画した。	企画のみのため、特になし。
第2期	親子料理教室を実施する。 魅力ある料理教室の企画をしていく。	親子料理教室を募集し実施した。	親子料理教室は、同じ内容で3日間おこなったので、大勢の人に参加してもらえた。
第3期	子育てママの料理教室の企画、募集し、実施する。 男性料理教室の企画し、募集する。 魅力ある料理教室の企画をしていく。	子育てママの料理教室の企画、募集し、実施した。男性料理教室の企画、募集をおこなった。	子育てママの料理教室の申し込みが少なかったため、チラシを配布し参加者を増やす工夫が必要。
第4期	子育てママの料理教室の企画、募集し、実施する。 男性料理教室を実施する。 魅力ある料理教室の企画をしていく。	子育てママの料理教室の企画、募集し、実施した。男性料理教室を実施した。	以前は託児付の子育てママは託児が定員になりキャンセル待ちになっていたが、今回は託児にも余裕があったので、募集方法を工夫する必要がある。

事中評価																													
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成果</td> <td>拡充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現状維持</td> <td></td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方向</td> <td>縮小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方向</td> <td>性</td> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今	成果	拡充		②	⑤	⑦	後	の	現状維持		③	⑥	⑨	の	方向	縮小		④	⑧	⑩	方向	性	休廃止	①			
今	成果	拡充		②	⑤	⑦																							
後	の	現状維持		③	⑥	⑨																							
の	方向	縮小		④	⑧	⑩																							
方向	性	休廃止	①																										
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性																												

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4			レ		3					4	B
チェック																
課題	幅広い対象者に参加してもらいたい。子育てママの料理講座は、託児のある講座で託児希望のある参加者が中心となるため、託児等スタッフの人数が多い。															
記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	親子料理教室の参加者が多く、食育推進につながる。子育てママの料理教室、男性料理教室は参加者は少なめであるが、参加者の満足度は高くなっている。	親子料理教室の参加者が多く、食育推進につながる。子育てママの料理教室、男性料理教室は参加者は少なめであるが、参加者の満足度は高くなっている。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡充		②	⑤	⑦	拡充			
の	現状維持		③	⑥	⑨	現状維持			レ	
方向	縮小		④	⑧	⑩	縮小				
性	休廃止	①				休廃止				
皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性	皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性									
改革・改善策	幅広く参加者を上げられるよう、テーマ等の企画を考える。子育てママの料理教室は託児希望者以外も参加をしようとする企画を考える。					幅広く参加者を上げられるよう、テーマ等の企画を考える。子育てママの料理講座は託児希望者以外も参加をしようとする企画を考える。				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	食生活改善推進員養成事業	事業期間	平成 28 ~ 29 年度	整理番号	03020106	
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	堀 美 恵	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	01	食育の促進と食の啓発
				事務事業	03	健康づくり事業
	予算事業名	食生活改善推進員養成事業			会計コード	002 款 08 項 03 目 03 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	おいしく・楽しく健康講座：茅野市内の20歳から65歳くらいまでの成人男女の対象とし、年6回健康に関する講座を実施する。この講座を修了（所定の内容を学習）した人は、食生活改善推進協議会に入会する権利を持つ。				
	現状と背景 （どうして）	生活様式が多様化、情報が氾濫する中、生活リズム・食生活の乱れが目立つ。生活リズム、食事の偏りによる生活習慣病有病率の増加にもつながっている。このような中で、様々なライフステージにおいて健康を維持・増進するために、望ましい食生活を送る力をつける等、健康意識を高め実践していく必要がある。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民		
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	食に運動健康に関する正しい知識を習得し、健康意識を高め、自分や家族の健康増進のために望ましい食生活を実践する。講座を修了（所定の内容を学習）した人は食生活改善推進協議会に入会する権利を取得する。			
	手段・方法 （どうやって）	年間計画を企画し広報、ピーナチャンネル、ホームページ、新聞、その他様々なところにチラシ配布して募集、食事・健康に関する話や体験をしたり、調理実習、試食を行う。また食品の衛生管理・遺伝子組み換えなど食品への知識を深めるために、食品工場への視察研修を行う。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活改善の重要性の理解度の向上	教室実施回数	回	教室実施回数	6
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活に興味、関心を持ってもらう	教室参加者数	人	教室参加者数	120

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）			
事業費等 (a)	円	69,545	87,333	85,488	80,674	95,000			
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円			13,000	9,000				
地方債	円								
その他特定財源	円	50,891	64,669	63,684	60,977	72,000			
一般財源	円	18,654	22,664	8,804	10,697	23,000			
職員数	人								
正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30				
嘱託職員	人								
臨時職員	人								
合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30				
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)									
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—			
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円	1.00	2.00	2.00	1.00	2.00			
D （ ）	活動指標	教室実施回数	目標	回	9	9	6	6	6
			実績	回	9	9	6	6	6
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	—	目標	—	—	—	—	—		
		実績	—	—	—	—	—		
		達成率	%	—	—	—	—		
O （ ）	成果指標	教室参加者数	目標	人	180	180	120	120	
			実績	人	74	92	97	140	140
	達成率	%	41.11	51.11	80.83	116.67	116.67		
	—	目標	—	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—	—				
達成率	%	—	—	—	—	—			
備考	H24 健康づくり事業 決算額 489,733円 H27年度は、時間帯を午後から午前中にして時間を長くし、回数を9回から6回へ変更した。								

事務事業名	食生活改善推進養成事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020106
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	堀 美 恵	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	教室の開催内容を企画し、募集し実施する。	24名の応募があり、初回講座を開催し、運動のポイントや、調理のきほんについて学習してもらった。	健康に関する知識を高めるとともに、料理の基本を取得し、修了証を全員獲得できるよう援助する。
第2期	第2回～4回の講座を実施し、受講者が調理実習のレシピを家庭でも実習できるように援助する。ウォーキングを生活に取り入れるように援助する。	第2回～4回目の講座を実施し、調理のポイントや運動の必要性について学習してもらった。	講座欠席者が所定の時間を終了できるよう補習講座について検討する。
第3期	第5～6回の講座を実施し、病態別の生活や食生活のポイントを理解し、実践できるようにする。休養について考え、生活に取り入れることができるよう援助する。	第5回～6回目の講座を実施し、調理のポイントや運動の必要性について学習してもらった。24名中21名修了証を取得し、7名が食改に入会希望があった。	ほとんどの受講者が修了証を取得で着良かったが、食改入会希望者が例年より多かったものの、目標の10人には到達できなかった
第4期	来年度も多くの住民に受講してもらえよう、教室の内容と募集について検討する。	次年度の計画を立てた。	多くの住民に参加してもらえよう、募集方法の工夫をする必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 脱落者が1人だけで実施できている。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 参加者が多かったため、経費が苦しかったので、来年度は5000円の増額をしたい。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					3					4	B

課題	講座の参加者、食生活改善推進協議会の入会者とも昨年度より多かった。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定		
前年度評価シート整理番号		

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	H28年度は、時間帯を午後から午前中にして時間を長くし、回数を9回から6回へ変更して実施した。参加人数が増え、参加者に好評でほとんどの方が修了証が取得できた。しかし食生活改善推進協議会に入会する人は増えなかった。元気もりもり食育プラン推進のため、食育ボランティア団体で活躍できる人材育成が必要なので、講座参加者や食生活改善推進協議会への入会者を増やしていけるように講座を実施していくことが必要である。	H28年度は、時間帯を午後から午前中にして時間を長くし、回数を9回から6回へ変更して実施した。参加人数が増え、参加者に好評でほとんどの方が修了証が取得できた。しかし食生活改善推進協議会に入会する人は増えなかった。元気もりもり食育プラン推進のため、食育ボランティア団体で活躍できる人材育成が必要なので、講座参加者や食生活改善推進協議会への入会者を増やしていけるように講座を実施していくことが必要である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ①	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ①	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
29年度も午前中、6回の講座とし、参加者を増やせるようにPRする。食生活改善推進協議会の入会者を増やす工夫をしていく。	29年度も午前中、6回の講座とし、参加者を増やせるようにPRする。食生活改善推進協議会の入会者を増やす工夫をしていく。									

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	食育推進計画推進事業（国保）			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020123
担当部署	健康福祉部	保健課	健康福祉係	作成担当者名	堀 美 恵		連絡先	326	

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	01	食育の促進と食の啓発								
				事務事業	04	食育推進計画の推進事業								
	予算事業名	茅野市健康づくり事業費			会計コード	002	款	08	項	02	目	01	事業	01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を生涯に渡って実践することができることを目指して策定した、「茅野市食育推進計画」（元気もりもり食育プラン）の推進をする。												
	現状と背景 （どうして）	近年、生活様式の多様化により、生活習慣の乱れや生活習慣病の増加などが指摘されている。こうした中、生涯に渡って健全な食生活が実践できるよう、更なる取り組みを進めるため、国では平成17年に「食育基本法」が制定され、茅野市に於いても「食育推進計画」を推進する。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民											
		対象 （直接働きかける）	同上											
		意図 （どんな状態にしたいか）	家庭を中心とした自分、家族の健康の維持、増進											
	手段・方法 （どうやって）	「元気もりもり食育プラン」の概要版をあらゆる機会等で配布しながら、PRし、啓発していく。健康増進のために、親しみやすい「3人の栄養マン」の普及（イラスト印刷やパペット利用）や食育講演会の開催、レシピの募集とレシピ集の発行を行うことで、食生活への実践に結び付けよう推進する。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		栄養マンパペットの活用数	パペット活用回数	回	パペット活用回数					45				
		食育イベント&講演会の開催	食育イベント参加関係機関数	団体	参加関係機関数					15				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		食生活に関心を持ち、健康意識を高める	パペットでの学習人数	人	パペットによる学習人数					1,100				
		主食・主菜・副菜のそろった朝食を食べている家庭の割合	エプロンでの学習割合	%	幼児教育課食生活アンケート					63				

実 施 状 況 （ D O ）	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
	活動指標	事業費等(a)	円	304,000	392,340	428,036	219,710
財源内訳							
国庫支出金		円					
県支出金		円		130,481	120,000	54,000	
地方債		円					
その他特定財源		円		227,031	302,343	165,710	383,000
一般財源		円	304,000	34,828	5,693		61,000
職員数							
正規職員		人	0.50	0.50	0.50	0.50	
嘱託職員		人					
臨時職員	人						
合計	人	0.50	0.50	0.50	0.50		
成果指標	対象（者）数						
	延利用（者）数(b)						
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	5.00	7.00	8.00	4.00	8.00
	活動指標	パペット活用回数	目標	40	40	40	45
			実績	34	38	43	57
		達成率	%	85.00	95.00	107.50	126.67
		食育イベント参加関係機関数	目標	7	12	14	15
			実績	6	12	15	15
達成率		%	85.71	100.00	107.14	100.00	
エプロンの活用数	目標				2,400		
	実績				6,266		
達成率	%	-	-	-	261.08		
成果指標	パペットでの学習人数	目標	1,000	1,000	1,000	1,100	
		実績	1,000	1,000	1,100	1,200	
	達成率	%	100.00	100.00	110.00	109.09	
	エプロンでの学習割合	目標				63	
		実績				49	
	達成率	%	-	-	-	77.78	
備考	H26から栄養マンによる啓発事業、食育講演会での食育推進事業（国保会計）、レシピ応募事業を統一。H27決算額1,423,607円（一般財源769,093円）						

事務事業名	食育推進計画推進事業（国保）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020123
担当部署	健康福祉部	保健課	健康福祉係	作成担当者名	堀 美 意	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	栄養マンエプロンを作成し、保育士に配布する。 食育講演会の講師を決める。 庁内会議を開催する。	庁内会議を開催し今年度の目標を「やさいたっぷり、適塩」に決めた。 食育講演会の日程と講師を決定した。 レシピ集を発行した。	今年度の目標の野菜たっぴりと適塩を具体的な行動にしていく必要がある。
第2期	食育推進委員会を開催し、実施計画を立てる。 栄養マンエプロンの運用について確認する。 塩分測定器の活用を広める。	食育推進委員会を開催し、団体の推進情報の交換や今年度の活動目標や食育イベントについて決定した。	特定保健指導で、バランスのとれた食事のとり方について
第3期	食育イベントの準備会を開催し、チラシを作成して、幅広い広報活動を行う。 野菜たっぴり適塩生活のイベントを開催し、市民や職員にPRする。	大型店で適塩のPRを行った。 保育園、学校、保健課栄養士会を開催した。 食育イベント準備会を開催し、1月のイベントに向けて準備した。	イベントの来場者を増やし、一人でも多くの人に食育を知ってもらえるよう周知する。 第二次食育推進計画策定に向けて計画を立てる。
第4期	食育イベントを成功させる 第二次食育推進計画策定委員を選定する。	食育イベントを実施し、多くの住民に食育をPRできた。 第二次食育推進計画策定委員の選定を関係団体に依頼した。	食育イベントの講師の選定を行い、来年度11月の開催を目指す。 第二次食育推進計画策定の推進をしていく必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 食育イベントの講師の都合で日程変更を検討する必要がある。 多くの乳幼児とその親に食育イベントに参加してもらおう方策を検討する必要がある。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 食育推進計画「元氣もりもり食育プラン」策定から7年が経過したので、成果の検証と課題を明確にして、第二次計画を策定していく。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ	3				レ	3				レ	3	B
課題	食育計画の啓発にはさまざまな手法があると考えている。食育に関わる各団体等の横のつながりはどのようにしていくか。家庭での食育をどのように進めていくか、食育に関心の薄い20代、30代の若者にどのようにPRしていくかが課題である。															
CH E C K	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、新たに「3人の栄養マンエプロンを市内全保育士に支給し、栄養マンの普及ができるようにした。また、地域や各種講座、乳幼児健診等でパペットを活用し、食育をPRした。 食育イベントでは昨年度より多くの参加が得られた。おもてなしレシピ集の発行では、多くの市民から問い合わせをいただき、家庭に取り入れてもらうことができた。 高校生への食育（家庭科での調理実習）が定着した。 前年度改革・改善策の実施状況 一部実施	「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、新たに「3人の栄養マンエプロンを市内全保育士に支給し、栄養マンの普及ができるようにした。また、地域や各種講座、乳幼児健診等でパペットを活用し、食育をPRした。 食育イベントでは昨年度より多くの参加が得られた。おもてなしレシピ集の発行では、多くの市民から問い合わせをいただき、家庭に取り入れてもらうことができた。 高校生への食育（家庭科での調理実習）が定着した。 前年度細施策評価における今後の方向性								

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後													
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持		③	⑥	⑨	縮 小		④	⑧	⑩	休 廃 止	
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																			

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	「元氣もりもり食育プラン」のPRとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットや栄養マンエプロンの活用を更にする。 食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。 若い世代に野菜をたっぴり食べることのPRとして、エコ検診のときに試食の機会を設ける。 塩分摂取判定のパフレットをあらゆる機会に配布し、住民が自分の	「元氣もりもり食育プラン」のPRとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットや栄養マンエプロンの活用を更にする。 食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。 若い世代に野菜をたっぴり食べることのPRとして、エコ検診のときに試食の機会を設ける。 塩分摂取判定のパフレットをあらゆる機会に配布し、住民が自分の								

最終評価年月日	平成29年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	食育推進計画推進事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020123
担当部署	健康福祉部 保健課	健康福祉係	作成担当者名	堀 美 恵	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 01 食育の促進と食の啓発			
			事務事業 04 食育推進計画の推進事業			
	予算事業名	食育推進計画推進事業		会計コード 001 款 04 項 01 目 01 事業 06		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を生涯に渡って実践することができることを目指して策定した、「茅野市食育推進計画」（元気もりもり食育プラン）の推進をする。				
	現状と背景 （どうして）	近年、生活様式の多様化により、生活習慣の乱れや生活習慣病の増加などが指摘されている。こうした中、生涯に渡って健全な食生活が実践できるよう、更なる取り組みを進めるため、国では平成17年に「食育基本法」が制定され、茅野市に於いても「食育推進計画」を推進する。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図 （どんな状態にしたいか）	家庭を中心とした自分、家族の健康の維持、増進			
	手段・方法 （どうやって）	「元気もりもり食育プラン」の概要版をあらゆる機会等で配布等しながら、PRし、啓発していく。健康増進のために、親しみやすい「3人の栄養マン」の普及（イラスト印刷やパペット利用）や食育講演会の開催、レシピの募集とレシピ集の発行を行うことで、食生活への実践に結び付けよう推進する。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		栄養マンパペットの活用数	パペット活用回数	回	3歳児健診、保健指導員会、高校生、各種教室	45
		食育イベント&講演会の開催	食育イベント参加関係機関数	団体	参加関係機関数	15
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活に関心を持ち、健康意識を高める	パペットでの学習人数	人	パペットによる学習人数	1,100
		主食・主菜・副菜のそろった朝食を食べている家庭の割合	エプロンでの学習割合	%	幼児教育課食生活アンケート	63

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	304,000	797,457	781,093	1,405,164	1,245,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	304,000	797,457	781,093	1,405,164	1,245,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.50	0.50	0.50	0.50		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.50	0.50	0.50	0.50		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	5.00	14.00	14.00	25.00	22.00	
D O （ ）	活動指標	パペット活用回数	目標	回	40	40	45
			実績	回	34	38	38
	食育イベント参加関係機関数	目標	団体		15	15	
		実績	団体		14	15	
	エプロンの活用数	目標	回		93.33	100.00	
		実績	回			2,400	
成果指標	パペットでの学習人数	目標	人	1,000	1,000	1,100	
		実績	人	1,000	1,000	1,100	1,210
	達成率	%	100.00	100.00	110.00	103.64	110.00
	主食・主菜・副菜のそろった朝食を食べている家庭の割合	目標	%			63	
		実績	%			49	
	達成率	%	-	-	-	77.78	-
備考	H26から栄養マンによる啓発事業、食育講演会での食育推進事業（国保会計）、レシピ応募事業を統一。H27決算額1,423,607円（一般財源769,093円）						

事務事業名	食育推進計画推進事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020123
担当部署	健康福祉部	保健課	健康福祉係	作成担当者名	堀 美 意	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	栄養マンエプロンを作成し、保育士に配布する。 食育講演会の講師を決める。 庁内会議を開催する。	庁内会議を開催し今年度の目標を「やさいたっぷり、適塩」に決めた。 食育講演会の日程と講師を決定した。 レシピ集を発行した。	今年度の目標の野菜たっぴりと適塩を具体的な行動にしていく必要がある。
第2期	食育推進委員会を開催し、実施計画を立てる。 栄養マンエプロンの運用について確認する。 塩分測定器の活用を広める。	栄養マンエプロンを配布し、公立以外の保育園、幼稚園でもエプロンで食育をPRできるようにした。 食育推進計画の庁内会議、推進委員会を開催した。	新しい食育PRの方策を考える必要がある
第3期	食育イベント(まつり)の準備会を開催し、チラシを作成して、幅広い広報活動を行う。 野菜たっぴり適塩生活のイベントを開催し、市民や職員にPRする。	大型店で適塩のPRを行った。 保育園、学校、保健課栄養士会を開催した。 食育イベント準備会を開催し、1月のイベントに向けて準備した。	イベントの来場者を増やし、一人でも多くの人に食育を知ってもらえるよう周知する。 第二次食育推進計画策定に向けて計画を立てる。
第4期	食育イベントを成功させる 第二次食育推進計画策定委員を選定する。	食育イベントを実施し、多くの住民に食育をPRできた。 第二次食育推進計画策定の委員選定を関係団体に依頼した。	食育イベントの講師の検討を行い、来年度11月の開催を目指す。 第二次食育推進計画策定の推進をしていく必要がある。

事 中 評 価					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 果 拡 充 後 の 方 向 性 方 向 性	②	⑤	⑦	レ
食育イベントの講師の都合で日程変更を検討する必要がある。 多くの乳幼児とその親に食育イベントに参加してもらおう方策を検討する必要がある。		③	⑥	⑨	
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)		④	⑧	⑩	
食育推進計画「元氣もりもり食育プラン」策定から7年が経過したので、成果の検証と課題を明確にして、第二次計画を策定していく。		①			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ	3				レ	3				レ	3	B
課題	食育計画の啓発にはさまざまな手法があると考えている。食育に関わる各団体等の横のつながりはどのようにしていくか。家庭での食育をどのように進めていくか、食育に関心の薄い20代、30代の若者にどのようにPRしていくかが課題である。															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、新たに「3人の栄養マンエプロンを市内全保育士に支給し、栄養マンの普及ができるようにした。また、地域や各種講座、乳幼児健診等でパペットを活用し、食育をPRした。 食育イベントでは昨年度より多くの参加が得られた。 おもてなしレシピ集の発行では、多くの市民から問い合わせをいただき、家庭に取り入れてもらうことができた。 高校生への食育(家庭科での調理実習)が定着した。	前年度改革・改善策の実施状況 一部実施					「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、新たに「3人の栄養マンエプロンを市内全保育士に支給し、栄養マンの普及ができるようにした。また、地域や各種講座、乳幼児健診等でパペットを活用し、食育をPRした。 食育イベントでは昨年度より多くの参加が得られた。 おもてなしレシピ集の発行では、多くの市民から問い合わせをいただき、家庭に取り入れてもらうことができた。 高校生への食育(家庭科での調理実習)が定着した。					前年度細施策評価における今後の方向性			

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後								
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦					レ		
方向性	現 状 維 持		③	⑥		⑨								
方向性	縮 小		④	⑧		⑩								
方向性	休 廃 止	①												
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性							

改 革 ・ 改 善 策	改 革 ・ 改 善 策				
	「元氣もりもり食育プラン」のPRとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットや栄養マンエプロンの活用を更にする。 食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。 若い世代に野菜をたっぴり食べることのPRとして、エコ検診のときに試食の機会を設ける。 塩分摂取判定のパフレットをあらゆる機会に配布し、住民が自分の	「元氣もりもり食育プラン」のPRとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットや栄養マンエプロンの活用を更にする。 食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。 若い世代に野菜をたっぴり食べることのPRとして、エコ検診のときに試食の機会を設ける。 塩分摂取判定のパフレットをあらゆる機会に配布し、住民が自分の			

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	運動習慣づくり事業（国保）	事業期間	平成 19 ~ 年度	整理番号	03020108
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	森 井 潤	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 02 運動習慣の定着と地域活動支援			
			事務事業 01 健康づくり事業			
	予算事業名	茅野市健康づくり事業				
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ウォーキングのつどい等を開催し、運動習慣の定着および啓発を行います。 ウォーキング庁内検討会において、統一したマップ、案内看板等の作成を検討する。				
	現状と背景 （どうして）	生活習慣病の増加およびそれに伴う医療費の増加が問題となっています。生活習慣病予防のため、また健康づくりのため運動が有効とされています。運動習慣のある人は、増加傾向にありますが一層の推進が必要と思われます。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	生活習慣病予防・健康づくりのために定期的に運動をする市民が増加する。運動に関する意識のある方が増加する。			
	手段・方法 （どうやって）	ウォーキングのつどいの開催 ウォーキングマップの作成等 ウォーキングコース案内板設置				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		ウォーキングのつどい等開催回数	開催回数	回	開催回数合計	1
		ウォーキングのマップの作成	作成箇所	箇所	作成箇所数	2
		ウォーキングコースの看板設置	設置場所	箇所	看板設置箇所	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		定期的な運動習慣のある人の増加	実施者の割合	%	特定健診を受けた人の中で定期的な運動習慣がある人の割合	60

実施状況	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	129,695	112,636	68,478	65,432
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	93,208	84,033	65,998	49,305		
	一般財源	円	36,487	28,603	2,480	16,127	78,000	
職員数	正規職員	人	0.34	0.34	0.34	0.34		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.34	0.34	0.34	0.34		
	対象（者）数	人						
	延利用（者）数 (b)	人						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	
D （ ）	活動指標	開催回数	目標	回	2	1	1	1
			実績	回	0	1	1	1
		達成率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	作成箇所	目標	箇所					
		実績	箇所					
		達成率	%	-	-	-	-	-
設置場所	目標	箇所						
	実績	箇所						
	達成率	%	-	-	-	-	-	
O （ ）	成果指標	実施者の割合	目標	%	60	60	60	60
			実績	%	42.0	43.0	40.0	39.9
		達成率	%	70.00	71.67	66.67	66.50	
	-	目標	-					
実績		-						
	達成率	%	-	-	-	-	-	
備考								

事務事業名	運動習慣づくり事業（国保）	事業期間	平成 19 ~	年度	整理番号	03020108
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井 潤	連絡先
						326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	ウォーキングのつどいの開催内容の検討	係内で前回反省を踏まえ日程及び内容の協議を行った。	効果的な周知活動を検討していく必要がある。
第2期	・中大塩地区ウォーキングマップ検討	・ウォーキング協会・ノルディックウォーキング協会と開催内容協議 ・中大塩地区ウォーキングマップ会議発足	ウォーキングマップを充実したものにするには。
第3期	・ウォーキング協会・ノルディックウォーキング開催 ・中大塩地区ウォーキングマップ会議、検討	・中大塩地区ウォーキングマップ会議開催、検討	来年度のウォーキングイベントについて検討していく。
第4期	・中大塩地区ウォーキングマップ会議開催、検討	・中大塩地区ウォーキングマップ完成	来年度のマップ作りの検討をしていく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 住民の意向を取り入れる手段と方法について、他課との綿密な連携が必要。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 新たなマップ作成の候補地域の選定。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	

課題	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な運動習慣のない人が半数以上います。 最終目標は、運動習慣の定着と生活習慣病の予防ですので、このことが実現できるようにすること。そのために、運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。 	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定	B	
前年度評価シート整理番号	03020107	

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
<ul style="list-style-type: none"> 中大塩地区のウォーキングマップを作成しました。 各担当課と看板設置等について検討しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 中大塩地区のウォーキングマップを作成しました。 各担当課と看板設置等について検討しました。
前年度改革・改善策の実施状況	実施済
前年度細施策評価における今後の方向性	

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成果の方向性	拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①	拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	

改革・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングのつどいを開催し、運動の楽しさや関心を持ってもらうイベントとして継続していく。 今後は、地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、ウォーキングマップを作成し、ウォーキングの定着を目指していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングのつどいを開催し、運動の楽しさや関心を持ってもらうイベントとして継続していく。 ウォーキングマップについて、各団体等に効果等にPRすることで、体験の機会を増やし、運動の楽しさや爽快感、健康のために運動習慣が必要であることを知ってもらうことで、運動習慣の定着を目指していく。
--------	---	---

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤 澄子
---------	------------	---------	-----------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	運動習慣づくり事業	事業期間	平成 19 ~ 年度	整理番号	03020108	
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	森 井 潤	連絡先	326

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援								
				事務事業	01	健康づくり事業								
画	予算事業名				会計コード	001	款	04	項	01	目	01	事業	07
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	ウォーキングのつどい等を開催し、運動習慣の定着および啓発を行います。 ウォーキング庁内検討会において、統一したマップ、案内看板等の作成を検討する。												
	現状と背景 (どうして)	生活習慣病の増加およびそれに伴う医療費の増加が問題となっています。生活習慣病予防のため、また健康づくりのため運動が有効とされています。運動習慣のある人は、増加傾向にありますが一層の推進が必要と思われます。												
	目的	対象	受益者 (誰のために)	市民										
		対象 (直接働きかける)	同上											
意図 (どんな状態にしたいか)		生活習慣病予防・健康づくりのために定期的に運動をする市民が増加する。運動に関する意識のある方が増加する。												
A	手段・方法 (どうやって)	ウォーキングのつどいの開催 ウォーキングマップの作成等 ウォーキングコース案内板設置												
	N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
ウォーキングのつどい等開催回数			開催回数	回	開催回数合計					1				
ウォーキングのマップの作成			作成箇所	箇所	作成箇所数					2				
		ウォーキングコースの看板設置	設置場所	箇所	看板設置箇所					1				
成果指標		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		定期的な運動習慣のある人の増加	実施者の割合	%	特定健診を受けた人の中で定期的な運動習慣がある人の割合					60				

実施状況	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)	
			事業費等(a)	円	129,695	1,232,136	896,196	85,752
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	93,208					
職員数	一般財源	円	36,487	1,232,136	896,196	85,752	360,000	
	正規職員	人	0.34	0.34	0.34			
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.34	0.34	0.34			
状況	対象(者)数	人						
	延利用(者)数(b)	人						
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
O	活動指標	開催回数	目標	回	2	1	1	1
			実績	回	0	1	1	1
		達成率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
		作成箇所	目標	箇所				
			実績	箇所				
		達成率	%	-	-	-	-	
	設置場所	目標	箇所					
		実績	箇所					
	達成率	%	-	-	-	-		
	成果指標	実施者の割合	目標	%	60	60	60	60
			実績	%	40.0	40.0	40.0	39.9
		達成率	%	66.67	66.67	66.67	66.50	
-		目標	-					
実績	-							
達成率	%	-	-	-	-			
備考								

事務事業名	運動習慣づくり事業	事業期間	平成 19 ~	年度	整理番号	03020108
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井 潤	連絡先
						326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	ウォーキングのつどいの開催内容の検討	係内で前回反省を踏まえ日程及び内容の協議を行った。	効果的な周知活動
第2期	・ウォーキング協会・ノルディックウォーキング協会と開催内容協議 ・中大塩地区ワーキングマップ検討	係内で前回反省を踏まえ日程及び内容の協議を行った。	効果的な周知活動
第3期	ウォーキングのつどいの開催	10/5運動公園でウォーキングのつどいを実施	効果的な周知活動
第4期	ウォーキングのつどい反省	関係者との反省会の実施	反省事項を来年に生かす

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 住民の意向を取り入れる手段と方法について、他課との綿密な連携が必要。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 新たなマップ作成の候補地域の選定。	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ	3			レ		3				レ	3	B
課題	<p>・定期的な運動習慣のない人が半数以上います。 最終目標は、運動習慣の定着と生活習慣病の予防ですので、このことが実現できるようにすること。そのために、運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。</p>															
	前年度総合評価判定					B					前年度評価シート整理番号					03020107

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
中大塩のウォーキングマップを作成した。 各担当課と看板設置等について検討した。	中大塩のウォーキングマップを作成した。 各担当課と看板設置等について検討した。
前年度改革・改善策の実施状況	実施済
	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止
今 後 の 方 向 性	②	⑤	レ	⑦	レ					
	③	⑥		⑩						
	④	⑧								
	①									
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	<p>・ウォーキングのつどいを開催し、運動の楽しさや関心を持ってもらうイベントとして継続していく。 ・今後は、地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、ウォーキングマップを作成し、ウォーキングの定着を目指していきたい。</p>									
	<p>ウォーキングのつどいを開催し、運動の楽しさや関心を持ってもらうイベントとして継続していく。 ウォーキングマップについて、各団体等に効果等にPRすることで、体験の機会を増やし、運動の楽しさや爽快感、健康のために運動習慣が必要であることを知ってもらうことで、運動習慣の定着を目指していく。</p>									

最終評価年月日	平成29年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤 澄子
---------	------------	---------	-----------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	健康づくりのつどい事業	事業期間	平成 1 ~ 年度	整理番号	03020136
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	-	-
	予算事業名	健康づくりのつどい事業			会計コード	002 款 08 項 02 目 01 事業 02
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	各団体による展示発表、体験コーナー、健康に関する相談コーナーを通じて健康について啓発をする。				
	現状と背景 (どうして)	健康について関心のある人もない人も、健康への関心を高めてもらう。				
	目的 対 象 的 意 図 (どんな状態にしたいか)	受益者 (誰のために)	市民			
		対象 (直接働きかける)	同上			
		市民の皆さんへ健康について啓発をし、自分や家族の健康への関心を高めてもらうきっかけをつくってもらおう。				
	手段・方法 (どうやって)	各団体による展示発表、体験コーナー、健康に関する相談コーナーを通じて健康について啓発をする。				
N （ ）	活動指標 の 作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健康づくりのつどいの開催	開催回数	回	イベントの開催	1
	成果 指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健康づくりのつどい参加者	参加人数	人	イベントへの参加	500

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)	
事業費等(a)	円	446,066	327,485	289,453	287,940	465,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円	82,928	52,806	54,000	62,000		
地方債	円						
その他特定財源	円	265,726	202,236	215,624	217,636	351,000	
一般財源	円	97,412	72,443	19,829	8,304	114,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.05	0.05	0.05	0.05		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.05	0.05	0.05	0.05		
対象(者)数							
延利用(者)数(b)							
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	8.00	6.00	5.00	5.00	8.00	
D （ ）	活動指標	開催回数	目標	実績	達成率		
			回	1	1	100.00	
	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
O （ ）	成果指標	参加人数	目標	実績	達成率		
			人	500	500	100.00	
	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	健康づくりのつどい事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020136
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	事前準備、開催日当日等スムーズに開催できるよう、各団体の代表者による準備会を開催。	準備会を開催。 事業計画、必要備品の確認を行った。	特になし
第2期	8月28日(日)開催に向けて、落ちの無いように準備をし多くの市民に参加していただく。	8月28日(日)開催 参加者約400名は目標に達していないが結果として適正規模開催ができた。	次回開催に生かすための事業の実態評価を行う
第3期	反省会を開催し、事業評価を行う	反省会を開催し、次回につながるよう報告書をまとめた	反省事項を次回につなげること
第4期	次回開催に向けた準備。反省事項の精査	次回開催に向けた準備としての反省事項の確認作業実施	次年度開催準備スケジュール作成

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性																
皆減	縮小	現状維持	拡大																			
コスト投入の方向性																						

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4			レ		3					4	B
チェック					4			レ		3				4		

課題	開催場所、開催時期、3団体合同での開催。	記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定	B
		前年度評価シート整理番号	03020136

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	内容も充実し、多くの市民に参加していただき好評を得ている。						内容も充実し、多くの市民に参加していただき好評を得ている。			
前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後																																														
	より市民に健康について関心を高めてもらうように、発表内容の充実を図る。	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>レ</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td></td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td></td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果の方向性	②	⑤	レ	⑦	拡充	③	⑥		⑨	現状維持	④	⑧		⑩	縮小	①				休廃止					<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果の方向性				レ	拡充					現状維持					縮小					休廃止			
成果の方向性	②	⑤	レ	⑦																																																
拡充	③	⑥		⑨																																																
現状維持	④	⑧		⑩																																																
縮小	①																																																			
休廃止																																																				
成果の方向性				レ																																																
拡充																																																				
現状維持																																																				
縮小																																																				
休廃止																																																				
より市民に健康について関心を高めてもらうように、発表内容の充実を図る。	皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性					皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性																																														

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	地域健康づくり事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020137								
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤		連絡先	326									
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり												
			施策	05	第5節 健康づくりの推進												
			細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援												
			事務事業	02	健康教室事業												
画	予算事業名	茅野市健康づくり事業						会計コード	002	款	08	項	02	目	01	事業	01
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	地域内で行う市民の健康推進。															
	現状と背景 (どうして)	生活習慣病の発症予防のため、地域住民の自主的な運動習慣の定着化と啓発を促進していくこと。															
	目的	対象	受益者 (誰のために)	市民													
対象		対象 (直接働きかける)	同上														
的	意図 (どんな状態にしたいか)	地域住民が自主的に健康増進活動に取り組むよう、意識の向上を図り、定期的な運動習慣の定着に努める。															
	手段・方法 (どうやって)	チラシ作成、回覧板で周知する。															
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値							
		健康教室の開催	開催数	回	健康教室年間3回開催					3							
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値							
		定期的な運動習慣のある人の数	実施者の割合	%	定期的な運動習慣がある人の割合					70							

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)	
実 施 状 況	事業費等(a)	円	14,967	18,000	6,000	12,000	24,000	
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	10,953					
	一般財源	円	4,014	18,000	6,000	12,000	24,000	
	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
D O	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	活動指標	開催数	目標	3	2	2	2	
			実績	2	2	1	1	
		達成率	%	66.67	100.00	50.00	50.00	-
		-	目標	-	-	-	-	-
	実績		-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-		
成果指標	実施者の割合	目標	70	70	70	70	70	
		実績	47	45	30	30	31	
	達成率	%	67.14	64.29	42.86	43.14	44.29	
	-	目標	-	-	-	-	-	
実績		-	-	-	-	-		
達成率	%	-	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	地域健康づくり事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020137
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域住民が自主的に健康増進活動に取り組むよう、意識の向上を図り、定期的な運動習慣の定着に努める。	7/2豊平地区縄文いきいき百人衆のつどい開催 参加者30人	広報ちのが月1の発行になったため、タイミングによっては市民への周知が難しくなった。 活動内容のマンネリ化、リニューアルを検討。
第2期	地域住民が自主的に健康増進活動に取り組むよう、意識の向上を図り、定期的な運動習慣の定着に努める。	特になし	広報ちのが月1の発行になったため、タイミングによっては市民への周知が難しくなった。 活動内容のマンネリ化、リニューアルを検討。
第3期	地域住民が自主的に健康増進活動に取り組むよう、意識の向上を図り、定期的な運動習慣の定着に努める。	特になし	広報ちのが月1の発行になったため、タイミングによっては市民への周知が難しくなった。 活動内容のマンネリ化、リニューアルを検討。
第4期	地域住民が自主的に健康増進活動に取り組むよう、意識の向上を図り、定期的な運動習慣の定着に努める。	特になし	広報ちのが月1の発行になったため、タイミングによっては市民への周知が難しくなった。 活動内容のマンネリ化、リニューアルを検討。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック				レ	3									レ	3				レ	3	B
課題	<p>・定期的な運動習慣のない人が半数以上います。 最終目標は、運動習慣の定着と生活習慣病の予防ですので、このことが実現できるようにすること。そのために、運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。</p>															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要					
前年度総合評価判定																B					
前年度評価シート整理番号																					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題。						運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性					改 革 ・ 改 善 策				
	より住民ニーズをつかみ、地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、運動習慣の定着を目指していきたい。						より住民ニーズをつかみ、地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、運動習慣の定着を目指していきたい。			

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課	柳澤澄子
---------	------------	---------	----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康教室事業	事業期間	平成 16 ~ 年度	整理番号	03050105
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	朝倉歩	連絡先	82-0073

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 02 運動習慣の定着と地域活動支援			
			事務事業 02 健康教室事業			
	予算事業名			会計コード 001 款 03 項 01 目 09 事業 03		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	いつまでも元気で健康で過ごすために運動は有効であり、運動を習慣付けることにより生活習慣病を予防する。そのための教室を開催し意識付けを促す。具体的には地域の方々への健康教室として地区をあげてのいきいき百人衆を開催したり、高齢者クラブ等地区の集まりでの健康講話を行う。				
	現状と背景 （どうして）	時代とともに便利な生活様式に変わってきており体を動かす機会が減っている。食生活の変化や運動不足により生活習慣病が増加しており、それに伴う医療費の増加も問題となっている。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	生活習慣病の発症を予防し、いつまでも健康でいられるよう、運動に関心を持ってもらうようにする。			
	手段・方法 （どうやって）	受益者 （誰のために）	宮川地区、金沢地区の住民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図 （どんな状態にしたいか）	生活習慣病の発症を予防し、いつまでも健康でいられるよう、運動に関心を持ってもらうようにする。			
		手段・方法 （どうやって）	いきいき百人衆を開催し参加してもらい実際に運動を体験してもらったり、高齢者クラブや保健補導員会等地区の集まりで健康講話を行い、運動の大切さを知ってもらう。			
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		いきいき百人衆の開催	開催回数	回	開催回数の合計	
		地区の集まりでの健康講話の実施	実施地区等数	区	実施地区等の合計	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		いきいき百人衆の開催率	開催率	%	開催回数÷目標回数	100
		地区の集まりの開催率	開催率	%	開催区数÷目標開催区数	100

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
	職員数						
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人						
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
活動指標	開催回数	目標	回				
		実績	回	1	1	1	1
	実施地区等数	目標	区				
		実績	区	16	9	9	9
	-	目標					
		実績					
成果指標	開催率	目標	%				
		実績	%	-	-	-	-
	開催率	目標	%				
		実績	%	-	-	-	-
備考	宮川地区実施している「いきいき百人衆」は、御柱祭、小宮祭等により、平成28年度は、実施予定がなかった						

事務事業名	健康教室事業	事業期間	平成 16 ~	年度	整理番号	03050105	
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	朝倉歩	連絡先	82-0073

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域(高齢者クラブ等)での健康講話の実施	実施件数 3件	地域への周知及び実施件数の向上
第2期	地域(高齢者クラブ等)での健康講話の実施	実施件数 0件	地域への周知及び実施件数の向上
第3期	地域(高齢者クラブ等)での健康講話の実施	実施件数 2件	地域への周知及び実施件数の向上
第4期	地域(高齢者クラブ等)での健康講話の実施	実施件数 2件	地域への周知及び実施件数の向上

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					レ 3					4	
課 題	平成16年度から3年間のモデル事業としていきいき百人衆の立ち上げが始まり、地域住民が主体となり当初は10地区全地区で開催されていたが、モデル事業の終了後、組織の長くなり手がいない、活動の行き詰まり等により、開催地区が減少している。高齢者クラブ等での健康講話については要望も多く定期的実施できているが、更なる広がりをどうやって作るかと、割り当ての時間が短いという課題がある。															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号	03050105															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	現在、ほとんどの地区で行きいき百人衆の活動が消滅しており生かされていない。地域住民の主体性に期待し運営も任せていたが、長くなり手がいない等住民の負担感が大きかった。今後の方向性を論議する必要がある。健康講話はある程度要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。	現在、ほとんどの地区で行きいき百人衆の活動が消滅しており生かされていない。地域住民の主体性に期待し運営も任せていたが、長くなり手がいない等住民の負担感が大きかった。今後の方向性を論議する必要がある。健康講話はある程度要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。								
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ ⑦	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持				
方向性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
方向性	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。					今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。				

最終評価年月日	平成29年5月12日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依田利文
---------	------------	---------	-----------------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	中部保健福祉サービスセンター健康教室事業	事業期間	平成 16 ~ 年度	整理番号	03060110
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	永田 そのか
				連絡先	82-0107

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	05	第5節 健康づくりの推進							
				細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援							
				事務事業	02	健康教室事業							
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地域の方々や高齢者クラブ等地区の集まりで健康教室を開催し、市民一人ひとりの健康意識を高めたり、具体的な健康づくりの方法について講話を行う。											
	現状と背景 （どうして）	近年少子高齢化により、疾病及び加齢に伴う医療や介護による負担が増加している。こうした変化に対応するためには市民一人ひとりが生活習慣病を予防し、社会生活を営むために必要な機能を維持・向上すること等によって健康づくりを推進することが必要である。											
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	受益者 ちの・米沢・中大塩地区の住民										
		対象 （直接働きかける）	同上										
		意図 （どんな状態にしたいか）	健康教室を実施することで個人の健康意識を向上させ、市民一人ひとりが健康を育む習慣に関心を持ち、健康づくりを自ら実施できるようになる。										
	手段・方法 （どうやって）	高齢者クラブや保健補導員会等地区の集まりで健康教室を行い、生活習慣病予防を主とした病気の理解を深め、心身の機能を維持・向上するために住民自ら健康づくりを進められるように支援します。											
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		地区の集まりでの健康講話の実施	開催回数	区	開催回数の合計				25				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		地区の集まりの開催率	開催率	%	開催区数÷目標開催区数				100				

実施状況 （ D O ）	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円			
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職員数	一般財源	円					
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人					
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
活動指標	開催回数	目標	区	13	13	13	25
		実績		20	20	38	18
	達成率	%	153.85	153.85	292.31	72.00	
	-	目標					
実績							
達成率	%	-	-	-	-		
成果指標	開催率	目標	%	100	100	100	100
		実績		100	100	100	100
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	目標					
実績							
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	中部保健福祉サービスセンター健康教室事業	事業期間	平成 16 ~	年度	整理番号	03060110	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	永田 そのか	連絡先	82-0107

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題		
	第1期					
	第2期					
	第3期					
	第4期					
事 中 評 価						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化		今 後 の 方 向 性	成 果 拡 充	②	⑤	⑦
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）			現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

評価年度		当年度															
評 価 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	B
	チェック					4					レ	3					
	課 題	高齢者クラブでは定例会を利用して健康講話の要望があるが、全地区には実施できておらず、また割り当ての時間が短いという課題がある。保健補導員主催の健康教室では参加者の集まりが悪く、開催する日程、時間等で工夫が必要である。														記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定															B		
前年度評価シート整理番号															03060110		
総 合 評 価	細 施 策 評 価 前						細 施 策 評 価 後										
	高齢者クラブでの健康講話はある程度要望があるが、高齢者クラブに加入する前の世代の方へも話す機会を広げていく必要がある。						高齢者クラブでの健康講話はある程度要望があるが、全地区には実施されなかった。開催する日程、時間、講話内容等の工夫をして、高齢者クラブも含めより多くの地域の方に、健康意識を高め健康作りに取り組めるように取り組みが必要。										
前年度改革・改善策の実施状況		一部実施				前年度細施策評価における今後の方向性											
改 革 ・ 改 善 策 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前						細 施 策 評 価 後									
		成 果 拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 拡 充				レ					
		現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持									
		縮 小		④	⑧		⑩	縮 小									
休 廃 止	①					休 廃 止											
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									
改革・改善策		今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。						今後も高齢者クラブ・他の集会への働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。									

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康教室事業	事業期間	平成 16 ~ 年度	整理番号	03040105
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	金井美代子	連絡先	82-0026

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 02 運動習慣の定着と地域活動支援			
			事務事業 02 健康教室事業			
画	予算事業名	会計コード 001 款 03 項 01 目 09 事業 03				
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	いつまでも元気で健康で過ごすために運動は有効であり、運動を習慣付けることにより生活習慣病を予防する。そのための教室を開催し意識付けを促す。具体的には地域の方々への健康教室として地区をあげてのいきいき百人衆を開催したり、高齢者クラブ等地区の集まりでの健康講話を行う。				
	現状と背景 (どうして)	時代とともに便利な生活様式に変わってきており体を動かす機会が減っている。食生活の変化や運動不足により生活習慣病が増加しており、それに伴う医療費の増加も問題となっている。				
	目的	生活習慣病の発症を予防し、いつまでも健康でいられるよう、運動に関心を持ってもらうようにする。				
L	手段・方法 (どうやって)	いきいき百人衆を開催し参加してもらい実際に運動を体験してもらったり、高齢者クラブや保健補導員会等地区の集まりで健康講話を行い、運動の大切さを知ってもらう。				
	対象	受益者 (誰のために)	玉川地区、豊平地区、泉野地区の住民			
		対象 (直接働きかける)	同上			
		意図 (どんな状態にしたいか)	生活習慣病の発症を予防し、いつまでも健康でいられるよう、運動に関心を持ってもらうようにする。			
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		いきいき百人衆の開催	開催回数	回	開催回数の合計	
		地区の集まりでの健康講話の実施	実施地区等数	区	実施地区等の合計	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		いきいき百人衆の開催率	開催率	%	開催回数÷目標回数	100
		地区の集まりの開催率	開催率	%	開催区数÷目標開催区数	100

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)	
実 施 状 況	事業費等(a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
	職員数							
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人							
D O	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
	活動指標	開催回数	目標	回				
			実績	回	1	1	2	2
		実施地区等数	目標	区				
			実績	区	9	5	1	1
	成果指標	開催率	目標	%				
実績			%	100.00	100.00	100.00	100.00	
開催率		目標	%					
		実績	%	29.03	16.13	-	-	
備考								

事務事業名	健康教室事業	事業期間	平成 16 ~	年度	整理番号	03040105	
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	金井美代子	連絡先	82-0026

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域(高齢者クラブ等)での健康講話の実施	玉川地区 1区	
第2期	第67回豊平地区いきいき百人衆の実施 地域(高齢者クラブ等)での健康講話の実施	ノルディックウォーキングの実施 参加者 25名 玉川地区 2区	例年行っていた市民の森を会場としたウォーキングから実施場所と内容を変更し実施した。
第3期	第68回豊平地区いきいき百人衆の実施 地域(高齢者クラブ等)での健康講話の実施	小泉山ウォーキングの実施 参加者 20名 実施なし	例年のとおりの実施内容となった。参加者が固定化し減少傾向にある
第4期	地域(高齢者クラブ等)での健康講話の実施	実施なし	

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4				レ	3					4	
課題	平成16年度から3年間のモデル事業としていきいき百人衆の立ち上げが始まり、地域住民が主体となり当初は10地区全地区で開催されていたが、モデル事業の終了後、組織の長がいない、活動の行き詰まり等により、開催地区が減少している。高齢者クラブ等での健康講話については要望も多く定期的実施できているが、更なる広がりをどうやって作るかと、割り当ての時間が短いという課題がある。															
CH E C K	前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					
CH E C K	前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
現在、ほとんどの地区で行きいき百人衆の活動が消滅しており生かされていない。地域住民の主体性に期待し運営も任せていたが、長がいない等住民の負担感が大きかった。今後の方向性を論議する必要がある。健康講話はある程度要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。	現在、ほとんどの地区で行きいき百人衆の活動が消滅しており生かされていない。地域住民の主体性に期待し運営も任せていたが、長がいない等住民の負担感が大きかった。今後の方向性を論議する必要がある。健康講話はある程度要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成果の方向性	拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①	レ
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改 革 ・ 改 善 策	今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。	今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。

最終評価年月日	平成29年5月12日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依田利文
---------	------------	---------	-----------------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	北部保健福祉サービスセンター健康教室事業	事業期間	平成 16 ~ 年度	整理番号	03070110
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村 紀子
				連絡先	77-3000

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	05	第5節 健康づくりの推進							
				細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援							
				事務事業	02	健康教室事業							
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	05
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	いつまでも元気で健康で過ごすために運動をはじめ適正な食生活を習慣付けることにより生活習慣病を予防する。そのための教室を開催し意識付けを促す。具体的には地域の方々への健康教室として地区をあげて、高齢者クラブ等地区の集まりでの健康講話を行う。											
	現状と背景 （どうして）	時代とともに便利な生活様式に変わってきており体を動かす機会が減っている。食生活の変化や運動不足により生活習慣病が増加しており、それに伴う医療費の増加も問題となっている。											
	目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （誰のために）	湖東・北山地区の住民										
		対象 （直接働きかける）	同上										
		意図 （どんな状態にしたいか）	生活習慣病の発症を予防し、いつまでも健康でいられるよう、健康に関心を持ってもらうようにする。										
	手段・方法 （どうやって）	高齢者クラブや介護予防事業等地区の集まりで健康講話を行い、健康の大切さを知ってもらう。											
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		活動指標	地区の集まりでの健康講話の実施	実施地区等数	区	実施地区の合計							
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		地区の集まりの開催率	参加者数	人									

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
	職員数						
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人						
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
活動指標	実施地区等数	目標	区				
		実績	区	3	3	7	6
-	-	目標	%				
		実績	%				
-	-	目標	%				
		実績	%				
成果指標	参加者数	目標	人				
		実績	人	75	75	142	122
-	-	目標	%				
		実績	%				
-	-	目標	%				
		実績	%				
備考							

事務事業名	北部保健福祉サービスセンター健康教室事業	事業期間	平成 16 ~	年度	整理番号	03070110	
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村 紀子	連絡先	77-3000

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4			レ		3					4	

高齢者クラブ等での健康講話については要望も多く定期的実施できているが、更なる広がりやどうやって作るかと、割り当ての時間が短いという課題がある。

記号の定義
 A：計画どおり事業を進めることが適当
 B：事業の進め方に改善が必要
 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要
 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要

前年度総合評価判定 B
 前年度評価シート整理番号 03070110

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
健康講話は要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。	健康講話は要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。

前年度改革・改善策の実施状況 一部実施 前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 策 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前				細 施 策 評 価 後				
	改 革 ・ 改 善 策	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦	レ			
		現 状 維 持	③	⑥		⑨				
縮 小		④	⑧		⑩					
休 廃 止		①								
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
		今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。				今後も高齢者クラブ・他の集会への働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。				

最終評価年月日 平成29年5月19日 最終評価責任者 北部保健福祉サービスセンター長 保科 実早子

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		介護予防教室事業			事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03050106								
担当部署		健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利恵	連絡先	82-0073								
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり										
			施策	05	第5節 健康づくりの推進											
			細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援											
			事務事業	03	介護予防教室事業											
画	予算事業名						会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	03
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	基本チェックリストにより把握した二次予防高齢者やその他の65歳以上の高齢者が、将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、普段から行える介護予防についての学習や運動の場の提供をする介護予防教室として、各行政区等で脚腰おたっしや教室を実施する。														
	現状と背景 (どうして)	介護認定を受けている方のうち、転倒や骨折・認知症により寝たきりとなる方が多い現状の中で、元気なうちから将来介護状態にならないための取り組みに関心を持ってもらい、実際にそれを行う教室に参加する機会を提供する必要がある。														
	目的	受益者 (誰のために)	宮川・金沢地区の介護認定を受けていない65歳以上の高齢者													
P	対象	対象 (直接働きかける)	同上													
		意図 (どんな状態にしたいか)	介護予防教室を通じて定期的に外出する機会を作り、他者と話をしたり体を動かすことで心身の健康を維持して、いつまでも自分のできることを維持することができる。													
	手段・方法 (どうやって)	介護予防事業を委託した事業所や脚腰おたっしや教室へ対象者に集まってもらい、運動や生活の中に取り入れられそうなことについてお話しをする。仲間と一緒に体を動かしたり、顔見知りになり話をしてもらうことで、定期的に外出する機会を得てもらう。														
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値								
		活動指標	脚腰おたっしや教室の開催	開催回数	回	おたっしや教室(月1回)×1地区、OB会(月2回×1地区、月1回×6地区、半年開催1地)										
			介護予防教室(委託)の開催	開催回数	回											
		成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値							
		対象者の教室参加者率	参加者率	%	各地区の(教室参加者数(延)÷対象地区の高齢者数(延)の10%×100)			80								

実施状況	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)	
	D	事業費等(a)	円					
財源内訳								
国庫支出金		円						
県支出金		円						
地方債		円						
その他特定財源		円						
一般財源		円						
職員数								
正規職員		人	0.13	0.13	0.13	0.20		
嘱託職員		人						
臨時職員	人							
合計	人	0.13	0.13	0.13	0.20			
O	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
	活動指標	開催回数	目標	回				
			実績	回	102	114	114	120
		達成率	%	-	-	-	-	
		開催回数	目標	回				
	実績		回	122	120	114	120	
達成率	%	-	-	-	-			
成果指標	参加者率	目標	%	100	100	100	100	
		実績	%	80	80	89	90	
	達成率	%	80.00	80.00	89.00	90.00		
	100.00	100.00						
備考	目標	-						
	実績	-						
達成率	%	-	-	-	-			

事務事業名	介護予防教室事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03050106	
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利 恵	連絡先	82-0073

期	目 標	実 績	課 題
第1期	足腰お達者教室の定期的な実施及び拡大	足腰お達者教室実施箇所 宮川地区 … 6ヶ所 金沢地区 … 3ヶ所	参加者の継続的な参加、実施箇所拡大
第2期	足腰お達者教室の定期的な実施及び拡大	足腰お達者教室実施箇所 宮川地区 … 0ヶ所 金沢地区 … 1ヶ所	参加者の継続的な参加、実施箇所拡大
第3期	足腰お達者教室の定期的な実施及び拡大	足腰お達者教室実施箇所 宮川地区 … 1ヶ所 金沢地区 … 0ヶ所	参加者の継続的な参加、実施箇所拡大
第4期	足腰お達者教室の定期的な実施及び拡大	足腰お達者教室実施箇所 宮川地区 … 0ヶ所 金沢地区 … 0ヶ所	参加者の継続的な参加、実施箇所拡大

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	
課題	<p>教室の開催により、近所の人を誘いあっていたただけで参加者数が増えた地区と、参加者が固定されなかなか他の参加者が増えない地区があった。多くの方に参加してもらうためには、気軽に出かけられる雰囲気や運動のメニューなど内容についても検討が必要である。決まった期間でなく長期的に教室（集まり）を続けていくために、それぞれの地区においてボランティアや福祉推進委員等の協力者が必須である。参加者が教室に参加してどんな変化や効果を感じることができたのか評価も行っていく。</p>															
CH E C K	前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					03050106

評 価 観 点	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	総合評価	<p>将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どういった開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか考えていきたい。</p>					<p>将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どういった開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか考えていきたい。</p>								
CH E C K	前年度改革・改善策の実施状況					一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	方向性	成 果 の 方 向 性 拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性 拡 充			レ
改 革 ・ 改 善 策	現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持				
	縮 小		④	⑧		⑩	縮 小				
	休 廃 止	①					休 廃 止				
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
	<p>現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。</p>					<p>現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。</p>					

最終評価年月日	平成29年5月12日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	介護予防教室事業			事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03060106	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	永田 そのか	連絡先	82-0107	
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり			
			施策	05	第5節 健康づくりの推進			
			細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援			
			事務事業	03	介護予防教室事業			
画	予算事業名						会計コード	001 款 03 項 01 目 09 事業 04
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	基本チェックリストにより把握した二次予防高齢者やその他の65歳以上の高齢者が、将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、普段から行える介護予防についての学習や運動の場の提供をする介護予防教室として、各行政区等で脚腰おたっしや教室を実施する。						
	現状と背景 (どうして)	介護認定を受けている方のうち、転倒や骨折・認知症により寝たきりとなる方が多い現状の中で、元気なうちから将来介護状態にならないための取り組みに関心を持ってもらい、実際にそれを行う教室に参加する機会を提供する必要がある。						
	目的	対象	受益者 (誰のために)					
		対象 (直接働きかける)						
意図 (どんな状態にしたいか)		介護予防教室を通じて定期的に外出する機会を作り、他者と話をしたり体を動かすことで心身の健康を維持して、いつまでも自分のできることを維持することができる。						
手段・方法 (どうやって)	介護予防事業を委託した事業所や脚腰おたっしや教室へ対象者に集まってもらい、運動や生活の中に取り入れられそうなことについてお話しをする。仲間と一緒に体を動かしたり、顔見知りになり話をしてもらうことで、定期的に外出する機会を得てもらう。							
N	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値		
		脚腰おたっしや教室の開催	開催回数	回	おたっしや教室(月1回) × 13区	137		
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値		
		対象者の教室参加率	参加率	%	各地区の(教室参加者数(延) ÷ 対象地区の高齢者数(延)の10% × 100)	80		

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)	
実	事業費等(a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
施	職員数	人	0.13	0.13	0.13	0.13		
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
状	臨時職員	人						
	合計	人	0.13	0.13	0.13	0.13		
	対象(者)数							
況	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
D	活動指標	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	
		開催回数	目標	回	144	156	156	137
			実績	回	144	156	137	139
参加人数	目標	回	100.00	100.00	87.82	101.46		
	実績	回	264	780	608	672		
-	達成率	%	-	-	-	-		
	目標	回	-	-	-	-		
O	成果指標	実績	%	-	-	-	-	
		達成率	%	100	80	80	80	
-	参加率	目標	%	80	80	80	80	
		実績	%	80.00	100.00	100.00	100.00	
-	達成率	%	80.00	100.00	100.00	100.00		
	目標	%	#VALUE!	#VALUE!	-	-		
備考	実績	%						
	達成率	%						

事務事業名	介護予防教室事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03060106	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	永田 そのか	連絡先	82-0107

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価						
今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	成果の方向性	拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	成果の方向性	現 状 維 持	③	⑥	⑨
		成果の方向性	縮 小	④	⑧	⑩
		成果の方向性	休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
	チェック						4					レ	3					
課 題	<p>教室の開催により、近所の人を誘いあっていたことで参加者数が増えた地区と、参加者が固定されなかなか他の参加者が増えない地区があった。多くの方に参加してもらうためには、気軽に出かけられる雰囲気や運動のメニューなど内容についても検討が必要である。決まった期間でなく長期的に教室（集まり）を続けていくために、それぞれの地区においてボランティアや福祉推進委員等の協力者が必須である。参加者が教室に参加してどんな変化や効果を感じることができたのか評価も行っていく。</p>															記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要	
																前年度総合評価判定	B	
																前年度評価シート整理番号	03060106	

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どういった開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか考えていきたい。						将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どういった開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、地区お通者教室を実施してきた。実施困難となった地区が出てきたことから、今後保健師の限られた人員の中でどのように実施していけばよいか、地区の特色を考えてどのように実施していくのが良いのか、総合事業との取り組みを含めて考えていく必要がある。				
	前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後							
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成果の方向性	拡 充			レ	
	成果の方向性	現 状 維 持		③	⑥		⑨	成果の方向性	現 状 維 持				
成果の方向性	縮 小		④	⑧		⑩	成果の方向性	縮 小					
成果の方向性	休 廃 止	①					成果の方向性	休 廃 止					
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
改革・改善策	現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。					より多くの方が介護状態にならないように進めていくために、教室に参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、実施困難となった地区が出てきたことから、今後保健師限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。							

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	介護予防教室事業			事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03040106
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	金井美代子	連絡先	82-0026
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり	
				施策	05	第5節 健康づくりの推進	
				細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援	
				事務事業	03	介護予防教室事業	
	予算事業名			会計コード	001	款	03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	基本チェックリストにより把握した二次予防高齢者やその他の65歳以上の高齢者が、将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、普段から行える介護予防についての学習や運動の場の提供をする介護予防教室として、各行政区等で脚腰おたっしや教室を実施する。					
	現状と背景 （どうして）	介護認定を受けている方のうち、転倒や骨折・認知症により寝たきりとなる方が多い現状の中で、元気なうちから将来介護状態にならないための取り組みに関心を持ってもらい、実際にそれを行う教室に参加する機会を提供する必要がある。					
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	介護予防教室を通じて定期的に外出する機会を作り、他者と話をしたり体を動かすことで心身の健康を維持して、いつまでも自分のできることを維持することができる。				
	手段・方法 （どうやって）	介護予防事業を委託した事業所や脚腰おたっしや教室へ対象者に集まってもらい、運動や生活の中に取り入れられそうなことについてお話しをする。仲間と一緒に体を動かしたり、顔見知りになり話をしてもらうことで、定期的に外出する機会を得てもらう。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		脚腰おたっしや教室の開催	開催回数	回	おたっしや教室（月1回）×1地区、OB会（月2回×1地区、月1回×6地区、半年開催1地		
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		対象者の教室参加者率	参加者率	%	各地区の（教室参加者数（延）÷対象地区の高齢者数（延）の10%×100		80

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
職員数	正規職員	人	0.13	0.13	0.13	0.13	
	嘱託職員 臨時職員 合計	人	0.13	0.13	0.13	0.13	
活動指標	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト		円	-	-	-	-	-
	開催回数	目標 実績 達成率	回 114 %	回 114 %	回 114 %	回 115 %	回 115 %
開催回数	目標 実績 達成率	回 120 %	回 115 %	回 115 %	回 115 %	回 115 %	回 115 %
	目標 実績 達成率	- - %	- - %	- - %	- - %	- - %	- - %
参加者率	目標 実績 達成率	% 80 %	% 80 %	% 80.00 %	% 95 %	% 96.00 %	% 100 %
	目標 実績 達成率	- - %	- - %	- - %	- - %	- - %	- - %
備考							

事務事業名	介護予防教室事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03040106	
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	金井美代子	連絡先	82-0026

期	目 標	実 績	課 題
第1期	足腰お達者教室の定期的な実施及び拡大	足腰お達者教室実施個所 玉川地区 … 6か所 豊平地区 … 3ヶ所 泉野地区 … 0ヶ所	参加者の継続的な参加、実施個所の拡大
第2期	足腰お達者教室の定期的な実施及び拡大	足腰お達者教室実施個所 玉川地区 … 6か所 豊平地区 … 3ヶ所 泉野地区 … 0ヶ所	参加者の継続的な参加、実施個所の拡大
第3期	足腰お達者教室の定期的な実施及び拡大	足腰お達者教室実施個所 玉川地区 … 6か所 豊平地区 … 3ヶ所 泉野地区 … 1ヶ所	参加者の継続的な参加、実施個所の拡大
第4期	足腰お達者教室の定期的な実施及び拡大	足腰お達者教室実施個所 玉川地区 … 6か所 豊平地区 … 3ヶ所 泉野地区 … 1ヶ所	参加者の継続的な参加、実施個所の拡大

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	
課 題	教室の開催により、近所の人を誘いあっていたただけで参加者数が増えた地区と、参加者が固定されなかなか他の参加者が増えない地区があった。多くの方に参加してもらうためには、気軽に出かけられる雰囲気や運動のメニューなど内容についても検討が必要である。決まった期間でなく長期的に教室（集まり）を続けていくために、それぞれの地区においてボランティアや福祉推進委員等の協力者が必須である。参加者が教室に参加してどんな変化や効果を感じることができたのか評価も行っていく。															
	前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					
	前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どういった開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか考えていきたい。	将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どういった開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか考えていきたい。								
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後													
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持		③	⑥	⑨	縮 小		④	⑧	⑩	休 廃 止	
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性													
改 革 ・ 改 善 策	現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。					現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。													

最終評価年月日	平成29年5月12日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	介護予防教室事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03070106
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	山崎 知子	連絡先	77-3000

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 02 運動習慣の定着と地域活動支援			
			事務事業 03 介護予防教室事業			
予 算 事 業 名				会計コード 001 款 03 項 01 目 09 事業 05		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	基本チェックリストにより把握した二次予防高齢者やその他の65歳以上の高齢者が、将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、普段から行える介護予防についての学習や運動の場の提供をする介護予防教室として、各行政区等で脚腰おたっしや教室を実施する。					
現状と背景 （どうして）	介護認定を受けている方のうち、転倒や骨折・認知症により寝たきりとなる方が多い現状の中で、元気なうちから将来介護状態にならないための取り組みに関心を持ってもらい、実際にそれを行う教室に参加する機会を提供する必要がある。					
目 的	受益者 （誰のために）	湖東・北山地区の介護認定を受けていない65歳以上の高齢者				
	対象 （直接働きかける）	同上				
的 意 図 （どんな状態にしたいか）	介護予防教室を通じて定期的に外出する機会を作り、他者と話をしたり体を動かすことで心身の健康を維持して、いつまでも自分のできることを維持することができる。					
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	介護予防事業を委託した事業所や脚腰おたっしや教室へ対象者に集まってもらい、運動や生活の中に取り入れられそうなことについてお話しをする。仲間と一緒に体を動かしたり、顔見知りになり話をしてもらうことで、定期的に外出する機会を得てもらう。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		脚腰おたっしや教室の開催	開催回数	回	おたっしや教室（月1回）×1地区、〇B会（月2回×1地区、月1回×6地区、半年開催1地	120
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		対象者の教室参加率	参加者率	%	各地区の（教室参加者数（延）÷対象地区の高齢者数（延）の10%×100	80

項 目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円							
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円							
職員数	人	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13		
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合 計	人	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13		
対 象 (者) 数								
延 利 用 (者) 数 (b)								
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受 益 者 負 担 額	円							
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	18.00		
D （ ）	活動指標	開催回数	目標	回	92	92	109	120
			実績	回	92	92	114	116
	指標名称	達成率	目標	%	100.00	100.00	104.59	96.67
			実績	%	100.00	100.00	102.56	100.00
O （ ）	成果指標	参加者率	目標	%	80	80	80	80
			実績	%	65	65	65	87
	達成率	目標	%	81.25	81.25	81.25	108.75	100.00
		実績	%	#VALUE!	#VALUE!	-	-	-
備考								

事務事業名	介護予防教室事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03070106	
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	山崎 知子	連絡先	77-3000

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題																
	第1期																			
	第2期																			
	第3期																			
	第4期																			
事 中 評 価																				
	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①		
拡 充	②	⑤	⑦																	
現 状 維 持	③	⑥	⑨																	
縮 小	④	⑧	⑩																	
休 廃 止	①																			
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	方 向 性		<table border="1"> <tr> <td>皆 減</td> <td>縮 小</td> <td>現 状 維 持</td> <td>拡 大</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">コ ス ト 投 入 の 方 向 性</td> </tr> </table>	皆 減	縮 小	現 状 維 持	拡 大	コ ス ト 投 入 の 方 向 性											
皆 減	縮 小	現 状 維 持	拡 大																	
コ ス ト 投 入 の 方 向 性																				

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
	チェック						4					レ	3					
課 題	<p>教室の開催により、近所の人を誘いあっていたことで参加者数が増えた地区と、参加者が固定されなかなか他の参加者が増えない地区があった。多くの方に参加してもらうためには、気軽に出かけられる雰囲気や運動のメニューなど内容についても検討が必要である。決まった期間でなく長期的に教室（集まり）を続けていくために、それぞれの地区においてボランティアや福祉推進委員等の協力者が必須である。参加者が教室に参加してどんな変化や効果を感じることができたのか評価も行っていく。</p>															記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要	
	前年度総合評価判定															B		
	前年度評価シート整理番号															03070106		

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どういった開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか考えていきたい。	将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どういった開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、地区お遠者教室を実施してきた。実施困難となった地区が出てきたことから、今後保健師の限られた人員の中でどのように実施していけばよいか、地区の特色を考えてどのように実施していくのが良いのか、総合事業との取り組みを含めて考えていく必要がある。									
	前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後							
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充			レ	
		現 状 維 持		③	⑥		⑨		現 状 維 持				
	縮 小		④	⑧		⑩		縮 小					
	休 廃 止	①						休 廃 止					
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性							
改革・改善策	現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。					より多くの方が介護状態にならないようにしていくために、教室に参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、実施困難となった地区が出てきたことから、今後保健師限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。							

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	北部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（歯科検診事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020110
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326	

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	03	歯科保健事業の充実								
				事務事業	02	歯科健診事業								
	予算事業名	歯科検診事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	03	事業	02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	・30～60歳の5歳刻みの年齢の方を対象に歯周疾患検診を行い歯周疾患の早期発見、早期治療につなげる。また、歯周疾患が悪化することによる身体への影響（循環器疾患、糖尿病、肺炎）を予防する。												
	現状と背景 （どうして）	・歯周疾患が増加している。早期発見することで治療期間も短くなる。												
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民										
		対象	対象 （直接働きかける）	市民										
		意図 （どんな状態にしたいか）	検診を受け早期発見、治療につなげる。											
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> ・検診対象者全員に個別通知する。 ・歯周疾患検診をを指定歯科医療機関で実施する。 												
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		活動指標	歯科検診受診の推進	検診受診者数	人					450				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		成果指標	歯周疾患患者の減少	異常なし者率	%	異常なし者÷検診受診者				35				

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	971,598	1,124,416	897,007	946,229
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円	442,000	249,000	309,680	303,800	454,000	
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職 員 数	一般財源	円	529,598	875,416	587,327	642,429	654,000	
	正規職員	人	0.15	0.15	0.15	0.15		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.15	0.15	0.15	0.15		
対 象 （ ）	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	17.00	20.00	16.00	17.00	20.00	
	活動指標	検診受診者数	目標	400	450	450	450	
			実績	426	456	358	364	
		達成率	%	106.50	101.33	79.56	80.89	-
成 果 指 標	異常なし者率	目標	25	35	35	35	35	
		実績	31	16	11	13	15	
		達成率	%	122.00	45.71	32.57	37.14	42.86
		目標	-					
	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-	-	
備考								

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	20歳の歯科健診事業	事業期間	平成 28 ~ 年度	整理番号	03020146	
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	03	歯科保健事業の充実
				事務事業	02	歯科健診事業
	予算事業名	歯科健診事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	20歳になる人に市内の指定医療機関で歯科健診を実施する。				
	現状と背景 （どうして）	学生の際は歯科健診があるが、卒業するとその機会がなくなり歯科保健についての関心が薄れる。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	20歳の市民			
		対象 （直接働きかける）	20歳の市民			
	意図	若いうちから歯周疾患にならないための予防をしていくためのきっかけづくりにする。				
	手段・方法 （どうやって）	20歳になる対象者へ通知を送る。指定医療機関で健診を受ける。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		対象者へ通知する	通知発送	%	発送数÷対象者	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		検診受診率	受診率	%	受診者÷対象者	30

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円				497,016	691,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円				497,016	691,000
職員数	人					
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人					
対象（者）数					556	
延利用（者）数 (b)					87	
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	5,713	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	9.00	12.00
D （ ）	活動指標	通知発送	目標	%		100
			実績	%		100
		達成率	%	-	-	100.00
		目標	%			
O （ ）	成果指標	受診率	目標	%		30
			実績	%		16
		達成率	%	-	-	52.00
		目標	%			
		実績	%			
		達成率	%	-	-	
備考						

事務事業名	20歳の歯科健診事業	事業期間	平成 28 ~	年度	整理番号	03020146	
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	健診実施体制の準備	歯科医師会の会議に出席し、打ち合わせを行った。	8月から健診が開始になる。
第2期	対象者に問診票を発送し、受診できるようにする。	対象者556人全員に発送できた。	歯科健診が開始となった。
第3期	多くの方に受診してもらえるよう、PRする。	成人式で帰省するタイミングに、受診勧奨のためホームページに掲載した。	健診が終了になる。
第4期	健診期間が終了したら、速やかに回収する。次年度の準備を行う。	歯科医師会の協力もあり、事務局へ回収を行った。今年度受診者数は87人。	受診率を上げる必要がある。

事 中 評 価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 健診が開始となった。	<table border="1"> <tr> <td>今 成 拓 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後 果 の 現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の 方 向 性 縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方 向 性 休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 成 拓 充	②	⑤	⑦	後 果 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨	の 方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩	方 向 性 休 廃 止	①		
今 成 拓 充	②	⑤	⑦														
後 果 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨														
の 方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩														
方 向 性 休 廃 止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 新年度は、健診期間を5月～2月までとし、実施する。	<table border="1"> <tr> <td>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ス ト 投 入 の 方 向 性</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大				コ ス ト 投 入 の 方 向 性											
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大																	
コ ス ト 投 入 の 方 向 性																	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ	4				レ	3				レ	4	B
課題	実施初年度であったため前年との比較できないが、受診率を向上させる必要がある。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
	前年度総合評価判定										前年度評価シート整理番号					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		多くの方に興味を持ってもらい、歯科健診に行ってもらえるよう、次年度も継続していく。					多くの方に興味を持ってもらい、歯科健診に行ってもらえるよう、次年度も継続していく。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拓 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拓 充		
		現 状 維 持	③	⑥		⑨		現 状 維 持			
		縮 小	④	⑧		⑩		縮 小			
		休 廃 止	①					休 廃 止			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	受診率が上がるよう、歯科医師会の協力も得ながら周知していきたい。					受診率が上がるよう、歯科医師会の協力も得ながら周知していきたい。					

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費(乳幼児健診事業)	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020111
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美
				連絡先	326

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	04	母子保健システムの確立
				事務事業	01	母子保健事業
予 算 事 業 名	乳幼児検診事業費			会計コード	001	款 04 項 01 目 04 事業 06
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	4か月児・・・内科健診、整形外科健診、集団指導（生活リズム・離乳食指導）、発達発育確認、個別指導 10か月児・・・内科健診、集団指導（生活リズム・歯科・離乳食指導）、発達発育確認、個別指導 1歳6か月児・・・内科健診、歯科検診、集団指導（生活リズム・歯科・食事指導）、発達発育確認、個別指導、心理相談 2歳児・・・歯科健診、歯科指導、集団指導（生活リズム、歯科、食事指導）、発達発育確認、個別相談、言語相談 3歳児・・・内科健診、歯科検診、集団指導（生活リズム・歯科・食事指導）、発達発育確認、個別指導、心理相談、視力検					
現状と背景 （どうして）	成長の節目として、身体、歯に異常がないかどうか保護者自身も確認ができる機会。また、発育、発達確認や各専門職に相談を行うことで、子育て中の母等の心配や不安軽減をし、安心して育児ができるように支援する。また、歯科については早いうちから関心を持ってもらい歯周疾患の予防を目指す。					
対 象 （ 誰 の た め に ）	受益者	市民				
対 象 （ 直 接 働 き か け る ）	対象	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者				
意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	目的	対象児の健康状態の確認ができる。また、保護者が発達発育について確認できるの場となり、現在の生活習慣や食事、口腔衛生について見直す機会となる。希望者には各専門職に相談をしてもらうことで、不安を減らして安心して育児をすることができるようにする。				
手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	手段・方法	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者 小児科医、歯科医、歯科衛生士、保健師、栄養士、臨床心理士、視能訓練士、保育園長が、診察・発達発育確認・それぞれ相談を行う。				
N （ 評 価 指 標 の 作 成 ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健診回数（4、10、1.6、2、3歳児健診）	実施回数	回	年間計画による実施回数	120
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		3歳児健診時う歯を保有していない児の比率	う歯を保有していない比率	%	年間計画による健診結果数値	90
		健診に来所して健康状態の確認ができる	健診受診率	%	健診来所者÷健診対象者×100	98

項 目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	8,787,000	6,328,010	6,623,580	6,891,585	7,564,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	8,787,000	6,328,010	6,623,580	6,891,585	7,564,000
職員数						
正規職員	人	1.10	1.10	1.10	1.10	
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合 計	人	1.10	1.10	1.10	1.10	
対 象 （ 者 ） 数						
延 利 用 （ 者 ） 数 (b)						
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受 益 者 負 担 額	円					
市民一人当たりのコスト	円	156.00	113.00	119.00	124.00	137.00
D （ 活 動 指 標 ）	実施回数	目標	96	96	96	96
		実績	96	96	96	96
		達成率	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
		達成率	-	-	-	-
-	目標	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	
O （ 成 果 指 標 ）	う歯を保有していない比率	目標	90	90	85	85
		実績	75	83	89	84
		達成率	83.67	92.56	104.71	98.82
	健診受診率	目標	98	98	98	98
		実績	97	97	99	98
		達成率	99.08	98.98	101.02	100.00
備 考	H26年度から乳幼児健診事業と歯科指導事業（国保会計）を統合 25年度決算額7,961,685円（一般財源6,896,454円）					

事務事業名	一般経費(乳幼児健診事業)	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020111
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	受診から事後相談までの流れについて再確認し、改善点を明確にする。	各健康診断の流れを確認し、待ち時間や健診の順序についての改善点を確認できた。	健康診断での待ち時間が長くなってしまうことがあるので検討が必要である。
第2期	健康診査の待ち時間の短縮をする。	スタッフ向けのカードを作成し、同時進行できるようにして待ち時間の短縮をした。	受診者が次への行動がわかりにくい。
第3期	受診者に次の行動がわかりやすい表示をする。	健診前に流れや場所を説明し、健診中は掲示しておく。	2歳児歯科健康診査の歯の染出しに時間がかかる。
第4期	受診者が歯の染出しの方法がスムーズに理解できる。	歯の染出しの手順を写真付きでわかりやすく表示した。	受診者にとって必要な指導・相談が提供できる環境を作る。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 継続実施	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性																
皆減	縮小	現状維持	拡大																			
コスト投入の方向性																						

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4			レ		3					4	B
チェック																
課題	<p>今後も健診の内容・進行の仕方について振り返りを行い、改善策について検討していく。 保健師等の個別相談技術、問診技術の力量形成を継続させていく。</p>															
記号の定義	<p>A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	評価	<p>健診内容について振り返り、改善をすることができた。継続的に見直しを行っていく。 健診後のカンファレンスで検討し、親子広場、やまびこ園、言語・心理相談、各地区相談会に繋ぎ、フォロー体制を取ることができた。</p>								
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	成果の方向性	③	⑥	⑨	⑩
方向性	拡充	④	⑧	⑩	現状維持	①				
方向性	現状維持				縮小					
方向性	縮小				休廃止					
方向性	休廃止				皆減	縮小	現状維持	拡大		
方向性					コスト投入の方向性					
改革・改善策	<p>今後も健診内容について振り返りを行い改善策を検討していく。</p>									

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康図案推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	一般経費(乳幼児健診事業) (国保)	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020111
担当部署	健康福祉部 保健課 健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 (ど う や っ て)	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 04 母子保健システムの確立			
			事務事業 01 母子保健事業			
予 算 事 業 名	乳幼児健診事業			会計コード 002 款 08 項 02 目 02 事業 01		
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	4か月児…内科健診、整形外科健診、集団指導(生活リズム・離乳食指導)、発達発育確認、個別指導 10か月児…内科健診、集団指導(生活リズム・歯科・離乳食指導)、発達発育確認、個別指導 1歳6か月児…内科健診、歯科検診、集団指導(生活リズム・歯科・食事指導)、発達発育確認、個別指導、心理相談 2歳児…歯科健診、歯科指導、集団指導(生活リズム、歯科、食事指導)、発達発育相談、個別相談、言語相談 3歳児…内科健診、歯科検診、集団指導(生活リズム・歯科・食事指導)、発達発育確認、個別指導、心理相談、視力検					
現状と背景 (どうして)	成長の節目として、身体、歯に異常がないかどうか保護者自身も確認ができる機会。また、発育、発達確認や各専門職に相談を行うことで、子育て中の母等の心配や不安軽減をし、安心して育児ができるように支援する。また、歯科については早いうちから関心を持ってもらい歯周疾患の予防を目指す。					
対 象	受益者 (誰のために)	市民				
	対 象 (直接働きかける)	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者				
意 図 (どんな状態にしたいか)	対象児の健康状態の確認ができる。また、保護者が発達発育について確認できる場となり、現在の生活習慣や食事、口腔衛生について見直す機会となる。希望者には各専門職に相談をしてもらうことで、不安を減らして安心して育児をすることができるようにする。					
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者 小児科医、歯科医、歯科衛生士、保健師、栄養士、臨床心理士、視能訓練士、保育園長が、診察・発達発育確認・それぞれ相談を行う。					
N 評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何?	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健診回数(4、10、1.6、2、3歳児健診)	実施回数	回	年間計画による実施回数	120
		成果・効果は何?	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	成果指標	3歳児健診時う歯を保有していない児の比率	う歯を保有していない比率	%	年間計画による健診結果数値	90
		健診に来所して健康状態の確認ができる	健診受診率	%	健診来所者÷健診対象者×100	98

項 目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
事業費等(a)	円	8,787,000	1,023,788	903,902	965,116	1,179,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円		202,386	160,000	158,000	
地方債	円					
その他特定財源	円		604,761	673,346	729,461	889,000
一般財源	円	8,787,000	216,641	70,556	77,655	290,000
職員数						
正規職員	人	1.10	1.10	1.10	1.10	
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合 計	人	1.10	1.10	1.10	1.10	
対 象 (者) 数						
延 利 用 (者) 数 (b)						
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受 益 者 負 担 額	円					
市民一人当たりのコスト	円	156.00	18.00	16.00	17.00	21.00
D 活 動 指 標	実施回数	目標	96	96	96	96
		実績	96	96	96	96
		達成率	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
		達成率	-	-	-	-
O 成 果 指 標	う歯を保有していない比率	目標	90	90	85	85
		実績	75	83	89	84
		達成率	83.67	92.56	104.71	98.82
	健診受診率	目標	98	98	98	98
		実績	97	97	99	98
		達成率	99.08	98.98	101.02	100.00

備考 H26年度から乳幼児健診事業と歯科指導事業(国保会計)を統合
25年度決算額7,961,685円(一般財源6,896,454円)

事務事業名	一般経費(乳幼児健診事業) (国保)	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020111
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	受付から事後相談までの流れについて再確認し、改善点を明確にする。	各健康診断の流れを確認し、待ち時間や健診の順序についての改善点を確認できた。	健康診断での待ち時間が長くなってしまうことがあるので検討が必要である。
第2期	健康診査の待ち時間の短縮をする。	スタッフ向けのカードを作成し、同時進行できるようにして待ち時間の短縮をした。	受診者が次への行動がわかりにくい。
第3期	受診者に次の行動がわかりやすい表示をする。	健診前に流れや場所を説明し、健診中は掲示しておく。	2歳児歯科健康診査の歯の染出しに時間がかかる。
第4期	受診者が歯の染出しの方法がスムーズに理解できる。	歯の染出しの手順を写真付きでわかりやすく表示した。	受診者にとって必要な指導・相談が提供できる環境を作る。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 継続実施	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	<p>今後も健診の内容・進行の仕方について振り返りを行い、改善策について検討していく。 保健師等の個別相談技術、問診技術の力量形成を継続させていく。</p>															
記号の定義	<p>A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	課題	<p>健診内容について振り返り、改善をすることができた。継続的に見直しを行っていく。 健診後のカンファレンスで検討し、親子広場、やまびこ園、言語・心理相談、各地区相談会に繋ぎ、フォロー体制を取ることができた。</p>								
前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持		レ	
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小			
		休 廃 止	①				休 廃 止			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	今後も健診内容について振り返りを行い改善していく。					今後も健診内容について振り返りを行い改善していく。				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費(不妊及び不育治療費助成事業)	事業期間	平成 28 ~ 29 年度	整理番号	03020131
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 04 母子保健システムの確立			
			事務事業 01 母子保健事業			
予算事業名	不妊及び不育治療費助成事業			会計コード 001 款 04 項 01 目 04 事業 03		
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	不妊症により子どもを授かることができない夫婦がいるが、医療技術の進歩により不妊治療を受けることで子どもを授かることができるケースが増えている。 しかし、不妊治療は、1回の治療費が高額である。また、1回では成功しないことも多く何度か繰り返し治療を受けなければならないこともあり、経済的な負担が大きく治療を断念せざるを得ない夫婦がいる。 不妊症に悩む多くの夫婦が不妊治療を受けることができる環境を整えることが必要である。					
現状と背景 (どうして)	不妊治療は、一部の治療を除き保険診療適応外の治療であるため、1回の治療費が高額で経済的負担が大きく治療を受けられない夫婦がいる。また、そのことによる精神的負担も大きい。					
対象	受益者 (誰のために)	不妊症に悩む夫婦				
	対象 (直接働きかける)	不妊治療を受ける夫婦				
意図 (どんな状態にしたいか)	不妊治療を受ける夫婦に治療費の一部を助成し経済的負担を軽減することにより、より多くの夫婦に治療を受ける機会が持てるようにし、不妊に悩む夫婦が子どもを授かることができるようにする。また、一人でも多くの子どもが生まれ、少子化対策の一環となるようにする。					
手段・方法 (どうやって)	県に不妊治療費に対する助成制度があるが、治療の内容の指定、指定の医療機関、所得制限があるため、県の助成事業の対象にならなかった夫婦に対して不妊治療費の一部を助成する。 助成額：1回の治療費の自己負担額に2分の1を乗じて得た額(10万円(一部5万円)を限度とする。)を助成する。 助成回数：5回を限度とする。 制度の内容をチラシ(医療機関、市の施設)、「広報ちの」にて周知する。					
N 評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	活動指標	制度の概要や申請の方法について市民に周知する	広報ちの掲載回数	回	半年に1回掲載する	2
	成果指標	治療による出産	出生率	%	治療後の出生数÷助成者×100	50

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
事業費等(a)	円	3,292,688	1,232,551	1,922,418	2,745,423	3,958,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	3,292,688	1,232,551	1,922,418	2,745,423	3,958,000
職員数						
正規職員	人	0.03	0.03	0.03	0.03	
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.03	0.03	0.03	0.03	
対象(者)数						
延利用(者)数(b)						
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	59.00	22.00	34.00	49.00	71.00
活動指標	広報ちの掲載回数	目標 2 実績 2 達成率 100.00%	目標 2 実績 1 達成率 50.00%	目標 2 実績 2 達成率 100.00%	目標 2 実績 1 達成率 50.00%	目標 2 実績 2 達成率 100.00%
	-	目標 - 実績 - 達成率 -	目標 - 実績 - 達成率 -	目標 - 実績 - 達成率 -	目標 - 実績 - 達成率 -	目標 - 実績 - 達成率 -
成果指標	出生率	目標 50 実績 22 達成率 44.40%	目標 50 実績 9 達成率 18.00%	目標 50 実績 7 達成率 13.60%	目標 50 実績 8 達成率 16.60%	目標 50 実績 9 達成率 18.00%
	-	目標 - 実績 - 達成率 -	目標 - 実績 - 達成率 -	目標 - 実績 - 達成率 -	目標 - 実績 - 達成率 -	目標 - 実績 - 達成率 -
備考						

事務事業名	一般経費(不妊及び不育治療費助成事業)	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020131
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	制度がわかり助成が拡大になったことを周知する。	広報ものに掲載の起案、7月号に掲載する。問い合わせ対応。	担当スタッフ以外に変更内容が浸透していない。
第2期	健康管理センター以外の関連部署へ周知する。	母子保健検討会で他部署のスタッフに周知、再確認した。	事務手続きに誤りがないように確認していく。
第3期	事務手続きに誤りがない。	ホームページの掲載内容の検討。	申請時の提出書類がわかりにくい。
第4期	1回の手続きで申請ができる。	ホームページの掲載内容の変更。昨年度より申請数増加。	来年度に向けた書類の変更等準備していく。

事 中 評 価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今 後 の 方 向 性</td> <td>成 果 的 方 向 性</td> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td></td> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦		現 状 維 持	③	⑥	⑨		縮 小	④	⑧	⑩		休 廃 止	①		
今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性		拡 充	②	⑤	⑦																
			現 状 維 持	③	⑥	⑨																
			縮 小	④	⑧	⑩																
		休 廃 止	①																			
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 今年度より男性不妊症及び不育症治療費の助成を追加したが、申請がないため、積極的に周知をしていく。	<table border="1"> <tr> <td>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</td> </tr> </table>	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																				
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																						

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	今年度より、助成対象の内容の拡大、様式の変更など要綱の一部改正が行われた。変更部分に関して周知をしていくことと事務の徹底をしていくことが課題である。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	事業の変更点を住民、スタッフに周知することができた。申請手続きに関して手順を確認し、事務手続きに誤りがないように取り組むことができた。	事業の変更点を住民、スタッフに周知することができた。申請手続きに関して手順を確認し、事務手続きに誤りがないように取り組むことができた。					事業の変更点を住民、スタッフに周知することができた。申請手続きに関して手順を確認し、事務手続きに誤りがないように取り組むことができた。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今後の方向性	成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 的 方 向 性	拡 充		
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持		レ	
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小			
		休 廃 止	①				休 廃 止			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改革・改善策	今後も制度の周知とともに事務手続きを確実に進めていくために係内で事務手順を確認していく。					今後も制度の周知とともに事務手続きを確実に進めていくために係内で事務手順を確認していく。				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費（妊婦一般健康診査事業）			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020132
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美			連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	04	母子保健システムの確立								
				事務事業	01	母子保健事業								
	予算事業名	妊婦一般健康診査事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	04	事業	01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	妊婦届出をした妊婦に対して、妊婦一般健康診査受診票を発行し、産科医療機関受診の際にかかる健診費用を公費負担する。												
	現状と背景 （どうして）	産科における妊婦健康診査は保険適応外であるため、経済的負担が大きい。健診費用を公費負担することによって、早期から胎児、妊婦の健康状態の確認のための健診を受けやすくなる。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民										
		対象	対象 （直接働きかける）	妊婦										
		妊婦初期に妊婦届出をしてもらい、妊婦初期から公費により妊婦健康診査を受けられるようにする。胎児や妊婦自身の健康状態の確認や相談ができるようにして、安心して妊娠期を送ってもらい、無事に出産をむかえられる。												
	手段・方法 （どうやって）	各産院に母子健康手帳交付窓口周知の依頼をする。 14回分基本健診（追加健診・超音波健診を含む）受診票を母子健康手帳交付時面接にて産科受診の際に使用していただくよう説明する。												
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		母子健康手帳交付窓口の周知することで妊婦にスムーズに受診券を交付できる	母子健康手帳（妊婦受診票）交付窓口の周知回数	回	各産院への交付窓口周知の依頼した回数					1				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		妊婦初期から妊婦健診を受けることができる	妊婦届出時期	%	母子健康手帳交付時の妊婦週数15週までの妊婦数/母子手帳交付数（転入を除く）					100				

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	51,506,705	47,676,599	47,183,294	41,127,615	54,478,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	51,506,705	47,676,599	47,183,294	41,127,615	54,478,000	
	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10		
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10			
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	917.00	852.00	846.00	741.00	983.00	
O （ ）	活動指標	母子健康手帳（妊婦受診票）交付窓口の周知回数	目標	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	1	
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	-
		達成率	%	-	-	-	-	-
	成果指標	妊婦届出時期	目標	100	100	100	100	100
		実績	%	99	98	98	98	98
		達成率	%	99.40	97.60	98.00	98.00	98.00
	-	目標	-	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	-	
備考								

事務事業名	一般経費（妊婦一般健康診査事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020132
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326	

期	目標	実績	課題
第1期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	22週の届け出があり、エリア担当が早期に関わりを持てた。	今後も関連部署と連絡を取り合い、早い段階から対応していく。
第2期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	転入者以外の16週を超える届け出はなかったが、引き続き留意していく。	今後も母子手帳交付時の面談にて早い時期から支援できるように留意していく。
第3期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	19週の届け出あったが、フォロー不要であった。	今後も母子手帳交付時の面談にて早い時期から支援できるように留意していく。
第4期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	17週の届け出があり、エリア担当がこども課と連携し、早期に関わりを持てた。	今後も関連部署と連絡を取り合い、早い段階から対応していく。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 必要時、他課と連携を密にして、子育て世代の支援を強化していく。	<p>皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					3					4	B
チェック																
課題	妊婦健診で所見があった方について出産後のフォローをしていく。妊婦健診受診票発行時のアンケート調査をもとにハイリスク者に早い段階でフォローしていく。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	母子健康手帳で妊婦の様子がわかるので、フォローが必要な人を担当者が把握する。						母子健康手帳で妊婦の様子がわかるので、フォローが必要な人を担当者が把握する。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡充		②	⑤	⑦	拡充			⑥
現状維持			③	⑥	⑩	現状維持				
縮小			④	⑧		縮小				
休廃止	①					休廃止				
皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	妊婦健診受診率の向上 妊婦健診の経済的負担の軽減 妊婦健診時に所見があった人の把握と出産後のフォロー					妊婦健診受診率の向上 妊婦健診の経済的負担の軽減 妊婦健診時に所見があった人の把握と出産後のフォロー				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤 澄子
---------	------------	---------	-----------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費（パパママ講座・赤ちゃん相談事業）	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03020133
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	04	母子保健システムの確立
				事務事業	01	母子保健事業
	予算事業名	パパママ講座・赤ちゃん相談事業			会計コード	001
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	出産を控える夫婦に対して、健やかな妊娠期を過ごし、出産を迎え子育てに向かうことができるように講座を開催する。新生児、乳幼児に対して、発達発育の確認や不安に対して相談ができる機会を作り、育児支援、仲間づくりの場を提供する。					
現状と背景 （どうして）	核家族化にともない、新生児に触れる機会なく育児を始める父母や、身近に相談相手が少ない環境の中で育児をしている保護者が多くなっている。妊娠期からを健やかに過ごし、出産、育児の中で出てくる不安や心配ごとなどに対して役立つ場の提供が必要である。					
目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	受益者 市民				
	対象 （直接働きかける）	出産を控える夫婦 新生児、乳幼児とその保護者				
手段・方法 （どうやって）	出産を控える夫婦が、健やかな妊娠期を過ごし、出産を迎え子育てに向かうことができるようにする。新生児、乳幼児に対して、発達発育の確認や不安に対して相談ができる。					
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		パパママ講座に参加できる機会をつくる	パパママ講座開催回数	12	年間パパママ講座開催回数	12
		新生児・乳幼児について相談できる場がある	赤ちゃん相談開催回数	24	年間赤ちゃん相談開催回数	24
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		パパママ講座に参加する	パパママ講座参加率	%	パパママ講座参加者÷第1子の出産を迎える夫婦の参加者数	55

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	592,537	589,687	506,554	492,540	709,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円	9,700	3,300	2,350	2,400	6,000	
一般財源	円	582,837	586,387	504,204	490,140	703,000	
職員数							
正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	11.00	11.00	9.00	9.00	13.00	
D （ ）	活動指標	パパママ講座開催回数	目標	12	12	12	12
			実績	12	12	12	12
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	赤ちゃん相談開催回数	目標	24	24	24	24	24
		実績	24	24	24	24	24
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
—	目標	—	—	—	—	—	
	達成率	%	—	—	—	—	
O （ ）	成果指標	パパママ講座参加率	目標	%	55	55	55
			実績	%	48.5	36.4	44.2
	達成率	%	88.18	66.18	80.36	81.27	
	—	目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—	—		
備考							

事務事業名	一般経費(パパママ講座・赤ちゃん相談事業)			事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020133
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美		連絡先	326	

期	目 標	実 績	課 題
第1期	赤ちゃん相談後のカンファレンスを行いフォローを確実に実施する。	フォローに上がっている児や、今後もフォローが必要な児を確認し、エリアに情報提供した。	今後も確実にフォローできるように、次の相談事業、健診、訪問に繋げる。
第2期	フォローに上がっている児が赤ちゃん相談に来たり、状況が把握できる。	毎回カンファレンスを実施し、来ていない児については状況の確認をした。	次の相談事業、健診、訪問に繋げる。
第3期	パパママ講座の内容について検討する。	講師・内容の変更はせず、講師とも内容を再確認できた。	パパママ講座の内容の充実をはかる。
第4期	赤ちゃん相談の内容の充実、相談後のカンファレンスを行いフォローを確実に実施する。	赤ちゃん相談に助産師を追加し、相談の充実をはかれた。 パパママ講座に来ていた母や児をフォローにつなぐことができた。	赤ちゃん相談での助産師の効果的な相談ができるように検討する。 パパママ講座参加者へのフォロー体制を整えていく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 若い世代を積極的に応援していく。	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					3					4	B
課題	赤ちゃん相談については、今後も気軽に相談できる場所として丁寧な対応に心がけていく。混雑時は待ち時間が短縮できるよう工夫をする。12月より新たに助産師を追加したため、効果的な相談ができるように検討する。 パパママ講座についても、今後も内容を見直しながら妊娠中に安心して過ごせお産を迎えられようように内容を深めていく。															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	引き続き、事業についての検討をしながら目的が達成できるようにしていく。						引き続き、事業についての検討をしながら目的が達成できるようにしていく。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成果の方向性	レ		
方向性	現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持				
方向性	縮 小		④	⑧		⑩	縮 小				
方向性	休 廃 止	①					休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
改革・改善策	赤ちゃん相談、パパママ講座について随時内容を検討していく。					赤ちゃん相談、パパママ講座について随時内容を検討していく。					

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費(親子広場事業)	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020134
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先
					326

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	05	第5節 健康づくりの推進							
				細施策	04	母子保健システムの確立							
				事務事業	01	母子保健事業							
予算事業名	親子広場事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	04	事業	05
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	乳幼児健診時やその後のフォロー、保護者の希望により、発達、発育等に心配がある親子に対して、集団の遊びを通じて親子関係を豊かにし、児の発達発育を促す。 臨床心理士、言語聴覚士、理学療法士に直接相談できる機会であり、発達、言語、体の動きについての支援を行う。 発達について専門的な見方での評価が必要な児に対しては、発達相談へお誘いする。 教室参加者の保護者を対象として、保護者向けの子育てスキルアップに関する講座も併せて開催する。												
現状と背景 (どうして)	児の発達のペースや家庭環境、家族関係などにより、家庭内では十分な関わりが持てなかったり、どの様に関わることが児にとってよいのか等に悩みや心配を持つ保護者が多い。												
対象	受益者 (誰のために)	市民											
	対象 (直接働きかける)	乳幼児健診やその他の相談等で発達、発育等を経過的に見ていくことが必要となった入園前の乳幼児											
目的	意図 (どんな状態にしたいか)	発達、発育が他の児と比べてゆっくりな児に対して、家庭でのやり取りだけでなく、集団の中での遊びを通じて多くの関わりを持つ機会が持て、発達、発育が促していけるような場の提供。											
手段・方法 (どうやって)	月2~3回の広場(教室)にお誘いし、集団での遊びでのやり取りや専門職への個別相談を通して、その児の特性やペースに応じて発達発育を促していく。												
N 評 価 指 標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
	活動指標	フォローの場の提供をする	教室開催回数	回	開催予定に対して実施した割合				100				
成果指標	成果・効果は何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
	お誘いした人に対する参加者の割合	参加率	%	参加者÷教室に誘った人数				80					

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
実 施 状 況	事業費等(a)	円	931,803	1,156,535	953,281	1,036,893	1,435,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	2,200	2,400	1,000	1,050	3,000
	一般財源	円	929,603	1,154,135	952,281	1,035,843	1,432,000
	職員数						
	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30		
対象(者)数							
延利用(者)数(b)							
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	-
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	17.00	21.00	17.00	19.00	26.00	
D O 活 動 指 標	教室開催回数	目標	31	31	32	32	32
		実績	31	31	31	31	31
		達成率	100.00	100.00	96.88	96.88	96.88
	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		達成率	-	-	-	-	-
	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		達成率	-	-	-	-	-
	成果指標	参加率	目標	80	80	80	80
実績			64	73	71	67	75
達成率		80.50	91.25	88.63	83.75	93.75	
目標		-	-	-	-	-	
-	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	一般経費(親子広場事業)	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020134
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	はじめて参加した親子には特に丁寧に声掛けをすることで次回の参加につなげる。	スタッフが名前が覚えられるように写真付き名簿の作成。	継続参加できるように欠席者には連絡を入れ状況を確認していく。今後も参加者の成長・発達を確認していく。
第2期	教室に誘われてからの不参加者の確認を確実にし、継続参加できるように支援していく。	毎回のカンファレンスで個別的に方向性の検討ができた。	今後も毎回カンファレンスで各参加者の関わりの方向性を明確にしていく。
第3期	教室に誘われてからの不参加者の確認を確実にし、継続参加できるように支援していく。	毎回のカンファレンスで個別的に方向性の検討ができた。	今後も毎回カンファレンスで各参加者の関わりの方向性を明確にしていく。
第4期	親子広場参加者について保育園訪問を行い、情報共有を行う。	保育園訪問を行い情報共有を行った。	訪問の時期が遅かった。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 他こども支援部署と連携をし、支援を強化していく。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定							
チェック					4					レ					3						4	B
課題	参加が途絶えていたり、誘っても1度も参加がない親子について定期的に状況確認が必要である。参加しやすい雰囲気づくり、継続して参加したくなる内容を検討する。その子とその親にあった対応をしていく。															記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要						
前年度総合評価判定																B						
前年度評価シート整理番号																						

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	年度末の振り返りを活かして目的が達成できるようにする。	年度末の振り返りを活かして目的が達成できるようにする。					年度末の振り返りを活かして目的が達成できるようにする。			
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	参加している親子にできるだけ多く声掛けをする。必要なフォローにつなげる。参加しない親子・中断者について確認する。保育園訪問の時期を秋までにする。	参加している親子にできるだけ多く声掛けをする。必要なフォローにつなげる。参加しない親子・中断者について確認する。保育園訪問の計画を早めに立て準備をする。					参加している親子にできるだけ多く声掛けをする。必要なフォローにつなげる。参加しない親子・中断者について確認する。保育園訪問の計画を早めに立て準備をする。			
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性					今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性				
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	養育医療給付事業	事業期間	平成 28 ~ 29 年度	整理番号	03020127
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 04 母子保健システムの確立			
			事務事業 01 母子保健事業			
	予算事業名	養育医療給付事業		会計コード 001 款 04 項 01 目 04 事業 02		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	母子保健法第20条に基づき、身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児が、指定医療機関において入院治療を受ける場合に、その治療に要する医療費を養育医療として公費により負担します。				
	現状と背景 （どうして）	未熟児は、正常な新生児と比べて生理的に欠陥があり、疾病にも罹患しやすく、その死亡率はきわめて高率であるばかりでなく、心身の障害を残すことも多いことから、生後速やかに適切な処置を講ずることが必要である。このため、医療を必要とする未熟児に対しては、養育に必要な医療の給付を行う。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	養育に必要な医療の給付を行う			
	手段・方法 （どうやって）	保護者からの申請に基づき給付決定を行い、治療に要する医療費を公費により負担する。 制度の内容を「広報ちの」にて申請窓口や、申請方法を周知する。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		制度の概要や申請の方法について市民に周知する	広報ちの掲載回数	回	半年に1回掲載する	2
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	702,737	1,074,823	3,088,268	2,402,693	2,213,000		
財源内訳								
国庫支出金	円	264,456	1,674,000	558,000	938,773	924,000		
県支出金	円	132,228	238,033	613,466	469,386	462,000		
地方債	円							
その他特定財源	円	172,323	122,064	572,010	521,690	357,000		
一般財源	円	133,730	-959,274	1,324,792	472,844	470,000		
職員数	人							
正規職員	人	0.05	0.05	0.10	0.10			
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.05	0.05	0.10	0.10			
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	13.00	19.00	55.00	43.00	40.00		
D O （ ）	活動指標	広報ちの掲載回数	目標 2	実績 1	達成率 50.00%	目標 2	実績 1	達成率 50.00%
			目標 2	実績 1	達成率 50.00%	目標 2	実績 1	達成率 50.00%
	成果指標		目標 -	実績 -	達成率 -	目標 -	実績 -	達成率 -
			目標 -	実績 -	達成率 -	目標 -	実績 -	達成率 -
備考								

事務事業名	養育医療給付事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020127
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。	スムーズに決定業務ができた。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。
第2期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。	スムーズに決定業務ができた。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。
第3期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。	スムーズに決定業務ができた。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。
第4期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。	スムーズに決定業務ができた。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 医療機関などとの連携は密にし、対象者を支援していく。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ	3				レ	3				レ	3	B

課 題	制度や申請方法、申請窓口などの周知はこれからも必要であり、行っていく。申請時期は、未熟児を抱え大変な時期と重なるため、できるだけ申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務ができるようにしていく。	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		申請窓口を他部署から案内されてきたという申請者もあり、庁内の周知はされつつあると思われる。今後も、広報等も通じて必要な方にご案内をする。					申請窓口を他部署から案内されてきたという申請者もあり、庁内の周知はされつつあると思われる。今後も、広報等も通じて必要な方にご案内をする。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持		レ	
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小			
		休 廃 止	①				休 廃 止			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改 革 ・ 改 善 策	・ 広報で申請窓口のお知らせ ・ 決定業務をできるだけ早く行い、申請者の負担を少なくする。					・ 広報で申請窓口のお知らせ ・ 決定業務をできるだけ早く行い、申請者の負担を少なくする。				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		妊婦・乳幼児訪問事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03050107								
担当部署		健康福祉部			作成担当者名	佐々木 佐代子			連絡先	82-0073								
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり													
			施策	05	第5節 健康づくりの推進													
			細施策	04	母子保健システムの確立													
			事務事業	02	妊婦・乳幼児訪問事業													
	予算事業名								会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ハイリスク妊婦、個別支援が必要な家庭への訪問、新生児等の全戸家庭訪問																
	現状と背景 （どうして）	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、育児不安やストレスなど、親と子の健康は社会的に大きな問題となっている。子供が健やかに成長していくためには、親子がともに満足と幸福感に満たされているような心の健康が必要で、子供に愛情を注いで育児ができるような支援体制の確立が望まれている。																
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	妊産婦・乳幼児とその家族																
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	若年・高年妊婦、医療的に保健指導が必要な妊婦、及び全ての産婦と乳幼児																
	意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	乳幼児健診だけでなく、乳幼児の心理相談等や妊産婦に対する指導を行う。また、地域で子育てを支援する様々な活動についての事業周知に力を入れるとともに、利用者のニーズに沿った実施方法を継続して検討実施し、育児不安やストレスを解消させ以後の継続的な相談支援につなげる。																
	手段・方法 （ ど う や っ て ）	妊婦、乳幼児健診等において上記の妊産婦等を把握し、保健福祉サービスセンターの保健師が家庭を訪問し母子の心身の様子及び養育環境を把握し、育児に関する不安や悩みの相談に応じ、子育て支援に関する情報提供や指導を行う。その中で、支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整を行う。																
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値									
		妊産婦・乳幼児訪問指導件数	訪問指導件数	件	訪問実施件数の合計													
	成果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値									
		訪問指導実施率	実施率	%	訪問指導件数÷訪問指導対象件数				100									

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
			事業費等(a)	円				
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
職 員 数	正規職員	人	0.60	0.60	1.00	1.00		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人	0.40	0.40				
	合計	人	1.00	1.00	1.00	1.00		
活 動 指 標	対象（者）数							
	延利用（者）数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
	訪問指導件数	目標	件					
		実績	件	149	169	199	233	
-	達成率	%	-	-	-	-	-	
	目標	-						
-	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-	-	
成 果 指 標	実施率	目標	%	100	100	100	100	
		実績	%	100	100	100	100	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	目標	-					
実績		-						
達成率	%	-	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	妊婦・乳幼児訪問事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03050107
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	佐々木 佐代子	連絡先	82-0073

期	目 標	実 績	課 題
第1期	対象者宅への訪問	訪問実施件数	訪問の継続
第2期	対象者宅への訪問	訪問実施件数	訪問の継続
第3期	対象者宅への訪問	訪問実施件数	訪問の継続
第4期	対象者宅への訪問	訪問実施件数	訪問の継続

事 中 評 価					
今 成 果 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	現 状 維 持	③	⑥	⑨
		縮 小	④	⑧	⑩
		休 廃 止	①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題 (C H E C K)	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定									
	評価の観点					1					2					3						4								
	チェック					判定					判定					判定														
						4					4					4														
	<p>事業を効果的に進めるためには、対象者に事業の趣旨と内容及び訪問を受けることのメリット等が理解されることが必要である。母子健康手帳交付時や出生届受理時等の機会を活用し事業の周知を図るとともに、事前に訪問日程の調整をする等、対象家庭や地域の実情に応じて訪問を受けやすい環境を作る必要がある。</p>																				記 号 の 定 義	<p>A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>					前年度総合評価判定		前年度評価シート整理番号	03050107

総 合 評 価 (C H E C K)	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後																			
		核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。										核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。																		
	前年度改革・改善策の実施状況										実施済										前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後										
	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦															
		現 状 維 持		③	⑥	⑨															
		縮 小		④	⑧	⑩															
休 廃 止		①																			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									
	対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。										対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。										

最終評価年月日	平成29年5月12日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		妊婦・乳幼児訪問事業			事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03060111									
担当部署		健康福祉部		中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	笠原 いくみ		連絡先	82-0107								
計	市民プランにおける位置づけ	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり													
			施策	05	第5節 健康づくりの推進													
			細施策	04	母子保健システムの確立													
			事務事業	02	妊婦・乳幼児訪問事業													
画	予算事業名								会計コード	001	款	04	項	01	目	02	事業	05
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	ハイリスク妊婦、個別支援が必要な家庭への訪問、新生児等の全戸家庭訪問																
	現状と背景 (どうして)	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、育児不安やストレスなど、親と子の健康は社会的に大きな問題となっている。子供が健やかに成長していくためには、親子がともに満足と幸福感に満たされているような心の健康が必要で、子供に愛情を注いで育児ができるような支援体制の確立が望まれている。																
	目的	受益者 (誰のために)	妊産婦・乳幼児とその家族								対象 (直接働きかける)	若年・高年妊婦、医療的に保健指導が必要な妊婦、及び全ての産婦と乳幼児						
L	的	意図 (どんな状態にしたいか)	乳幼児健診だけでなく、乳幼児の心理相談等や妊産婦に対する指導を行う。また、地域で子育てを支援する様々な活動についての事業周知に力を入れるとともに、利用者のニーズに沿った実施方法を継続して検討実施し、育児不安やストレスを解消させ以後の継続的な相談支援につなげる。															
	手段・方法 (どうやって)	妊婦、乳幼児健診等において上記の妊産婦等を把握し、保健福祉サービスセンターの保健師が家庭を訪問し母子の心身の様子及び養育環境を把握し、育児に関する不安や悩みの相談に応じ、子育て支援に関する情報提供や指導を行う。その中で、支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整を行う。																
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値									
		妊産婦・乳幼児訪問指導件数	訪問指導件数	件	訪問実施件数の合計													
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値									
		訪問指導実施率	実施率	%	訪問指導件数÷訪問指導対象件数				100									

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)	
実 施 状 況	事業費等(a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
	職員数							
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人							
D O	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
	活動指標	訪問指導件数	目標	件				
			実績	件	164	182	136	131
		達成率	%	-	-	-	-	
		-	目標	-				
	実績		-					
達成率	%	-	-	-	-			
成果指標	実施率	目標	%	100	100	100	100	
		実績	%	100	100	100	100	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
	-	目標	-					
実績		-						
達成率	%	-	-	-	-			
備考								

事務事業名	妊婦・乳幼児訪問事業	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03060111	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	笠原 いくみ	連絡先	82-0107

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
		縮 小	④	⑧	⑩
		休 廃 止	①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	A
	チェック					4					4					4	
課 題	事業を効果的に進めるためには、対象者に事業の趣旨と内容及び訪問を受けることのメリット等が理解されることが必要である。母子健康手帳交付時や出生届受理時等の機会を活用し事業の周知を図るとともに、事前に訪問日程の調整をする等、対象家庭や地域の実情に応じて訪問を受けやすい環境を作る必要がある。														記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要	
					前年度総合評価判定					A					前年度評価シート整理番号	03060111	

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後	
	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	現 状 維 持	③	⑥	⑨
縮 小	④	⑧	⑩	
休 廃 止	①			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改 革 ・ 改 善 策	対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。		対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。	

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	妊婦・乳幼児訪問事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03040107								
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	朝倉 絵 梨 子			連絡先	82-0026								
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり												
			施策	05	第5節 健康づくりの推進												
			細施策	04	母子保健システムの確立												
			事務事業	02	妊婦・乳幼児訪問事業												
	予算事業名							会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ハイリスク妊婦、個別支援が必要な家庭への訪問、新生児等の全戸家庭訪問															
	現状と背景 （どうして）	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、育児不安やストレスなど、親と子の健康は社会的に大きな問題となっている。子供が健やかに成長していくためには、親子がともに満足と幸福感に満たされているような心の健康が必要で、子供に愛情を注いで育児ができるような支援体制の確立が望まれている。															
目的	対象 （誰のために）	妊産婦・乳幼児とその家族															
	対象 （直接働きかける）	若年・高年妊婦、医療的に保健指導が必要な妊婦、及び全ての産婦と乳幼児															
	意図 （どんな状態にしたいか）	乳幼児健診だけでなく、乳幼児の心理相談等や妊産婦に対する指導を行う。また、地域で子育てを支援する様々な活動についての事業周知に力を入れるとともに、利用者のニーズに沿った実施方法を継続して検討実施し、育児不安やストレスを解消させ以後の継続的な相談支援につなげる。															
	手段・方法 （どうやって）	妊婦、乳幼児健診等において上記の妊産婦等を把握し、保健福祉サービスセンターの保健師が家庭を訪問し母子の心身の様子及び養育環境を把握し、育児に関する不安や悩みの相談に応じ、子育て支援に関する情報提供や指導を行う。その中で、支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整を行う。															
（ N ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値									
		妊産婦・乳幼児訪問指導件数	訪問指導件数	件	訪問実施件数の合計												
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値									
		訪問指導実施率	実施率	%	訪問指導件数÷訪問指導対象件数			100									

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況	事業費等 (a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
職員数	正規職員	人	0.60	0.60	0.60	0.60		
	嘱託職員	人						
臨時職員	臨時職員	人	0.40	0.40	0.40			
	合計	人	1.00	1.00	1.00	0.60		
（ D ）	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	—	—	—	—	—	
	活動指標	訪問指導件数	目標 実績	159	169	150	134	
			達成率 %	—	—	—	—	—
成果指標	実施率	目標 実績	100	100	100	100	100	
		達成率 %	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
備考		目標 実績						
		達成率 %	—	—	—	—	—	

事務事業名	妊婦・乳幼児訪問事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03040107
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	朝倉絵梨子	連絡先	82-0026

期	目 標	実 績	課 題
第1期	対象者宅への訪問	訪問実施件数 31件	訪問の継続
第2期	対象者宅への訪問	訪問実施件数 35件	訪問の継続
第3期	対象者宅への訪問	訪問実施件数 32件	訪問の継続
第4期	対象者宅への訪問	訪問実施件数 36件	訪問の継続

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 の 果 の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4					4	
課題	<p>事業を効果的に進めるためには、対象者に事業の趣旨と内容及び訪問を受けることのメリット等が理解されることが必要である。母子健康手帳交付時や出生届受理時等の機会を活用し事業の周知を図るとともに、事前に訪問日程の調整をする等、対象家庭や地域の実情に応じて訪問を受けやすい環境を作る必要がある。</p>															記号の定義					
																A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要					
																前年度総合評価判定					
																前年度評価シート整理番号					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。						核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。						対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。			
今後の方向性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成29年5月12日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依田利文
---------	------------	---------	-----------------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		妊婦・乳幼児訪問事業			事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03070111								
担当部署		健康福祉部		北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村 紀子		連絡先	77-3000							
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり												
			施策	05	第5節 健康づくりの推進												
			細施策	04	母子保健システムの確立												
			事務事業	02	妊婦・乳幼児訪問事業												
	予算事業名							会計コード	001	款	04	項	01	目	02	事業	05
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ハイリスク妊婦、個別支援が必要な家庭への訪問、新生児等の全戸家庭訪問															
	現状と背景 （どうして）	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、育児不安やストレスなど、親と子の健康は社会的に大きな問題となっている。子供が健やかに成長していくためには、親子がともに満足と幸福感に満たされているような心の健康が必要で、子供に愛情を注いで育児ができるような支援体制の確立が望まれている。															
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	妊産婦・乳幼児とその家族															
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	若年・高年妊婦、医療的に保健指導が必要な妊婦、及び全ての産婦と乳幼児															
	意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	乳幼児健診だけでなく、乳幼児の心理相談等や妊産婦に対する指導を行う。また、地域で子育てを支援する様々な活動についての事業周知に力を入れるとともに、利用者のニーズに沿った実施方法を継続して検討実施し、育児不安やストレスを解消させ以後の継続的な相談支援につなげる。															
	手段・方法 （ ど う や っ て ）	妊婦、乳幼児健診等において上記の妊産婦等を把握し、保健福祉サービスセンターの保健師が家庭を訪問し母子の心身の様子及び養育環境を把握し、育児に関する不安や悩みの相談に応じ、子育てに関する情報提供や指導を行う。その中で、支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整を行う。															
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値								
		妊産婦・乳幼児訪問指導件数	訪問指導件数	件	訪問実施件数の合計												
	成果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値								
		訪問指導実施率	実施率	%	訪問指導件数÷訪問指導対象件数				100								

実 施 状 況 （ D O ）	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
	財 源 内 訳	事業費等 (a)	円					
国庫支出金		円						
県支出金		円						
地方債		円						
その他特定財源		円						
一般財源		円						
職員数		人						
正規職員		人						
嘱託職員		人						
臨時職員		人						
活 動 指 標	対象（者）数	件						
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
	訪 問 指 導 件 数	目標	件					
		実績	件	37	37	31	30	
		達成率	%	-	-	-	-	-
		目標	件					
	実 施 率	目標	%					
実績		%	100	100	100	100	100	
達成率		%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
目標		%						
備 考	目標	件						
	実績	件						
	達成率	%	-	-	-	-	-	
	目標	件						

事務事業名	妊婦・乳幼児訪問事業	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03070111	
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村 紀子	連絡先	77-3000

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
第4期				

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					4						4
課 題	<p>事業を効果的に進めるためには、対象者に事業の趣旨と内容及び訪問を受けることのメリット等が理解されることが必要である。母子健康手帳交付時や出生届受理時等の機会を活用し事業の周知を図るとともに、事前に訪問日程の調整をする等、対象家庭や地域の実情に応じて訪問を受けやすい環境を作る必要がある。</p>												記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要			
													前年度総合評価判定	A			
													前年度評価シート整理番号	03060111			

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	<p>核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。</p>	<p>核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。</p>
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後	
	方 向 性	成 果 的 拡 充	② ⑤ ⑦	
		現 状 維 持	③ ⑥ ⑨	⑥
		縮 小	④ ⑧ ⑩	
方 向 性	休 廃 止	①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改 革 ・ 改 善 策	対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。		対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。	

最終評価年月日 平成29年5月19日 最終評価責任者 北部保健福祉サービスセンター長 保科 実早子

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	特定健康診査事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03020119
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	01	生活習慣病予防事業
	予算事業名	特定健康診査事業			会計コード	002
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	平成20年度から「高齢者の医療の確保に関する法律」にのっとり、各医療保険者が40～74歳の加入者を対象として「特定健診」を実施することになりました。茅野市では国民健康保険者を対象に年1回、茅野・原地区医師会の医療機関による特定健診を実施しています。特定健診を行うことで、疾病の早期発見・早期治療により生活習慣病を重症化させないようにする。					
現状と背景 （どうして）	疾病全体における生活習慣病の割合が増加し、死因の原因では生活習慣病が6割を占め、それに伴う医療費も生活習慣病が医療費の3分の1を占め、医療費の増加が問題となっています。特に、生活習慣病の危険因子が高いメタボリックシンドロームの割合は、予備軍も含め男性の2人に1人、女性の5人に1人となっており、大きな課題といえます。					
目的	受益者 （誰のために）	国民健康保険加入者のうち、40歳から74歳の方				
	対象 （直接働きかける）	国民健康保険加入者のうち、40歳から74歳の方				
的 意 図 （どんな状態にしたいか）	特定健診を受ける人が増加する。 健診を受けることで、メタボリックシンドローム該当率が減少する。					
手段・方法 （どうやって）	特定健診・・・対象者全員に個別通知をし、茅野原地区の委託医療機関による個別健診を5月～12月まで実施し、誕生日を目安にご案内しています。また、同等の健診をお受けいただいている方からは、健診結果の写しを提出いただき、結果入力することで受診率の向上に努めています。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		特定健診受診者数の増加	健診受診率	%	受診者数÷対象者数	60
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		メタボリックシンドロームに該当しない人の増加	メタボに該当しない率	%	メタボ該当しない率	90

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	36,760,583	36,405,382	36,648,128	40,432,237	53,494,000	
財源内訳							
国庫支出金	円	8,941,795	8,394,000	8,951,000	10,039,000	8,508,000	
県支出金	円	8,468,777	8,173,000	12,466,000	12,590,000	8,508,000	
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	19,350,011	19,838,382	15,231,128	17,803,237	36,478,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.90	0.90	0.90	0.90		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.90	0.90	0.90	0.90		
対象（者）数		10,747	11,104	10,649	10,442		
延利用（者）数 (b)		4,308	4,828	4,246			
単位コスト (a)/(b)	円	8,533	7,540	8,631	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	655.00	650.00	657.00	728.00	966.00	
活動指標	健診受診率	目標	%	65	60	60	60
		実績	%	45	45	46	未確定
	達成率	%	69.23	75.00	77.33	#VALUE!	76.67
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-	-	
成果指標	メタボに該当しない率	目標	%	90	90	90	90
		実績	%	85	85	84	未確定
	達成率	%	94.44	94.44	93.11	#VALUE!	94.44
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考	健診自己負担額無料化による事業費増加						

事務事業名	特定健康診査事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03020119	
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	心電図検査の追加実施が可能になったことを受診者に伝えることと、追加実施についての準備をする。	受診者通知の封筒の表面に心電図検査について印刷をした。送付スケジュールを早めた。	昨年度よりも早く受診する人は増えたが、目標値までは達していない。
第2期	受診者を増やすための周知をする。	ピーナチャンネルで今年度から心電図検査ができることを周知した。	昨年度よりも早く受診する人は増えたが、目標値までは達していない。
第3期	受診者を増やすための周知をする。	回覧やホームページでの周知をした。11月初めまでの受診を延長した。	昨年度よりも2か月短縮のため、人数が減となった。
第4期	集団健診の受診者を定員一杯にする。	電話等での受診勧奨をして定員を一杯にした。	電話勧奨の時期が遅かったため、29年度は早めに取り組む。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	個別健診を短縮したため、受診者の確保が大変だった。10月までであることをもっと周知する必要がある。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	健康を受けることがまず一番大切になっているため、受診率向上のための工夫について考えていくことが必要。						健康を受けることがまず一番大切になっているため、受診率向上のための工夫について考えていくことが必要。			
前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	7月に集団健診を実施し、集団健診の定員を増やす。						7月に集団健診を実施し、集団健診の定員を増やす。				
成果の方向性	拓 充		②	⑤	レ	⑦	拓 充			レ	
	現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持				
	縮 小		④	⑧		⑩	縮 小				
	休 廃 止	①					休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	特定保健指導事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03020120
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	01	生活習慣病予防事業
	予算事業名	特定保健指導事業			会計コード	002 款 08 項 01 目 01 事業 02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	平成20年度から始まった特定健診の受診者で、健診結果がメタボリックシンドローム該当者には「特定保健指導を実施し、運動や栄養等の生活改善に取り組み生活習慣病の有病者や予備軍を減少・改善する事業です。				
	現状と背景 （どうして）	疾病全体における生活習慣病の割合が増加し、死因では生活習慣病が6割を占め、それに伴い生活習慣病が医療費の3分の1を占め医療費の増加が懸念されています。特に生活習慣病の危険因子が高いメタボリックシンドロームの割合は、予備軍も含め男性の2人に1人、女性の5人に1人となり大きな課題となっています。				
	目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	国民健康保険加入者のうち、40歳から75歳未満の方			
		対象 （ 直 接 動 き か け る ）	国民健康保険加入者のうち、40歳から75歳未満の方で、健診を受診し一定以上のリスクがある方			
	意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	生活習慣病やメタボリックシンドローム該当者率の減少。				
	手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドロームの方や治療が必要な方等に保健師・管理栄養士による保健指導を実施し、6か月後に評価を行う。				
N （ ）	活動 指 標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		特定保健指導実施者数の増加	特定保健指導実施率 （終了者率）	%	特定保健指導実施者数÷保健指導が必要な対象者数	45
	成 果 指 標	成 果 ・ 効 果 は 何 ？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		メタボリックシンドロームに該当しない人	メタボに該当しない率	%	メタボに該当しない率	90

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	1,896,979	1,454,184	1,520,105
財 源 内 訳	国庫支出金	円	645,205	245,000	252,000		858,000
	県支出金	円	611,073	245,000	221,000		858,000
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職 員 数	一般財源	円	640,701	964,184	1,047,105	1,488,612	325,000
	正規職員	人	1.91	1.91	1.91	1.91	
	嘱託職員 臨時職員	人					
合	計	人	1.91	1.91	1.91	1.91	
	対象（者）数						
延 利 用 （ 者 ） 数 （ b ）							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受 益 者 負 担 額		円					
	市民一人当たりのコスト	円	34.00	26.00	27.00	27.00	37.00
活 動 指 標	特定保健指導実施率 （終了者率）	目標	45	45	45	45	45
		実績	50	49	50	未確定	50
	達成率	111.11	108.89	111.11	#VALUE!	111.11	
	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
成 果 指 標	メタボに該当しない率	目標	90	90	90	90	90
		実績	85	85	84	未確定	85
	達成率	94.44	94.44	93.11	#VALUE!	94.44	
	目標	-	-	-	-	-	
実績	-	-	-	-	-		
達成率	-	-	-	-	-		
備 考	特定財源は振り分けられないので、特定健診事業へ合算。						

事務事業名	特定保健指導事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03020120
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小穴 範子	連絡先
						326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	保健指導の学習会を実施する。	保健指導の学習会を4月に実施した。	引き続き学習していくことが必要。
第2期	保健指導の学習会を実施する。	保健指導の学習会を8月に実施した。	引き続き学習していくことが必要。
第3期	保健指導の学習会を実施する。	保健指導の学習会を11月に実施した。	引き続き学習していくことが必要。
第4期	保健指導の学習会を実施する。	地区担当別で担当者がそれぞれ考えて学習会を実施した。	引き続き学習していくことが必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					レ 3					4	B
課題	保健指導については、常に学習して行く中で、より質の高いものにしていく必要がある。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	保健指導を受けっぱなしだと、目標が達せない。保健指導をきちんと行っていくことで、重症化を予防していく。	保健指導を受けっぱなしだと、目標が達せない。保健指導をきちんと行っていくことで、重症化を予防していく。					保健指導を受けっぱなしだと、目標が達せない。保健指導をきちんと行っていくことで、重症化を予防していく。			
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ ⑦	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持				
方向性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
方向性	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	保健指導の学習会で学んだことを実践していかれるよう、業務分担を見直す。					保健指導の学習会で学んだことを実践していかれるよう、業務分担を見直す。				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

後期高齢者医療特別会計【茅野市】

事務事業名	高齢者健康診査事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03020138
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子
				連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	01	生活習慣病予防事業
	予算事業名	健康診査事業			会計コード	004 款 01 項 01 目 01 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	健康診査の対象者は、実施主体となる市町村に住所を有する長野県後期高齢者医療保険に加入している人で、実施要綱の第2条2項に規定した施設入所者等を除いた人に対して、長野県後期高齢者医療広域連合の補助を受けて、年に1回健康診査を実施しています。実施は茅野・原地区医師会の医療機関に委託し5月から12月まで実施しています。健診を実施することで、疾病を早期発見・早期治療し生活習慣病を重症化させないようにし、健康に関心を持ち、生活習慣を見直す機会にしたいとすることを目的に実施しています。				
	現状と背景 （どうして）	生活習慣病は、現在、国民医療費（一般診療医療費）の3割、死亡者数の約6割を占めています。また、介護認定の要支援者および要介護者における介護が必要となった主な原因についても、脳血管疾患をはじめとした生活習慣病が3割を占めており、生活習慣病の予防は、課題となっています。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	実施主体となる市町村に住所を有する長野県後期高齢者医療保険に加入している人で、実施要綱の第2条2項に規定した施設入所者等を除いた人			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図 （どんな状態にしたいか）	健康診査を受ける人が増加する。 介護保険の生活習慣病による、介護保険の認定開始年齢が、今より遅くなる。			
	手段・方法 （どうやって）	茅野市の各種検診のご案内を各家庭に配布し、健診の申し込みを受け付けます。申し込みいただいた人に、個別通知を発送し、茅野・原地区医師会の委託医療機関による個別健診を5月～12月まで実施します。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		後期高齢者健診 必要な人に占める受診割合の増加	受診率	%	受診者数÷対象者（除外対象を除いた後期高齢者人数）	60
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		生活習慣病の未治療者	受診勧奨値未受診者の割合	%	3疾患で受診勧奨値で受診していない人÷受診者数	5

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	3,028,180	3,193,022	2,972,742
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	2,971,336	3,121,053	2,895,200	3,172,200	5,091,000
職 員 数	一般財源	円	56,844	71,969	77,542	38,405	
	正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
対 象 （ ）	対象（者）数		2,835	3,112	2,171	2,451	
	延利用（者）数 (b)		436	404	376	412	
	単位コスト (a)/(b)	円	6,945	7,904	7,906	7,793	-
	受益者負担額	円					
活 動 指 標	受診率	目標	60	60	60	60	60
		実績	5	13	17	17	17
	達成率	%	8.33	21.50	28.83	28.00	28.33
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-	
成 果 指 標	受診勧奨値未受診者の割合	目標	5	5	5	5	5
		実績	2	2	2	9	10
	達成率	%	32.00	38.00	40.00	180.00	200.00
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	高齢者健康診査事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03020138	
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	申し込んだ人へ通知を発送する。	申し込み者へ通知を発送した。	対象者が違っていないか、ダブリが無い確認が必要。
第2期	対象者に間違いなく発送する。	対象者に発送した。	受診の申込みがわかりにくいのご意見があった。
第3期	27年度医師会の先生から検査項目を増やして欲しいとの要望があったので、検討する。	29年度予算で検査の追加を要求した。	費用が増える。
第4期	28年度医師会の先生から検査項目を増やして欲しいとの要望があったので、検討する。	29年度予算で検査の追加が確保できた。	申し込みについての周知を検討する必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診率が少ない。 ・結果が治療レベルでありながら、治療を受けていない人がいる。 	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	B
	前年度評価シート整理番号	

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
<ul style="list-style-type: none"> ・広報により、健診のPRをした。 ・後期高齢者の保険者証と一緒に、健診の案内を同封した。 ・特定健診と同様に保健指導を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報により、健診のPRをした。 ・後期高齢者の保険者証と一緒に、健診の案内を同封した。 ・特定健診と同様に保健指導を行った。
前年度改革・改善策の実施状況	—
前年度細施策評価における今後の方向性	

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性
拓 充	②	レ
現 状 維 持	③	
縮 小	④	
休 廃 止	①	
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改 革 ・ 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> ・健診のPRを広報等に掲載する。 ・保険者証発行時に、健診の案内を同封しPRする。申し込み用紙を同封する。 ・結果が悪かった人については、受診勧奨をし治療につなげていく。 ・KDBシステムで健康状態を把握。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診のPRを広報等に掲載する。 ・保険者証発行時に、健診の案内を同封しPRする。申し込み用紙を同封する。 ・結果が悪かった人については、受診勧奨をし治療につなげていく。 ・KDBシステムで健康状態を把握。

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	各種予防接種事業費（各種予防接種事業）			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020112
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美			連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	02	感染症予防対策事業								
	予算事業名	各種予防接種事業費			会計コード	001	款	04	項	01	目	02	事業	01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	感染症予防対策の充実。対象年齢内の予防接種の実施。 定期予防接種：BCG、不活化ポリオ、四種混合、三種混合、二種混合、麻しん風しん（混合）、日本脳炎、水痘、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、インフルエンザ（65歳以上）、定期高齢者肺炎球菌												
	現状と背景 （どうして）	感染症の特徴、感染しやすい時期等に基づいた予防接種です。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	各種予防接種対象者											
		対象 （直接働きかける）	同上											
	意図	ワクチン接種によって感染症に対する免疫をつけ、発病を防ぐと共に社会への感染症の蔓延を防止する。												
	手段・方法 （どうやって）	感染症の特徴・感染しやすい時期に各種予防接種を行う。周知方法は、広報ちの・ホームページ・個別通知による。接種方法は、集団接種・個別接種による。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		各種予防接種者の増	集団予防接種延人数（二種混合・四種混合・B	人	予防接種者数					6,000				
		各種予防接種者の増	個別予防接種延人数（麻しん風しん第1期・第2	人	予防接種者数					7,000				
	各種予防接種者の増	個別予防接種延人数（インフルエンザ、定期高	人	予防接種者数					9,500					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		感染症予防対策の充実	0歳～18歳まで予防接種率	%	予防接種者数÷接種対象者数					100				
感染症予防対策の充実		高齢者インフルエンザ予防接種率	%	予防接種者数÷接種対象者数					60					

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	109,269,089	118,608,290	119,225,539	118,416,950	134,279,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	109,269,089	118,608,290	119,225,539	118,416,950	134,279,000	
	職員数							
	正規職員	人	0.60	0.70	0.70	0.70		
	嘱託職員	人						
臨時職員	人	0.40	0.40	0.40	0.40			
合計	人	1.00	1.10	1.10	1.10			
活動指標	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	1,946.00	2,119.00	2,138.00	2,133.00	2,424.00	
	集団予防接種延人数（二種混合・四種混合・BCG・日本脳炎1期）	目標	人	7,400	6,000	6,000	6,000	
		実績	人	7,094	5,693	4,775	4,802	
		達成率	%	95.86	94.88	79.58	80.03	—
	個別予防接種延人数（麻しん風しん第1期・第2期、日本脳炎2期、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌）	目標	人	7,000	7,000	7,000	7,000	
		実績	人	4,666	6,165	4,943	5,501	
達成率		%	66.66	88.07	70.61	78.59	—	
個別予防接種延人数（インフルエンザ、定期高齢者肺炎球菌）	目標	人	7,700	9,500	9,500	9,500		
	実績	人	7,676	9,035	9,340	10,071		
	達成率	%	99.69	95.11	98.32	106.01	—	
0歳～18歳まで予防接種率	目標	%	100	100	100	100		
	実績	%	81	82	75	79	80	
	達成率	%	81.00	82.00	75.00	79.00	80.00	
高齢者インフルエンザ予防接種率	目標	%	60	60	60	60		
	実績	%	57	58	54	56	57	
	達成率	%	95.00	96.67	90.00	93.33	95.00	
備考	平成26年10月から、水痘（個別接種）、高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種（個別接種）となった。 平成28年10月から、B型肝炎（個別接種）が定期接種となった。							

事務事業名	各種予防接種事業費（各種予防接種事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020112
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美	連絡先	326	

期	目標	実績	課題
第1期	・4月から開始の定期予防接種の通知出しを行う。（日本脳炎1期、2期、MR2期・水痘） ・保護者にわかりやすい案内をする。	日本脳炎（2,000通）、MR（2期：500通）を行った。	・それぞれの予防接種の案内を通知したことで問い合わせ多くくる。
第2期	・問い合わせにスムーズに回答できるようにしていく。 ・10月から新規に実施開始になるB型肝炎予防接種の準備をしていく。	・問い合わせについては統一した対応ができるように係内で確認をした。 ・医師会などと協議をしB型肝炎予防接種開始に向けて準備を進めた。対象者への案内通知を行った。	・問い合わせに対して適正に対応を行うこと。
第3期	・問い合わせにスムーズに回答できるようにしていく。 ・10月から実施開始になる高齢者インフルエンザ実施の準備を行っていく。	高齢者インフルエンザの委託料変更については、医師会、6市町村で話し合いをし、医療機関への周知ができた。接種者への問い合わせにも、丁寧、適切な対応をすることができた。	・高齢者肺炎球菌ワクチンの対象者は高齢者になるため予約をなす人が多かった。 ・MR2期、日本脳炎2期の接種率が低い。
第4期	・MR2期、日本脳炎2期未接種者へ接種勧奨通知する。 ・来年度の予防接種の準備をする。	MR2期、日本脳炎2期、さらに日本脳炎1期未接種者へ接種勧奨通知を出すことができた。通知者からの問い合わせについても、丁寧、適切な対応をすることができた。来年度への準備もできた。	冬は体調を崩しやすいため、体調がよい季節に未接種者への接種勧奨ができるとういのが、日本脳炎ワクチンの年内での不足が言われており、日本脳炎は年明けの勧奨となった。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 ・平成28年10月からB型肝炎予防接種が定期予防接種となる。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） ・本来は2か月から1歳前に3回接種するB型肝炎予防接種だが、平成28年4月から7月生まれの児は2か月から開始できなかったため、1歳過ぎてからの接種を行政措置接種として償還払いをする。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	<p>予防接種の未受診者への受診勧奨は、体調をこわしにくい季節に実施し、受診率を高めていくことが必要。 乳幼児健診の際の予防接種の確認ができているがさらに徹底していく必要がある。 予防接種が多種で複雑なため、保護者に接種方法がわかりにくい。 養護教諭から学校での予防接種実施をやめてほしいという声が出ている。</p>															
記号の定義	<p>A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	住民にしっかり周知し、標準的な接種をしてくれる人が増えてきた。年齢が上がると、接種率が下がってしまうので接種勧奨に努めていきたい。 予防接種がわかりやすい表を作成し、乳幼児健診などで配布した。 B型肝炎もほとんどの人が接種を開始した。						住民にしっかり周知し、標準的な接種をしてくれる人が増えてきた。年齢が上がると、接種率が下がってしまうので接種勧奨に努めていきたい。 予防接種がわかりやすい表を作成し、乳幼児健診などで配布した。 B型肝炎もほとんどの人が接種を開始した。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持			レ
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小			
		休 廃 止	①				休 廃 止			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改 革 ・ 改 善 策	乳幼児健診や育児相談会など、個々と話ができる機会に積極的に接種勧奨し、接種率向上に努める。					乳幼児健診や育児相談会など、個々と話ができる機会に積極的に接種勧奨し、接種率向上に努める。				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤 澄子
---------	------------	---------	-----------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	各種予防接種事業費（高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020129
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり	
				施策	05	第5節 健康づくりの推進	
				細施策	05	疾病予防対策の推進	
				事務事業	02	感染症予防対策事業	
	予算事業名	各種予防接種事業費			会計コード	001	款 04 項 01 目 02 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助成事業。					
	現状と背景 （どうして）	高齢者の肺炎の約半数は、肺炎球菌が原因とされており、特に高齢者での重篤化が問題になっている。					
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	高齢者肺炎球菌の予防接種を希望している方。または、医師が予防接種を必要と認めた方。				
		対象 （直接働きかける）	75歳以上の接種希望者。74歳以下で在宅酸素療法患者・慢性呼吸器疾患患者・人工透析者・重症心不全患者で予防接種の必要があると医師が認めた方。				
	意図	接種希望・必要者全員がワクチン接種できる。また、ワクチン接種によって肺炎に対する免疫をつけ、重症化を予防する。					
	手段・方法 （どうやって）	接種方法は、かかりつけ医での個別接種。周知方法は、広報ちの・ホームページによる。助成は5年に1回。（5年に1回の接種で効果があるため）					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		対象者への周知	広報回数	回	掲載数	1	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		肺炎球菌ワクチン接種希望者・必要者へのワクチン接種	肺炎球菌ワクチン接種者数	人	ワクチン接種希望者・必要者に対しワクチン接種する。	200	

実 施 状 況 （ D O ）	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	1,121,000	928,000	370,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	689,804	135,000			
	一般財源	円	431,196	793,000	370,000	673,000	4,721,000
	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
延 利 用 （ 者 ） 数 (b)	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
受 益 者 負 担 額	臨時職員	人					
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円	20.00	17.00	7.00	12.00	85.00
活 動 指 標	広報回数	目標	1	1	1	1	
		実績	1	1	1	1	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-	
成 果 指 標	肺炎球菌ワクチン接種者数	目標	200	200	300	300	300
		実績	336	306	121	200	204
	達成率	%	168.00	153.00	40.33	66.67	68.00
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-	
備 考	・定期高齢者肺炎球菌がH26.10月から開始されている。						

事務事業名	各種予防接種事業費（高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020129
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美	連絡先	326	

期	目標	実績	課題
第1期	・病院に説明し、定期接種と間違えないようにしていただく。 ・定期予防接種が開始されると問い合わせが多くなるので対応していく。	・問い合わせにその都度対応できた。	・定期接種が開始されたがそれをまらず接種を打ちたい方が増えている。状況みながらお勧めしていく。
第2期	・広報ものに掲載 ・引き続き問い合わせがあれば随時対応していく。	・広報に掲載し、その都度問い合わせに対応できた。	冬になるとインフルエンザの予防接種が始まり、肺炎球菌も一緒に受けたいという問い合わせが増える。
第3期	・インフルエンザ予防接種が始まり、混乱なく実施できる。 ・問い合わせが増える可能性があるため対応していく。	・定期と助成が混乱してしまう医療機関もあったが、多くは混乱なく実施できた。 ・問い合わせには丁寧に対応できた。	・定期と助成の対象者をわかりやすくしていく。
第4期	・5年前に接種した人からの接種希望が出てくる可能性がある。	・実績200人。	・定期接種が始まり助成のみの時代よりも助成の人数が減ってきている。 定期は一生に1回であるが、助成は5年ごとであるので、間違いなく対応できるようにしていく。

事中評価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今後の方向性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	方向性

拡充	②	⑤	⑦
現状維持	③	⑥	⑨
縮小	④	⑧	⑩
休廃止	①		

皆減縮小現状維持拡大
コスト投入の方向性

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					3					4	B
チェック																

課題	任意接種に対する助成事業。希望者・必要者全員に助成することはできている。ワクチン接種や助成事業を知らない方がいてはいけないので、しっかり周知していく必要がある。										記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定										B	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	かかりつけ医にも協力してもらい、希望者・必要者全員に接種・助成ができた。						かかりつけ医にも協力してもらい、希望者・必要者全員に接種・助成ができた。			

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後						
	成果の方向性	拡充		②	⑤	レ	⑦	成果の方向性	拡充			
方向性	現状維持		③	⑥		⑨	方向性	現状維持			レ	
方向性	縮小		④	⑧		⑩	方向性	縮小				
方向性	休廃止	①					方向性	休廃止				

皆減縮小現状維持拡大
コスト投入の方向性

改革・改善策	広報ちの・ホームページ等で周知している。肺炎の重症化予防につながるため、広報への掲載時期を検討し、各種検診のご案内にも載せたり、多くの方が接種できるようにする。	広報ちの・ホームページ等で周知している。肺炎の重症化予防につながるため、広報への掲載時期を検討し、各種検診のご案内にも載せたり、多くの方が接種できるようにする。
--------	--	--

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤 澄子
---------	------------	---------	-----------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	感染症予防対策事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020130
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり	
				施策	05	第5節 健康づくりの推進	
				細施策	05	疾病予防対策の推進	
				事務事業	02	感染症予防対策事業	
	予算事業名	感染症予防対策事業			会計コード	001 款 04 項 01 目 02 事業 02	
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	感染症の発生及び災害発生時の浸水家屋の防疫を行う					
	現状と背景 （どうして）	感染症の発生や災害はいつ起こるか分からないが、発生した場合は感染の拡大を防がなくてはならない。					
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民				
		対象 （直接働きかける）	市民				
		意図	感染症の発生時に感染の拡大を防ぎ、被害を最小に抑える。				
	手段・方法 （どうやって）	感染症の発生または浸水家屋の確認ができれば、噴霧器による消毒液の散布を行う。					
N （ ）	評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
			必要物品の確認	確認	回	必要物品の確認	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	

実 施 状 況 （ D O ）	項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	1,827		
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職 員 数	一般財源	円	1,827				8,000
	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.10	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.10	
対 象 （ ）	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	0.00	-	-	-	0.00
	確認	目標	1	1	1	1	
		実績	1	1	1	1	
		達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	-
活 動 指 標	-	目標					
		実績					
		達成率					
		目標					
成 果 指 標	-	目標					
		実績					
		達成率					
		目標					
	実績						
	達成率						
備考							

事務事業名	感染症予防対策事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020130
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	いつでも出勤できる態勢を取る	なし	なし
第2期	いつでも出勤できる態勢を取る 必要物品の確認	なし	なし
第3期	いつでも出勤できる態勢を取る	なし	なし
第4期	いつでも出勤できる態勢を取る 必要物品の確認	なし	なし

事中評価						
管理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今後の方向性	拡充	②	⑤	⑦
			現状維持	③	⑥	⑨
			縮小	④	⑧	⑩
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		休廃止	①		
				皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性		

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																

課題	感染拡大防止に対する知識の習得。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号
	細施策評価前							細施策評価後								
	感染拡大防止に対する知識の習得。							感染拡大防止に対する知識の習得。								

総合評価	前年度改革・改善策の実施状況															前年度細施策評価における今後の方向性				
	細施策評価前							細施策評価後												
	感染拡大防止に対する知識の習得。							感染拡大防止に対する知識の習得。												

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止
方向性			②	⑤	⑦					
			③	⑥	⑨					
方向性			④	⑧	⑩					
		①								
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性										

改革・改善策	感染症に対する知識の習得を行う。														
	感染症に対する知識の習得を行う。														

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（各種がん検診事業）	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03020113
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	03	各種検診事業
	予算事業名	各種がん検診事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診（集団・病院）：胃バリウム検査 大腸がん検診（集団・病院）：便潜血反応検査 肺がん検診（集団）：ヘリカルCT検査 子宮頸がん検診（病院）：細胞診 乳がん検診マンモグラフィー検査、乳房視触診検査（集団・病院）： 				
	現状と背景 （どうして）	昭和60年より死亡原因の1位は悪性新生物で変わらず推移。早期発見、治療のため、疾病への意識付けを、検診受診に結びつけることが必要。検診受診率低迷している。生活習慣病発症または癌の罹患が若年化（特に婦人）してきているにも関わらず受診率が低い。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	市民			
		意図 （どんな状態にしたいか）	早期発見、早期治療をすすめる。			
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> 各世帯に検診のご案内を配布。広報ちの、回覧板、ホームページ等で周知する。 申し込み者に案内通知を送る。検診期間中は随時検診のPRを行う。 				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		検診申込者数	申し込み者数		申し込み者数÷推計対象者	50
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		検診受診率	受診率		受診者数÷推計対象者	50

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）			
事業費等 (a)	円	29,768,648	29,691,097	32,965,701	33,211,641	41,352,000			
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円								
地方債	円								
その他特定財源	円	1,727,900	1,480,800	1,638,300	1,406,400	2,172,000			
一般財源	円	28,040,748	28,210,297	31,327,401	31,805,241	39,180,000			
職員数	人								
正規職員	人	0.70	0.70	0.70	0.70				
嘱託職員	人								
臨時職員	人								
合計	人	0.70	0.70	0.70	0.70				
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)									
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—			
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円	530.00	530.00	591.00	598.00	746.00			
D O （ ）	活動指標	申し込み者数	目標	—	30	50	50	50	
			実績	—	44	39	45	46	47
			達成率	%	147.33	78.00	90.20	92.00	94.00
	成果指標	受診率	目標	—	30	40	50	50	
			実績	—	33	36	41	50	50
			達成率	%	111.00	90.00	101.50	100.00	100.00
備考	—	目標	—						
		実績	—						
		達成率	%	—	—	—	—		

事務事業名	健康増進事業費（各種がん検診事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020113
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美		連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	5月から始まる検診の準備をする。 対象者に案内通知を送付する。	契約・医療機関への説明、物品準備を行った。 子宮頸がん、大腸がん検診は発送スケジュールに従って申込者に通知した。 5月末から、結果通知の発送も随時行った。	結果の発送も始まるため、できるだけ早く受診者に結果が届くようにしていく。 H27年度の要精密検査者の結果が随時届くため、処理が煩雑になっている。
第2期	対象者に通知を送る。 検診結果を早めに、正確に送付する。 要精密検査者の精密検査票が返ってくるため、随時処理をしていく。	・各検診のスケジュールに合わせて通知の発送を行った。 ・申込みは随時受け付けており、間に合う検診については随時発送を行った。	・申込者が減っている検診もあるため、PR等して周知していく必要がある。 ・胃がん検査の内容について、バリウム以外の検査を希望される方がいる。
第3期	PRをして、健診受診率を少しでも上げる。	乳がん検診の際、子宮頸がん検診を勧め、申し込んでいただくことができた。	今年度の検診が終了する。
第4期	要精密検査者の結果を把握する。	要精密検査者の結果を把握し、結果票が届いていない人には連絡をし、受診勧奨をした。	受診勧奨はしたが、全員に精密検査を受けていただくことができなかった。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 予定人数に達していない検診があり、周知方法については、さらに工夫が必要。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充		⑥	⑨	現状維持	③			縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充			⑥	⑨																	
	現状維持		③																			
	縮小	④	⑧	⑩																		
休廃止	①																					
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 広報だけでなく、回覧板等あらゆる手段を利用し、随時がん検診の周知をしていく必要がある。	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性																
皆減	縮小	現状維持	拡大																			
コスト投入の方向性																						

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					3					4	B
チェック																
課題	<p>・がん検診の種類によって対象年齢が違う。どの検診も年齢が高くなるにほど受診者は多くなっている。がん対策の目的は74歳以下（今後は69歳以下となる予定）のがん死亡率低下である。そのためできるだけ若い年代から検診を受けてもらう必要がある。</p>															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	<p>・受診者数が伸び悩んでいる。多くの方に検診を受けていただけるよう方法等検討していく。</p>	<p>・受診者数が伸び悩んでいる。多くの方に検診を受けていただけるよう方法等検討していく。</p>								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後					
	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦					⑥	
拡充										⑨	
現状維持		③	⑥	⑩							
縮小		④	⑧								
休廃止	①										
		皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性					皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	<p>・色々な場面で検診のPRなどしていき受診者を増やす。 ・胃がん検診の実施方法について、バリウム以外の検査方法についても、市内の状況を情報収集していく。</p>					<p>・色々な場面で検診のPRなどしていき受診者を増やす。 ・胃がん検診の実施方法について、バリウム以外の検査方法についても、市内の状況を情報収集していく。</p>					

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤 澄子
---------	------------	---------	-----------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（健康増進総務事業）	事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	03020135
担当部署	健康福祉部 保健課 健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	03	各種検診事業
	予算事業名	健康増進総務事業			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市で実施している健診・検診受診者や希望者に健康手帳を配布し、健診結果をファイリングしたり、血圧等の自身の変化を記録することにより、生活習慣病予防や健康づくりに役立てていただきます。				
	現状と背景 （どうして）	生活習慣病の増加およびそれに伴う医療費の増加が問題となっています。生活習慣病は、繰り返される生活習慣により発症し、短期で発症するものではありません。生活習慣病を予防するには、健診を受ける事、受けた結果を活用し予防に役立てる事が大切です。健康手帳等に健診結果をつづり、経過を確認していくことで、生活習慣病等の予防につながります。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図 （どんな状態にしたいか）	健診結果を経年的に見ていくことは、健康づくり・疾病の早期発見にとって重要なことです。このような人が増える事で、健康に関心を持つ人が増え、健診受診者や健康に気をつける人が増加すると考えます。			
	手段・方法 （どうやって）	市の健診・がん検診・歯科検診等の各種検診受診者や希望者に、健診受診時や保健福祉サービスセンターおよび健康管理センターで健康手帳を配布し説明します。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健康手帳の配布機会	配布事業数	回	手帳を配布した事業の数	16
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健康手帳の配布された割合	配布割合	%	手帳を配布した人の40歳から74歳人口に占める割合（H23からの累計）	50

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	1,478,554	977,911	785,028	631,827	880,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円	710,000	126,000	89,000	140,000	76,000	
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	768,554	851,911	696,028	491,827	804,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	26.00	17.00	14.00	11.00	16.00	
D （ ）	活動指標	配布事業数	目標	回	16	16	16
			実績	回	16	16	16
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	-	目標	-	-	-	-
実績			-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-		
O （ ）	成果指標	配布割合	目標	%	50	50	50
			実績	%	77	82	86
	達成率	%	153.00	164.00	172.00	180.00	
	186.00						
-	-	目標	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	健康増進事業費（健康増進総務事業）	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	03020135
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	医療機関へ配布してもらえるよう説明する。	医療機関に説明をした。	健康手帳を利用してもらうを増やす。
第2期	がん検診等でも健康手帳を配る。	がん検診で健康手帳を配布した。	健康手帳を利用してもらうを増やす。
第3期	がん検診等でも健康手帳を配る。	がん検診で健康手帳を配布した。	健康手帳を利用してもらうを増やす。
第4期	特定健診集団健診で健康手帳を配る。	特定健診集団健診で健康手帳を配布した。	健康手帳を利用してもらうを増やす。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	最終目標は、自分の健康診断やがん検診の結果を蓄積することで、生活習慣病等の発症予防や重症化予防に役立てることができる。健康手帳の活用に合わせ、結果の見方や生活習慣病の予防のために、何を気をつけたらいいのかわかる。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・健康手帳については、年間を通じて健診実施時に配布できた。						健康手帳については、年間を通じて健診実施時に配布できた。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止			②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性 休 廃 止			
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			③	⑥	⑩	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	最終目標は、自分の健康診断やがん検診の結果を蓄積することで、生活習慣病等の発症予防や重症化予防に役立てることができる。健康手帳の活用に合わせ、結果の見方や生活習慣病の予防のために、何を気をつけたらいいのかわかること。そのために、健診や手帳配布時に活用の仕方をPRしていく。									

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（40歳未満健診事業）	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03020139
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	03	各種検診事業
	予算事業名	40歳未満健診事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	40歳未満健診：40歳未満の若年の方、および生活保護世帯の方に行う健診（血液検査・尿検査・内科診察等）				
	現状と背景 （どうして）	40歳～74歳の方には、特定健診と呼ばれるメタボリックシンドロームに着目された健康診査・保健指導が実施されている。40歳未満の方についても、早期から健康診査を実施し生活習慣病予防につなげる。生活保護世帯の方は、医療保険に加入していないため、特定健診ではなく、市が行う40歳未満健診で受診していただく。				
	目的	受益者 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	①18歳～39歳までの方 ②生活保護世帯の方			
		意図 （どんな状態にしたいか）	検診（健診）受診率の向上を図ることで、疾病予防・早期治療を進める。			
	手段・方法 （どうやって）	・40歳未満健診（血液検査・尿検査・内科診察等）を実施する。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		検診（健診）受診への啓発	広報掲載	回	広報掲載回数	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		40歳未満健診受診者数の増加	40歳未満健診受診数	人	受診者数	450

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	2,384,727	2,063,062	1,778,044	1,490,425	1,931,000
財源内訳						
国庫支出金	円			501,000	617,000	
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	2,384,727	2,063,062	1,277,044	873,425	1,931,000
職員数	人					
正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	42.00	37.00	32.00	27.00	35.00
活動指標	広報掲載	目標	回	1	1	1
		実績	回	1	1	1
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	
—	達成率	—	—	—	—	
成果指標	40歳未満健診受診数	目標	人	450	450	450
		実績	人	371	304	339
	達成率	%	82.44	67.56	75.33	74.22
	—	目標	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	
—	達成率	—	—	—	—	
備考	H25からシート作成。					

事務事業名	健康増進事業費（40歳未満健診事業）	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03020139
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	40歳未満健診の啓発をする。	広報で周知した。インターネットの申込みを延長した。	申込み者が定員に達していない。
第2期	健診の申込み者を増やす。	広報で周知した。インターネットの申込みを延長した。	7月の健診の人数が多く待ち時間が長くなった。
第3期	11月の健診は時間で区切って呼び出した。	混雑がなくスムーズに健診ができた。	時間で区切った案内が必要。
第4期	29年度の計画を立てる。	29年度の計画を立てた。	健診を受けていただく人を増やす。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	乳幼児健診の保護者向けに健診の啓発を行い、新規者および継続受診者を増やしていく。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	引き続き、広報や乳幼児健診等で啓発をしていく。						引き続き、広報や乳幼児健診等で啓発をしていく。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	拡 充			レ
	現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持				
	縮 小		④	⑧		⑩	縮 小				
	休 廃 止	①					休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
改革・改善策	40歳未満健診の申込が始まる春に集中的に申込を受付けていく。受診動要値、メタボリック症候群の人への保健指導を実施していく。					40歳未満健診の申込が始まる春に集中的に申込を受付けていく。受診動要値、メタボリック症候群の人への保健指導を実施していく。					

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤 澄子
---------	------------	---------	-----------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業（結核胸部レントゲン検診事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020140
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先	330	

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	03	各種検診事業								
	予算事業名	結核胸部レントゲン検診事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	03	事業	05
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	65歳以上の人に結核胸部レントゲン検診を行う。（感染症法に基づき実施する検診）												
	現状と背景 （どうして）	感染症法により結核定期検診が義務付けられている。（結核の感染拡大の予防のため）												
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民										
		対象	対象 （直接働きかける）	市民										
	意図 （どんな状態にしたいか）	65歳以上の人に結核胸部レントゲン検診を受けてもらい早期発見、早期治療につなげ感染を広げない。												
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> 対象者全員に個別通知。広報ちの、ホームページ、区内放送等で周知する。 市内各公民館を検診車で周りレントゲン撮影を行う。 要精密検査者は早期に受診していただく。 												
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		活動指標	広報ちのに掲載	掲載数	回					1				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		受診率	受診率	%	受診者÷対象者				35					

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	5,292,956	6,162,347	6,525,124	7,232,293	7,946,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	5,292,956	6,162,347	6,525,124	7,232,293	7,946,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	94.00	110.00	117.00	130.00	143.00	
D （ ）	活動指標	掲載数	目標	実績	達成率		
			回	1	1	100.00	
	—	目標	実績	達成率			
			—	—	—	—	—
O （ ）	成果指標	受診率	目標	実績	達成率		
			%	35	29	82.86	
	—	目標	実績	達成率			
			%	35	20	57.14	
備考	H25からシート作成。H24各種検診事業決算額：43,831,755円						

事務事業名	健康増進事業（結核胸部レントゲン検診事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020140
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先	330	

期	目 標	実 績	課 題
第1期	長野県健康づくり事業団と委託契約を締結。対象者への通知の準備、検診当日のスタッフの手配、各区への協力依頼をする。	5月初旬に、対象者15419人に受診券を発送。5月から6月末まで 受診者数5028人。結果が届き次第結果通知を発送。	行政区により、受診者数にばらつきがある。10人に満たない会場もある。
第2期	・引き続き、検診を実施。 ・結果通知の発送。	検診実施期間終了。今年度受診者は、5,375人であった。	要精密検査となった人がある。
第3期	精密検査依頼書を発送し、精密検査を受けていただく。	精密検査が必要な方106人に依頼書を発送できた。	精密検査が必要な方に検査を受けていただく必要がある。
第4期	要精密検査者に検査を受けていただく。	要精密検査の方の内、80人に精密検査を受けていただけた。	要精密検査となった方全員に検査を受けていただくことができなかった。

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	・対象者全員に案内通知を行い、受診者は40%程度である。 ・検診事務担当者の確保が困難。 ・トイレや熱中症の問題から、来年度も会場となる公民館の鍵を全会場開けてもらうよう依頼していきたい。		現 状 維 持	③	⑥	⑨
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		縮 小	④	⑧	⑩
	・会場使用についての依頼を区長宛に行っていく。		休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定														
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定															
チェック					4					レ	3					4	B													
課題	<p>・肺がんCT検診と年齢が重なる。(65～74歳)胸部レントゲンを受診し肺がんCT検診も受診している方もいる。重ならないようにしていく。また他の市町村では胸部レントゲン検査と肺がん検診を一緒にしているところもあるため今後検討していく。</p> <p>・各公民館の日程で受けられず、最終日付近に受診者が多くなる。</p>																													
CH E C K	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後																			
	<p>・対象者は、65歳以上の高齢者なので公民館単位での検診は継続していく。</p>															<p>・対象者は、65歳以上の高齢者なので公民館単位での検診は継続していく。</p>														
	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性																			

改 革 ・ 改 善 策	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦
	現 状 維 持	③	⑥		⑨
	縮 小	④	⑧		⑩
	休 廃 止	①			
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

改 革 ・ 改 善 策	成 果 的 拡 充				レ
	現 状 維 持				
	縮 小				
	休 廃 止				
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

改革・改善策	・受診者が最終日付近に多くなるので健康管理センターで行う日程を増やす。	・受診者が最終日付近に多くなるので健康管理センターで行う日程を増やす。
--------	-------------------------------------	-------------------------------------

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（BC型肝炎検査事業）	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020141
担当部署	健康福祉部 保健課 健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 03 各種検診事業			
	予算事業名	BC型肝炎検査事業		会計コード 001 款 04 項 01 目 03 事業 06		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	・40歳～85歳の5歳刻みの年齢の方を対象にB型、C型肝炎の早期発見のための検査を行う。				
	現状と背景 （どうして）	現在肝炎ウイルスに感染し、感染に気がつかないままに進行し肝硬変、肝がんに移行する患者がいるため。				
	目的	対象	受益者（誰のために） 市民 対象（直接働きかける） 市民 意図（どんな状態にしたいか） 検査を受け早期発見、治療につなげる。			
	手段・方法 （どうやって）	・B型、C型肝炎ウイルス検査を指定医療機関で実施する。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		対象者に案内通知を出す	受診者への通知率	%	通知数÷受診対象者	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		B型C型肝炎検査受診者が増える	受診率	%	受診者数÷対象者数	25

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
			事業費等(a)	円	4,627,280	4,712,963	4,137,106	3,951,874
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円	3,252,000	3,783,000	3,323,320	2,389,200	3,888,000	
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職 員 数	一般財源	円	1,375,280	929,963	813,786	1,562,674	1,397,000	
	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人				0.30		
	合 計	人	0.30	0.30	0.30	0.60		
	対象（者）数							
	延利用（者）数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	82.00	84.00	74.00	71.00	95.00	
活 動 指 標	受診者への通知率	目標	%	100	100	100	100	100
		実績	%	100	100	100	100	100
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-					
		実績	-					
		達成率	%	-	-	-	-	-
成 果 指 標	受診率	目標	%	20	25	25	25	25
		実績	%	21	21	18	15	15
		達成率	%	103.00	84.00	71.20	60.00	60.00
	-	目標	-					
		実績	-					
		達成率	%	-	-	-	-	-
備考								

事務事業名	健康増進事業費（BC型肝炎検査事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020141
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先	330	

期	目 標	実 績	課 題
第1期	5月から検診がスタートするため、契約・病院説明を行う。 対象者への案内通知の準備と発送を行う。 5月末から結果通知も随時行っていく。	4月中に、契約、病院説明を実施。 対象者への通知を発送スケジュールに従って行った。 6842人に通知を発送。 5月末から結果通知を行う。	結果通知は、なるべく1か月以内に受診者の手元に届くよう発送する。
第2期	申込者に案内通知を郵送する。 広報に検診案内を周知する。	月2回、医療機関から回収した結果を処理し、結果通知を作成し発送。 9月末までに、685人受診。	・今年度の対象者は、2巡目の対象となるため前年度と比較し、減少傾向。
第3期	受診結果を正確に早く対象者に発送する。	月2回、医療機関から回収した結果を処理し、結果通知を作成し発送することができた。	検診期間が終了した。
第4期	来年度の準備を行う。	来年度も5月から11月までの実施予定。2巡目であるため、前回受診者数を除いての計画を立てることができた。	検査が2巡目ということもあり、受診者数は減った。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 事業実施中。問題点は現在なし。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 国の考え方としては、多くの方に肝炎検査を受けていただきたいということであるため、来年度も5歳刻みで対象者に受診勧奨していく。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4			レ		3					4	B

課題	・対象者全員に通知した。前年度に比べ受診者は減少した。 ・肝炎治療の新薬が保険適応され、肝炎を早期発見することにより身近で治療することが可能になってきた。今後も受診者が増えるように個別勧奨通知を継続し、必要性を周知していきたい。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定		B
前年度評価シート整理番号		

総合評価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	他の検診の案内通知等に肝炎検査の案内を載せることで受診者が増えた。						他の検診の案内通知等に肝炎検査の案内を載せることで受診者が増えた。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成果の方向性	拡 充		
方向性	現 状 維 持		③	⑥		⑨	方向性	現 状 維 持			
性	縮 小		④	⑧		⑩	性	縮 小			
	休 廃 止	①						休 廃 止			
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

改革・改善策	・他の検診とセットで受けられるようにしたり、色々な場面で検診の必要性をPRしていく。	・他の検診とセットで受けられるようにしたり、色々な場面で検診の必要性をPRしていく。
--------	--	--

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（緑内障検査事業）	事業期間	平成 1 ~ 年度	整理番号	03020142
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先
					330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	03	各種検診事業
	予算事業名	緑内障検査事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 07
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	40歳～75歳の5歳刻みの年齢の方を対象に緑内障の早期発見のための検査を行う。				
	現状と背景 （どうして）	日本人の40歳以上では20人に1人が緑内障になっていると報告されており、早期発見・早期治療の重要性が言われている。緑内障は自覚症状が無いために、気が付いた時には視野の欠損が進行している人が見られ、治療が遅れて多くの視野を失ってしまう場合もあるため。				
	目的	受益者 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	市民			
		意図 （どんな状態にしたいか）	早期発見、早期治療につなげる。			
	手段・方法 （どうやって）	40歳～75歳の5歳刻みの年齢の方を対象に緑内障の早期発見のために検査を行う。（市内指定医療機関）				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		申し込み者が増えるよう周知する	広報掲載	回		1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		緑内障検診受診率	受診率	%	受診者数÷検診対象者数	5

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	413,545	419,494	673,026	986,800	908,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	413,545	419,494	673,026	986,800	908,000	
職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	7.00	7.00	12.00	18.00	16.00	
D （ ）	活動指標	広報掲載	目標	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	1
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	
-	達成率	%	-	-	-	-	
O （ ）	成果指標	受診率	目標	5	5	5	5
		実績	3	3	5	7.8	7.8
	達成率	%	66.00	50.00	100.00	156.00	156.00
	-	目標	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	
-	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	健康増進事業費（緑内障検査事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020142
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	横 関 理 恵	連絡先	330	

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・案内通知等の作成をする。 ・契約等、検診の準備を行う。	・案内通知を作成し、医療機関に確認依頼を行う。	第2期は、申込者への通知を行う。
第2期	・広報に掲載し検診の周知をする。 ・申込者に案内文を発送する。	広報ちの8月号に掲載し、検診のPRをした。また、他の検診にチラシを同封し検診の周知を行った。	検診期間中も検診希望者から申し込みがある。
第3期	10月末まで検診期間であるため、随時案内文を発送する。	今年度は467人に受診していただいた。昨年度よりも増加した。	受診者数、検診結果など過去の状況も知りたいと眼科医から要望があった。
第4期	過去の検診の状況をまとめる。	過去のデータから、6年分の検査結果(異常所見)をまとめ、報告することができた。	医療機関に検診をお願いするだけでなく、結果を還元していく必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 事業実施期間中。特に問題なし。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 来年度も、今年度同様5歳刻みの対象者で実施していく。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
チェック					4										3						B
課題	<ul style="list-style-type: none"> 緑内障検診は市単独で行っている事業である。市内眼科医と検討し対象者、検査方法は決めている。今後の対象者、方法等も検討していく。 今年度は、受診者数が増加した。他の検診の発送しチラシを入れたことが、効果的だったと思われる。 															記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要				
	前年度総合評価判定					B					前年度評価シート整理番号										

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 緑内障検診は市単独で行っている事業である。市内眼科医と検討し対象者、検査方法は決めている。今後の対象者、方法等も検討していく。 								
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充					
	現 状 維 持			③	⑥		⑨	現 状 維 持					レ		
	縮 小			④	⑧		⑩	縮 小							
	休 廃 止	①						休 廃 止							
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性								
改 革 ・ 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> 緑内障は生活習慣病とも関係があるため生活習慣病の予防とともに若い世代に受診していただけるように働きかけていく。 他の検診の通知にPR文書を同封等して検診周知をしていきたい。 										<ul style="list-style-type: none"> 緑内障は生活習慣病とも関係があるため生活習慣病の予防とともに若い世代に受診していただけるように働きかけていく。 他の検診の通知にPR文書を同封等して検診周知をしていきたい。 				

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般（情報提供事業）			事業期間	平成 23 ~ 年度	整理番号	03020114
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり									
				施策	05	第5節 健康づくりの推進									
				細施策	05	疾病予防対策の推進									
				事務事業	04	情報提供事業									
	予算事業名	一般事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	01	事業	03	
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健事業の的確な情報の伝達・啓発のため、健康カレンダー等を発行し広く市民の検診（健診）への呼びかけを行い疾病予防対策を行っている。													
	現状と背景 （どうして）	普段の生活のなかでは、健康に対する認識が薄く食生活及び生活習慣の乱れから疾病予防対策が必要であると考えています。このことから、市民に対しての健康意識の高揚を図る啓発を行う。													
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民											
		対象	対象 （直接働きかける）	同上											
		意図	・自分が将来何らかの病気にかかるかもしれないという事を認識し、定期的に健診を受診することをライフスタイルに組み込むことにより、自分自身の健康管理ができること。 ・必要なときに、情報を的確に知ることができる。												
	手段・方法 （どうやって）	毎年3月に健康カレンダーの発行（各種検診・健診申し込み書添付）広報・ホームページ・びーなチャンネルなどを通じて健康に関する啓発を行う。													
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値						
		健康カレンダー発行	発行回数	回					1						
		広報等掲載回数	掲載回数	回					12						
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値						
	健診・検診申込者の増加	健診・検診申込者数	人					4,000							

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	693,000	637,200	874,800
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	693,000	637,200	874,800	784,080	929,000
職 員 数	正規職員	人	0.16	0.16	0.16	0.16	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.16	0.16	0.16	0.16	
対 象 （ ） 数	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	12.00	11.00	16.00	14.00	17.00
	発行回数	目標	1	1	1	1	
		実績	1	1	1	1	
	掲載回数	目標	100.00	100.00	100.00	100.00	-
実績		12	12	12	12		
-	目標	12	12	12	12		
	実績	100.00	100.00	100.00	100.00	-	
成 果 指 標	健診・検診申込者数	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
		実績	3,312	2,347	6,705	6,228	6,240
	達成率	%	82.80	58.68	167.63	155.70	156.00
	-	目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	一般（情報提供事業）	事業期間	平成 23 ~	年度	整理番号	03020114	
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	28年度の冊子の修正が必要な部分をまとめておく。	28年度の冊子についての修正部分をまとめた。	健康に関する情報を発信していく必要がある。
第2期	広報・回覧・ピーナチャンネル等を利用し健康の情報を引き続き発信していく。	広報・回覧・ピーナチャンネル等での検診の周知を行った。	健康に関する情報を発信していく必要がある。
第3期	広報・回覧・ピーナチャンネル等を利用し健康の情報を引き続き発信していく。	広報・回覧・ピーナチャンネル等での検診の周知を行った。	健康に関する情報を発信していく必要がある。
第4期	検診申し込み書を作成し、配布する。	検診申込書を作成し配布した。	健康に関する情報を発信していく必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	冊子形式にし、内容や受け方はわかりやすくなったが、健診の申し込み人数が増えない。どうしたら健診を受けたいと思うのか、受けやすい環境の整備と意識を変える事が課題。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03020116															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・申し込み書の内容を変えて見やすくし、各戸に広報と一緒に配布しました。メールでの申し込み方の説明をし申し込みしやすい状況を検討し、工夫しました。さらに広報や回覧で申込の呼びかけをしました。メールで申し込める期間を延長しました。	・申し込み書の内容を変えて見やすくし、各戸に広報と一緒に配布しました。メールでの申し込み方の説明をし申し込みしやすい状況を検討し、工夫しました。さらに広報や回覧で申込の呼びかけをしました。メールで申し込める期間を延長しました。								
前年度改革・改善策の実施状況	実 施 済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・会議等人的集まる場所で、時間を頂いて健診のPRをしていきます。 ・乳幼児健診等で、健診受診の呼びかけをしていきます。 ・検診・健診を受ける事の大切さについて広報活動や講演活動を充実し、受けなくてはいけないという意識の向上に努めたいと思います。また、受けたくないという人のご意見をお聞きし、申し込みやすい環境・受けやすい環境整備になるよう工夫します。	・会議等人的集まる場所で、時間を頂いて健診のPRをしていきます。 ・乳幼児健診等で、健診受診の呼びかけをしていきます。 ・検診・健診を受ける事の大切さについて広報活動や講演活動を充実し、受けなくてはいけないという意識の向上に努めたいと思います。また、受けたくないという人のご意見をお聞きし、申し込みやすい環境・受けやすい環境整備になるよう工夫します。								

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	保健補導員活動支援事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020115
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美			連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	05	保健補導員会活動支援事業								
	予算事業名	保健補導員活動支援事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	01	事業	09
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	自らの健康意識の高揚、地域住民への健康教育の実践をとおり、地域の健康づくりをすすめるため、保健補導員会の支援活動を行う。												
	現状と背景 （どうして）	地域住民への健康教育の実践等をとおり、疾病の一次予防を中心とした活動を実践し、市民の健康で安全な生活をすすめるために、保健補導員の活動が必要である。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民											
		対象 （直接働きかける）	保健補導員											
	意図	保健補導員が地域の中で活動しやすい環境をつくる。												
	手段・方法 （どうやって）	健康づくりに関する情報提供を行う。健診結果の統計など、地域住民の健康課題を伝え、対策をともに考える。保健補導員の学習会企画時には、専門の講師等を紹介し、活動が円滑にすすむようにする。												
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
			保健補導員理事会（平成26年度まで）	回						8				
			保健補導員事務局会議（平成27年度から）	回						2				
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		地域での学習会などの活動が活発化する。												

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	2,595,000	2,427,000	1,797,723
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円	232,000	176,000	184,000	188,000	280,000
	地方債	円					
	その他特定財源	円	171,000	171,000			
	一般財源	円	2,192,000	2,080,000	1,613,723	1,657,598	1,780,000
	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
職 員 数	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
単 位 コ ス ト	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
	受益者負担額	円					
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	46.00	43.00	32.00	33.00	37.00
	活 動 指 標	保健補導員理事会	目標	回	8	8	
実績			回	8	7		
達成率			%	100.00	87.50	—	—
保健補導員事務局会議		目標	回			2	2
		実績	回			2	2
		達成率	%	—	—	100.00	100.00
—	目標	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	
成 果 指 標	目標	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	
—	達成率	%	—	—	—	—	
	目標	—	—	—	—	—	
—	実績	—	—	—	—	—	
	達成率	%	—	—	—	—	
備 考							

事務事業名	保健補導員活動支援事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020115
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥晴美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	事務局会議を開催し、情報の共有、課題の共有ができるようにする。	事務局会議を開催し情報を共有することができた。	引き続き地区ごとの活動がスムーズに行えるように支援する。
第2期	特定健診・がん検診など地区別に抽出が可能なデータを更新していく。	情報を要求された場合は情報提供ができた。	各SCと連携をし、情報共有をする。
第3期	事務局会議を開催し、本年のまとめをし、新年からの保健補導員活動に生かす。	事務局会議を開催し、情報の共有、課題を出し合ったり、他の地区の活動を学ぶ機会となった。	理事会がなくなったことで、情報共有が難しくなっている。
第4期	新保健補導員への研修会を開催し、保健補導員活動、茅野市の健診等に関する情報提供を行う。	新保健補導員対象に研修会を開催することができた。	当日欠席者の周知 茅野市の問題を各地区活動を通してさらに理解を深め地区活動に生かしていく必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
理事会が無くなった分、各地区・支部活動がしやすくなるための支援、情報公開、情報共有をしていく必要がある。	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	<p>理事会がなくなったため、各地区・支部活動への支援、課題の共有ができるように考えていくことが必要。 保健補導員のあり方が多様化しているため、活動方法など検討する必要がある。</p>															
CHICK	前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					B
CHICK	前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					03020117

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	CHICK	特定健診、がん検診の結果などのデータを地区別で出し、共有することができた。 理事会がなくなったことによる情報共有があまりできなかったため、情報共有・課題の共有ができるようにしていくことが必要。					特定健診、がん検診の結果などのデータを地区別で出し、共有することができた。 理事会がなくなったことによる情報共有があまりできなかったため、情報共有・課題の共有ができるようにしていくことが必要。			
CHICK	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後										
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止
改 革 ・ 改 善 策	事務局会議の定期的開催と、課題や情報の共有ができるようにしていく。					事務局会議の定期的開催と、課題や情報の共有ができるようにしていく。										
改 革 ・ 改 善 策	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	03050109
担当部署	健康福祉部 西部保健福祉サービスセンター 地域福祉推進係	作成担当者名	佐々木 佐代子	連絡先	82-0073

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 06 地区保健補導員活動支援事業			
予 算 事 業 名				会計コード 001 款 03 項 01 目 09 事業 03		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健補導員活動①自主活動②保健事業協力活動③健康づくりの学習を支援する。					
現状と背景 （どうして）	保健補導員は、地域の中で現代社会の問題を踏まえ健康づくり（生活習慣病・寝たきり・認知症・心の病気などに関する理解を深めることと、生活習慣の改善策を見出していくこと）に関する自主的な組織活動として生まれてきた経過がある。その健康づくりの担い手である保健補導員活動を支援し、地域の健康づくりに繋げていく。					
目 的	受益者 （誰のために）	各地区の保健補導員と地域住民				
	対象 （直接働きかける）	宮川・金沢地区保健補導員				
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	意 図 （どんな状態にしたいか）	保健補導員の健康意識を高めることと、保健補導員が企画する講演会・講習会を支援することで、地域の健康意識を高める。				
		保健補導員に対する健康教育の実施。 保健補導員が企画する、区や地域での講演会・学習会などの企画支援。 保健補導員の地域活動の支援。 保健事業協力の依頼。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会開催回数	地区会 開催回数	回	宮川・金沢地区会	
		講演会・講習会の開催回数	講演、講習会の実施回数	回		
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会の参加率	地区会の参加率	%	(保健補導員会参加者÷保健補導員数)×100	100
		講演会・講習会の参加率	講演会・講習会の参加率	%	(保健補導員数+講演会等参加者数)÷北部地区20歳以上の人口の10%×100	80

項 目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人	0.18	0.18	0.18	0.20		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合 計	人	0.18	0.18	0.18	0.20		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受 益 者 負 担 額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
D （ ）	地区会 開催回数	目標	回				
		実績	回	15	15	15	15
	講演、講習会の実施回数	目標	回				
		実績	回	-	-	-	-
	-	目標	%				
		実績	%	-	-	-	-
O （ ）	地区会の参加率	目標	%	100	100	100	
		実績	%	90	90	91	93
	講演会・講習会の参加率	目標	%				
		実績	%	90.00	90.00	91.00	93.00
	-	目標	%				
		実績	%	-	-	-	-
備考							

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ～	年度	整理番号	03050109	
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	佐々木 佐代子	連絡先	82-0073

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地区会の実施	地区会実施回数 宮川地区保健補導員会 … 2回 金沢地区保健補導員会 … 2回	会議の継続、出席率の向上
第2期	地区会の実施	地区会実施回数 宮川地区保健補導員会 … 2回 金沢地区保健補導員会 … 1回	会議の継続、出席率の向上
第3期	地区会の実施	地区会実施回数 宮川地区保健補導員会 … 1回 金沢地区保健補導員会 … 1回	会議の継続、出席率の向上
第4期	地区会の実施	地区会実施回数 宮川地区保健補導員会 … 1回 金沢地区保健補導員会 … 1回	会議の継続、出席率の向上

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	足腰おたっしや教室への協力をお願いし、その中の健康学習も毎月行っているため、地区会の回数は減らす方向で、支部ごとの活動を充実させている。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03050109															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		地区支部活動を充実させることを目標にしたい。					地区支部活動を充実させることを目標にしたい。			
	前年度改革・改善策の実施状況 一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後											
	今後の方向性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①
改革・改善策	地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動にいかせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。					地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動にいかせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。											

最終評価年月日	平成29年5月12日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	03060113
担当部署	健康福祉部 中部保健福祉サービスセンター 地域福祉推進係	作成担当者名	清水 幸子	連絡先	82-0107

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 06 地区保健補導員活動支援事業			
予 算 事 業 名				会計コード 001 款 04 項 01 目 02 事業 05		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健補導員活動①自主活動②保健事業協力活動③健康づくりの学習を支援する。					
現状と背景 （どうして）	保健補導員は、地域の中で現代社会の問題を踏まえ健康づくり（生活習慣病・寝たきり・認知症・心の病気などに関する理解を深めることと、生活習慣の改善策を見出していくこと）に関する自主的な組織活動として生まれてきた経過がある。その健康づくりの担い手である保健補導員活動を支援し、地域の健康づくりに繋げていく。					
目 的	受益者 （誰のために）	各地区の保健補導員と地域住民				
	対象 （直接働きかける）	ちの・米沢・中大塩地区保健補導員				
的 意 図 （どんな状態にしたいか）	保健補導員の健康意識を高めることと、保健補導員が企画する講演会・講習会を支援することで、地域の健康意識を高める。					
	手段・方法 （どうやって）	保健補導員に対する健康教育の実施。 保健補導員が企画する、区や地域での講演会・学習会などの企画支援。 保健補導員の地域活動の支援。 保健事業協力の依頼。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会開催回数	地区会 開催回数	回	ちの・米沢・中大塩地区会の開催回数	12
		講演会・講習会の開催回数	講演、講習会の実施回数	回	開催回数	19
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会の参加率	地区会の参加率	%	$(\text{保健補導員会参加者} \div \text{保健補導員数}) \times 100$	100
		講演会・講習会の参加率	講演会・講習会の参加率	%	$(\text{保健補導員数} + \text{講演会等参加者数}) \div \text{中部地区20歳以上の人口} \times 100$	80

項 目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人						
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人						
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円	—	—	—	—	—	
市民一人当たりのコスト	円	—	—	—	—	—	
D （ ）	地区会 開催回数	目標	回	17	12	14	12
		実績	回	16	12	12	12
	達成率	%	94.12	100.00	85.71	100.00	—
	講演、講習会の実施回数	目標	回	29	16	18	19
		実績	回	29	16	19	19
	達成率	%	100.00	100.00	105.56	100.00	—
—	目標	—	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	—	
O （ ）	地区会の参加率	目標	%	100	100	100	100
		実績	%	69	65	91	74
	達成率	%	69.00	65.00	91.00	74.00	80.00
	講演会・講習会の参加率	目標	%	80	80	80	80
実績		%	49	36	65	27	
達成率	%	61.25	45.00	81.25	33.75	40.00	
備考							

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03060113	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 幸子	連絡先	82-0107

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					4					4	

保健補導員の負担軽減を考え、地区会の回数は検討し支部ごとの活動を充実させている。

記号の定義
A：計画どおり事業を進めることが適当
B：事業の進め方に改善が必要
C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要
D：事業の統合、休・廃止の検討が必要

前年度総合評価判定 A
前年度評価シート整理番号 03060113

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	地区支部活動を充実させることを目標にしたい。	地区支部活動を充実させることを目標にしたい。
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後	
	成 果 的 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止	②	⑤	⑦
		③	⑥	⑨
		④	⑧	⑩
①				
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改 革 ・ 改 善 策	地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動に行かせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。	地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動に行かせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。		

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	03040109
担当部署	健康福祉部 東部保健福祉サービスセンター 地域福祉推進係	作成担当者名	朝倉 絵 梨 子	連絡先	82-0026

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 06 地区保健補導員活動支援事業			
予 算 事 業 名				会計コード 001 款 03 項 01 目 09 事業 03		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健補導員活動①自主活動②保健事業協力活動③健康づくりの学習を支援する。					
現状と背景 （どうして）	保健補導員は、地域の中で現代社会の問題を踏まえ健康づくり（生活習慣病・寝たきり・認知症・心の病気などに関する理解を深めることと、生活習慣の改善策を見出していくこと）に関する自主的な組織活動として生まれてきた経過がある。その健康づくりの担い手である保健補導員活動を支援し、地域の健康づくりに繋げていく。					
目 的	受益者 （誰のために）	各地区の保健補導員と地域住民				
	対象 （直接働きかける）	玉川・豊平・泉野地区保健補導員				
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	意 図 （どんな状態にしたいか）	保健補導員の健康意識を高めることと、保健補導員が企画する講演会・講習会を支援することで、地域の健康意識を高める。				
		保健補導員に対する健康教育の実施。 保健補導員が企画する、区や地域での講演会・学習会などの企画支援。 保健補導員の地域活動の支援。 保健事業協力の依頼。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会開催回数	地区会 開催回数	回	玉川・豊平・泉野地区会	
		講演会・講習会の開催回数	講演、講習会の実施回数	回		
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会の参加率	地区会の参加率	%	(保健補導員会参加者÷保健補導員数)×100	100
		講演会・講習会の参加率	講演会・講習会の参加率	%	(保健補導員数+講演会等参加者数)÷東部地区20歳以上の人口の10%×100	80

項 目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人	0.18	0.20	0.20	0.20		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合 計	人	0.18	0.20	0.20	0.20		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
D （ ）	地区会 開催回数	目標	回				
		実績	回	18	18	18	18
	講演、講習会の実施回数	目標	回				
		実績	回	-	-	-	-
	-	目標	%				
		実績	%	-	-	-	-
O （ ）	地区会の参加率	目標	%	100	100	100	
		実績	%	90	90	95	96
	講演会・講習会の参加率	目標	%				
		実績	%	90.00	90.00	95.00	96.00
	-	目標	%				
		実績	%	-	-	-	-
備考							

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03040109	
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	朝倉 絵梨子	連絡先	82-0026

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地区会の実施	地区会実施回数 玉川地区保健補導員会 … 1回 豊平地区保健補導員会 … 1回 泉野地区保健補導員会 … 2回	会議の継続、出席率の向上
第2期	地区会の実施	地区会実施回数 玉川地区保健補導員会 … 1回 豊平地区保健補導員会 … 0回 泉野地区保健補導員会 … 1回	会議の継続、出席率の向上
第3期	地区会の実施	地区会実施回数 玉川地区保健補導員会 … 1回 豊平地区保健補導員会 … 0回 泉野地区保健補導員会 … 1回	会議の継続、出席率の向上
第4期	地区会の実施	地区会実施回数 玉川地区保健補導員会 … 1回 豊平地区保健補導員会 … 0回 泉野地区保健補導員会 … 1回	会議の継続、出席率の向上

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定									
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定										
チェック					4			レ		3					4										
課 題	足腰おたっしや教室への協力をお願いし、その中の健康学習も毎月行っているため、地区会の回数は減らす方向で、支部ごとの活動を充実させている。																								
	記号の定義					A：計画どおり事業を進めることが適当					B：事業の進め方に改善が必要					C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要					D：事業の統合、休・廃止の検討が必要				
	前年度総合評価判定																								
	前年度評価シート整理番号																								

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
		地区支部活動を充実させることを目標にした。					地区支部活動を充実させることを目標にした。								
	前年度改革・改善策の実施状況					一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後											
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①
改 革 ・ 改 善 策	地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動にいかせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。					地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動にいかせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。											

最終評価年月日	平成29年5月12日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依田 利文
---------	------------	---------	-----------------	-------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	03070113
担当部署	健康福祉部 北部保健福祉サービスセンター 地域福祉推進係	作成担当者名	山崎 知子	連絡先	77-3000

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	06	地区保健補導員活動支援事業
	予算事業名				会計コード	001 款 04 項 01 目 02 事業 05
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健補導員活動①自主活動②保健事業協力活動③健康づくりの学習を支援する。				
	現状と背景 （どうして）	保健補導員は、地域の中で現代社会の問題を踏まえ健康づくり（生活習慣病・寝たきり・認知症・心の病気などに関する理解を深めることと、生活習慣の改善策を見出していくこと）に関する自主的な組織活動として生まれてきた経過がある。その健康づくりの担い手である保健補導員活動を支援し、地域の健康づくりに繋げていく。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	各地区の保健補導員と地域住民			
		対象 （直接働きかける）	湖東・北山地区保健補導員			
		意図 （どんな状態にしたいか）	保健補導員の健康意識を高めることと、保健補導員が企画する講演会・講習会を支援することで、地域の健康意識を高める。			
	手段・方法 （どうやって）	保健補導員に対する健康教育の実施。 保健補導員が企画する、区や地域での講演会・学習会などの企画支援。 保健補導員の地域活動の支援。 保健事業協力の依頼。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会開催回数	地区会 開催回数	回	北山地区会の開催回数	5
		講演会・講習会の開催回数	講演、講習会の実施回数	回	開催回数	9
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会の参加率	地区会の参加率	%	(保健補導員会参加者÷保健補導員数)×100	100
		講演会・講習会の参加率	講演会・講習会の参加率	%	(保健補導員数+講演会等参加者数)÷中部地区20歳以上の人口の10%×100	80

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）			
事業費等 (a)	円								
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円								
地方債	円								
その他特定財源	円								
一般財源	円								
職員数	人	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18			
正規職員	人								
嘱託職員	人								
臨時職員	人								
合計	人	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18			
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)									
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-			
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	24.00			
D （ ）	活動指標	地区会 開催回数	目標	回	8	8	5	5	5
			実績	回	6	6	6	5	5
		達成率	%	75.00	75.00	120.00	100.00	100.00	
	-	講演、講習会の実施回数	目標	回	8	8	8	8	8
			実績	回	9	9	9	9	9
		達成率	%	112.50	112.50	112.50	112.50	112.50	
目標	-								
実績	-								
達成率	%	-	-	-	-	-			
O （ ）	成果指標	地区会の参加率	目標	%	100	100	100	100	
			実績	%	100	100	65	93	
	達成率	%	100.00	100.00	65.00	93.00	93.00		
	講演会・講習会の参加率	目標	%	80	80	80	80		
実績		%	60	60	65	66			
達成率	%	75.00	75.00	81.25	81.25	82.50			
備考									

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03070113
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	連絡先	77-3000

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	成 果 的 方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨
		成 果 的 方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩
		成 果 的 方 向 性	休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	評価の観点	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	B
	チェック					4			レ		3					4	
課 題	足腰おたっしや教室への協力をお願いし、その中での健康学習も毎月行っているため、地区会の回数は減らす方向で、支部ごとの活動を充実させている。															記 号 の 定 義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定					B					前年度評価シート整理番号					03070113

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	地区支部活動を充実させることを目標にしたい。	地区支部活動を充実させることを目標にしたい。
前年度改革・改善策の実施状況		前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後									
	成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 的 方 向 性	拡 充			レ	
	成 果 的 方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨	成 果 的 方 向 性	現 状 維 持					
	成 果 的 方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩	成 果 的 方 向 性	縮 小					
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
改 革 ・ 改 善 策		地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動に行かせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。					地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動に行かせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。					

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	北部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	うつ等対策事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020116
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	中谷恵美→白鳥晴美	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
				施策 05 第5節 健康づくりの推進		
				細施策 06 こころの健康		
				事務事業 02 心の健康づくりの普及啓発事業		
	予算事業名	こころの相談事業		会計コード 001 款 04 項 01 目 02 事業 07		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	<ul style="list-style-type: none"> こころの健康づくりの普及啓発として、増加傾向にある自殺対策を始めとする、こころの健康についての相談や各企業を対象とした講演会を実施することにより、こころの健康についての理解と知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施する。 こころの不調により自殺への意向を防ぐために専門家による相談を行う。 薬物依存・アルコール依存防止のための活動を行う。 				
	現状と背景 （どうして）	<ul style="list-style-type: none"> 自殺者が減少しない。 アルコール依存症になるとそこから抜け出すのが難しく、肝機能障害や痛風を起こしている方がいる。 たばこによる害がある。 				
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	市民			
		意図	自殺者が減少する。			
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> 市内の中小企業を中心に向いてこころの健康についての講座を行う。（臨床心理士、看護師、スポーツインストラクターなど） 自殺企図へ移行しないように専門家による面接を行う。（対面型相談） こころの健康について（自殺・アルコール依存・ニコチン依存）と相談場所を周知のため広報ものに記事掲載する。 				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		広報活動	広報	回		2
		対面型相談	対面型相談件数	件		68
		中小企業への出張講座	実施回数	回		10
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		死亡原因が自殺以外の者の率	自殺以外での死亡率	%	自殺以外での死亡者÷全死亡者	100

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算又は決算額）	平成29年度事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	759,392	751,997	702,228	1,024,993	1,118,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円	759,392	745,997	462,000	497,000	737,000		
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円		6,000	240,228	527,993	381,000		
職員数	人							
正規職員	人	0.12	0.11	0.11	1.11			
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.12	0.11	0.11	1.11			
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	14.00	13.00	13.00	18.00	20.00		
D （ ）	活動指標	広報	目標	回	2	2	2	2
			実績	回	2	2	2	2
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
	対面型相談件数	目標	件	60	68	68	68	
		実績	件	83	85	74	144	
		達成率	%	138.33	125.00	108.82	211.76	
	中小企業への出張講座	目標	回	10	10	10	10	
		実績	回	6	6	8	6	
		達成率	%	60.00	60.00	80.00	60.00	
	成果指標	自殺以外での死亡率	目標	%	100	100	100	100
			実績	%	98	98	98	98
		達成率	%	98.00	98.00	98.00	98.00	
目標	目標	-						
	実績	-						
達成率	%	-	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	うつ等対策事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020116
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷恵美→白鳥晴美
				連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・企業にメンタルヘルス講座の案内を送る。 ・こころの相談を随時実施。	・商工課に依頼して約500社にメンタルヘルス出張講座の案内通知を発送。 ・こころの相談を28件実施した。 ・メンタルヘルス出張講座を1件実施した。	・企業のメンタルヘルス出張講座の依頼は現在のところ1件。増やせるように周知していく。
第2期	・こころの相談は希望があれば随時実施していく。	・こころの相談を36件実施した。(延べ64回) ・メンタルヘルス出張講座を2件(3回)実施した。 ・9月の自殺予防週間には、広報によりメンタルヘルスの記事を掲載。	・企業のメンタルヘルス出張講座の依頼は現在のところ3件。増やせるように周知していく。 ・こころの相談事業は、件数が増加している。
第3期	・相談が必要な方に対し、心の相談を紹介し随時実施していく。	・市内の事業所3社に4回メンタルヘルス出張講座を実施した。 ・11月までにこころの相談を77回実施。	・こころの相談、出張講座等希望があれば随時対応していきたい。
第4期	・相談が必要な方に対し、心の相談を紹介し随時実施していく。 ・メンタルヘルス出張講座の依頼があれば随時実施していく。・広報にこころの相談について載せる。	・3月末までにこころの相談を計144回実施。 ・メンタルヘルス出張講座は、計6回実施。 ・広報をみてこころの相談を予約する人が2件あった。	・平成27年12月から労働安全衛生法の改正により、50人以上の従業員がいる企業に対し、ストレスチェックが義務づけられました。こころの相談については、希望者に対し随時相談対応できるようにしていきたい。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					3					4	B
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談については、今年度実施回数が増えた。こころの健康相談が始まった当初から継続で面接を行っている相談者もいる。他の支援も入っているケースもあるが精神的に不安定で定期的に相談が必要な者もいる。新規者については、26年度から子ども部に臨床心理士がいることからどちらで行った方がよいケースか検討していく必要がある。 ・出張講座については定着している企業もある。しかし定着してきている企業は規模も大きくメンタルヘルスの体制が整っている企業が多い。本来必要な小規模な企業は講座を設ける時間も難しいため今後方法を検討していく必要がある。 ・自殺死亡率が増えているので、様々な分野と連携し、予防のための方策を検討していく必要がある。 															
記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・対面型相談はニーズに合わせて相談枠を増やし、緊急性に応じて他部署の相談枠につなげていく。 ・出張講座については、商工会議所等と協力し小規模企業等に更に積極的に働きかける。など事業の進め方を改善していくことが必要である。	・対面型相談はニーズに合わせて相談枠を増やし、緊急性に応じて他部署の相談枠につなげていく。 ・出張講座については、商工会議所等と協力し小規模企業等に更に積極的に働きかける。事業の進め方を改善していくことが必要である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成果の方向性	拡 充		
	現 状 維 持		③	⑥		⑨		現 状 維 持			
	縮 小		④	⑧		⑩		縮 小			
	休 廃 止	①						休 廃 止			
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

・対面型相談は、子ども関係の相談は子ども部や母子の相談へつなげていく。対象者の時間的な都合も考慮し、より身近に利用できるように工夫していく。緊急なケースや相談場所のない年齢層を中心に行っていく。	・対面型相談は、子ども関係の相談は子ども部や母子の相談へつなげていく。対象者の時間的な都合も考慮し、より身近に利用できるように工夫していく。緊急なケースや相談場所のない年齢層を中心に行っていく。
・出張講座は、小企業や今年度実施できなかった企業に働きかけて実施していく。また、商工会議所とも協力検討していく。	・出張講座は、小企業や今年度実施できなかった企業に働きかけて実施していく。また、商工会議所とも協力検討していく。

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳 澤 澄 子
---------	------------	---------	-----------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成 28 ~ 29 年度	整理番号	03050111
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	朝倉 歩	連絡先	82-0073

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 06 こころの健康			
			事務事業 02 心の健康づくりの普及啓発事業			
予 算 事 業 名				会計コード 001 款 03 項 01 目 09 事業 03		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	健康づくりの普及啓発として、訪問等による成人保健に関する相談や支援を始めとする、こころの健康についての知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施して行く。					
現状と背景 （どうして）	65歳未満の自殺者が多いことと精神疾患による長期入院患者が多いことなどの課題がある。					
目 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （誰のために）	宮川・金沢地区に住む市民				
	対象 （直接働きかける）	同上				
	意 図 （どんな状態にしたいか）	地域や職場、家庭でこころの健康に関する意識を高め、早期対応が出来る環境をつくるとともに、過度のストレスの継続が及ぼす精神的・身体的健康への影響を緩和するため、職場や地域サポート体制を充実し、個人を支える社会的環境整備を図る。				
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	訪問等による相談の継続実施。					
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		訪問等による心の相談	相談件数	件		
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		訪問等による心の相談回数	相談件数	件		

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人		0.10	0.10	0.10		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人		0.10	0.10	0.10		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
D O （ ）	活動指標	相談件数	目標	件			
		実績	件				
	達成率	%	-	10	9	12	-
	-	目標	件				
		実績	件				
	達成率	%	-	-	-	-	-
成果指標	相談件数	目標	件				
	実績	件					
	達成率	%	-	10	9	12	-
	目標	件					
-	実績	件					
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03050111
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	朝倉歩	連絡先	82-0073

期	目 標	実 績	課 題
第1期	「こころの相談」につなぐ	実施件数 … 新規1件	相談後の関わり
第2期	「こころの相談」につなぐ	実施件数 … 新規2件	相談後の関わり
第3期	「こころの相談」につなぐ	実施件数 … 新規3件	相談後の関わり
第4期	「こころの相談」につなぐ	実施件数 … 新規4件	相談後の関わり

事 中 評 価			
今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	成 果 的 方 向 性	② ⑤ ⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	拡 充	③ ⑥ ⑨
		現 状 維 持	④ ⑧ ⑩
		縮 小	①
休 廃 止	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	評価の観点					1 2 3 4 判定					1 2 3 4 判定					1 2 3 4 判定						
	チェック					4					レ					3						
課題	サービスセンターへ相談があったケースについては把握できるが、潜在的にいるうつ病や自殺願望がある方の把握が難しい。															記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要					
																前年度総合評価判定						
																前年度評価シート整理番号	03050111					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後									
	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていく必要がある。																			
	前年度改革・改善策の実施状況										一部実施	前年度細施策評価における今後の方向性								

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後									
	今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 的 方 向 性	拡 充				レ						
		現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持													
縮 小			④	⑧	⑩	縮 小														
休 廃 止		①				休 廃 止														
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									
	訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。										訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。									

最終評価年月日	平成29年5月12日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依田利文
---------	------------	---------	-----------------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03060115
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	清水 幸子	連絡先	82-0107

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 06 こころの健康			
			事務事業 02 心の健康づくりの普及啓発事業			
	予算事業名			会計コード 001 款 03 項 01 目 09 事業 04		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	健康づくりの普及啓発として、訪問等による成人保健に関する相談や支援を始めとする、こころの健康についての知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施して行く。				
	現状と背景 （どうして）	65歳未満の自殺者が多いことと精神疾患による長期入院患者が多いことなどの課題がある。				
	目的	受益者 （誰のために）	ちの・米沢・中大塩地区に住む市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
	意図 （どんな状態にしたいか）	地域や職場、家庭でこころの健康に関する意識を高め、早期対応が出来る環境をつくるとともに、過度のストレスの継続が及ぼす精神的・身体的健康への影響を緩和するため、職場や地域サポート体制を充実し、個人を支える社会的環境整備を図る。				
	手段・方法 （どうやって）	訪問等による相談の継続実施。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		訪問等による心の相談	相談件数	件		
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		訪問等による心の相談回数	相談件数	件		

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
職員数		人		0.10	0.10	0.10	
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人		0.10	0.10	0.10	
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
活 動 指 標 （ ）	相談件数	目標	件				
		実績	件	3	32	21	35
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
	達成率	%	-	-	-	-	
成 果 指 標 （ ）	相談件数	目標	件				
		実績	件	3	32	21	35
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-				
実績		-					
	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03060115
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 幸子	連絡先	82-0107

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	成 果 的 方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨
		成 果 的 方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩
		成 果 的 方 向 性	休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4			レ		3						4
課 題	サービスセンターへ相談があったケースについては把握できるが、潜在的にうつ病や自殺願望がある方の把握が難しい。												記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要				
前年度総合評価判定		B		前年度評価シート整理番号		03060115											

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後									
	成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 的 方 向 性	拡 充			レ	
	成 果 的 方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨	成 果 的 方 向 性	現 状 維 持					
	成 果 的 方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩	成 果 的 方 向 性	縮 小					
		成 果 的 方 向 性	休 廃 止	①			成 果 的 方 向 性	休 廃 止				
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						
改革・改善策		訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。				訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。						

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成 〇〇 年度	整理番号	03040111
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	中村 紀子	連絡先	82-0026

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 06 こころの健康			
			事務事業 02 心の健康づくりの普及啓発事業			
予 算 事 業 名				会計コード 001 款 03 項 01 目 09 事業 03		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	健康づくりの普及啓発として、訪問等による成人保健に関する相談や支援を始めとする、こころの健康についての知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施して行く。					
現状と背景 （どうして）	65歳未満の自殺者が多いことと精神疾患による長期入院患者が多いことなどの課題がある。					
目 的 （ P L A N ）	受益者 （誰のために）	玉川・豊平・泉野地区に住む市民				
	対象 （直接働きかける）	同上				
	意 図 （どんな状態にしたいか）	地域や職場、家庭でこころの健康に関する意識を高め、早期対応が出来る環境をつくるとともに、過度のストレスの継続が及ぼす精神的・身体的健康への影響を緩和するため、職場や地域サポート体制を充実し、個人を支える社会的環境整備を図る。				
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	訪問等による相談の継続実施。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		訪問等による心の相談	相談件数	件		
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		訪問等による心の相談回数	相談件数	件		

項 目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円					
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円					
職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合 計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
対 象 （ 者 ） 数						
延 利 用 （ 者 ） 数 (b)						
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受 益 者 負 担 額	円					
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	円	-	-	-	-	-
D （ ）	活動指標	相談件数	目標 件	実績 10	目標 10	実績 12
			達成率 %	-	-	-
	-	目標 件	実績 -	目標 -	実績 -	目標 -
		達成率 %	-	-	-	-
O （ ）	成果指標	相談件数	目標 件	実績 10	目標 10	実績 12
			達成率 %	-	-	-
	-	目標 件	実績 -	目標 -	実績 -	目標 -
		達成率 %	-	-	-	-
備考						

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03040111
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村紀子	連絡先	82-0026

期	目 標	実 績	課 題
第1期	「心の相談」につなぐ	新規に相談へつないだ件数 … 1件	相談後の関わり
第2期	「心の相談」につなぐ	新規に相談へつないだ件数 … 1件	相談後の関わり
第3期	「心の相談」につなぐ	新規に相談へつないだ件数 … 0件	相談後の関わり
第4期	「心の相談」につなぐ	新規に相談へつないだ件数 … 0件	相談後の関わり

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	
課 題	サービスセンターへ相談があったケースについては把握できるが、潜在的にうつ病や自殺願望がある方の把握が難しい。															
	<small>記号の定義</small> A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 前年度評価シート整理番号															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。								
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
	現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持				
	縮 小		④	⑧		⑩	縮 小				
	休 廃 止	①					休 廃 止				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改 革 ・ 改 善 策	訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。					訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。					

最終評価年月日	平成29年5月12日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依田利文
---------	------------	---------	-----------------	------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03070115				
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村 紀子		連絡先	77-3000					
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
			施策	05	第5節 健康づくりの推進								
			細施策	06	こころの健康								
			事務事業	02	心の健康づくりの普及啓発事業								
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	05
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	健康づくりの普及啓発として、訪問等による成人保健に関する相談や支援を始めとする、こころの健康についての知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施して行く。											
	現状と背景 （どうして）	65歳未満の自殺者が多いことと精神疾患による長期入院患者が多いことなどの課題がある。											
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （誰のために）	湖東・北山地区に住む市民											
	対象 （直接働きかける）	同上											
	意図 （どんな状態にしたいか）	地域や職場、家庭でこころの健康に関する意識を高め、早期対応が出来る環境をつくるとともに、過度のストレスの継続が及ぼす精神的・身体的健康への影響を緩和するため、職場や地域サポート体制を充実し、個人を支える社会的環境整備を図る。											
	手段・方法 （どうやって）	訪問等による相談の継続実施。											
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		訪問等による心の相談	相談件数	件									
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		訪問等による心の相談回数	相談件数	件									

項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
	職員数			0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	1.00	
活 動 指 標 （ ）	相談件数	目標	件					
		実績	件	22	22	10	22	
		達成率	%	-	-	-	-	
	-	目標	-					
		実績	-					
		達成率	%	-	-	-	-	
	-	目標	-					
		実績	-					
		達成率	%	-	-	-	-	
	成 果 指 標 （ ）	相談件数	目標	件				
			実績	件	22	22	10	22
			達成率	%	-	-	-	-
-		目標	-					
	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03070115
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村紀子	連絡先	77-3000

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4			レ		3						4
課 題	サービスセンターへ相談があったケースについては把握できるが、潜在的にいるうつ病や自殺願望がある方の把握が難しい。												記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要				
前年度総合評価判定		B		前年度評価シート整理番号		03070115											

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後			
	成 果 的 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦
		現 状 維 持	③	⑥		⑨
		縮 小	④	⑧		⑩
休 廃 止	①					
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。		訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。			

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	北部保健福祉サービスセンター長	保科実早子
---------	------------	---------	-----------------	-------